

岡山市中区区づくり推進事業
令和元年度事業報告書

	事業名	ページ
広域交流部門	第22回百間川ふれあいフェスティバル	1～
広域交流部門	たかしま音楽祭2019	9～
身近な交流部門	操明学区「桜祭り」	17～
身近な交流部門	三勲学区ふれあい事業	25～
身近な交流部門	第34回サマーフェスタ旭操“2019”	36～
身近な交流部門	三世代交流ふれ合いフェスタうの2019	44～
身近な交流部門	ふれあい夏まつり in 竜之口	53～
身近な交流部門	平井まつり“2019”	68～
身近な交流部門	第17回富山文化まつり	75～
身近な交流部門	第20回翔け操南ふれあい祭り	82～
身近な交流部門	第31回沢田柿まつり	90～
身近な交流部門	財田ふれあい夏祭り	102～
身近な交流部門	高島ふれあいとんどまつり	110～
地域活動部門	地域づくり会議の運営と事業展開	116～
地域活動部門	操明学区防災フロント（最前線）事業	125～
地域活動部門	地域防災力の向上	134～
地域活動部門	とみやま助け合い隊	146～
地域活動部門	竜之口学区防災マップ作成	154～

岡山市区づくり推進事業報告書

(広域交流部門)

令和 1 年 11 月 25 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ
団体名 百間川ふれあいフェスティバル実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者氏名 実行委員長 西崎 和良

以下の通り報告します。また、報告書の内容について、岡山市のホームページ上で公開
同意します。ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称 第22回百間川ふれあいフェスティバル

事業実施区域(小学校区)

① 業実施内容

- 開催日時 平成 31 年 4 月 21 日(日)午前 9 時より午後 3 時迄
- 開催場所 岡山市中区東川原百間川地内ワイワイ広場
- 事業実施内容

第 22 回百間川ふれあいフェスティバル

- (1) 開催日時 平成 31 年 4 月 21 日(日)午前 9 時より午後 3 時迄
- (2) 開催場所 岡山市中区東川原地先 百間川ワイワイ広場

第 22 回百間川ふれあいフェスティバル 児童・園児写生コンテスト表彰式ならびに作品展示

- (1) 開催日時 平成 31 年 7 月 24 日(水)~26 日(金)
- (2) 開催場所 岡山市中区役所 2 階表彰式その後 1 階にて展示

○事業内容

1. 百間川の自然と歴史と役割を知ろう
 - (1)国土交通省岡山河川事務所(歴史と役割) パネル展示等
 - (2)岡山県古代吉備文化財センター(歴史) 百間川埋蔵文化財展示
 - (3)岡山淡水魚研究会(自然) 百間川の魚を水槽展示等
 - (4)水辺教室(自然) 川に入る体験を通じて百間川的环境を知る
 - (5)防災への啓発活動 取組紹介等
2. 百間川の自然と環境を守ろう
 - (1)岡山市環境保全課(環境) 環境問題に関する啓発パネル展示
 - (2)水辺教室(自然・環境) 川に入る体験を通じて自然を守る心を育てる
 - (3)高齢者グラントゴルフ・学童ポートホールなどの大会参加者で会場とその周りを清掃
3. 育もう豊かな心を
 - (1)児童・園児による写生コンテストの開催 ①写生大会 ②絵画指導
 - (2)前年度の応募絵画の展示
 - (3)近隣の中学校・高校のボランティアスタッフを募集し事業などの手伝い
4. 楽しもう河川広場で

- (1)宇野小学校児童による吹奏楽演奏(宇野学区)
- (2)操山中学校生徒による吹奏楽演奏(宇野、三勲学区)
- (3)太鼓の演奏(宇野学区)
- (4)学童ポートボール大会(宇野、旭竜、幡多学区)
- (5)グランドゴルフ大会 競技終了後、希望者に対し、競技を指導
(宇野、旭竜、高島、幡多、竜之口、財田、三勲学区)
- (8)少年ソフトボール大会(宇野、旭竜、高島学区)
- (9)テニス大会(岡大テニスサークルによるテニス指導も兼ねる)
- (10)ファジアーノ少年サッカー教室(今回は政津サッカー場にて8月31日開催、児童123名参加)

その他の取組

- (1)献血と献血啓発活動
- (2)自衛隊岡山地方協力本部
- (3)岡山市消防局・岡山市消防航空隊(今回より毎年4月ヘリコプター定期点検のため飛来せず)
- (5)岡山市都市整備局公園緑地部緑化推進課(花の種を開会式終了後配布)
- (6)岡山市公園協会(花の種を開会式終了後配布)

運営スタッフ人数	200名	来場者数	6500名
出演者人数	400名	天候	晴れ

② 事業の成果 (目的をどの程度達成できか、まちづくりにどのような効果を与えたか)

過去21回にわたり実施した百間川ふれあいフェスティバルを通じて地域との連帯感、自然環境に対する認識、百間川の歴史・役割等、河川管理の大切さ、河川が果たす治水・利水についての理解を深め、環境美化・ゴミ減量化など協働してまちづくりに取り組まなければ成らない事を皆様に知ってもらえたと思います。百間川の歴史的な経緯・役割などの理解を深めること及び地域との連帯感・一体感を醸成するだけではなく、環境保全・地域の活性化による地域の発展・青少年健全育成等初期の目的を果たし、実行委員会の組織作りや、地域ボランティアの参画などと、年を重ねるごとに充実してきていると思います。

また周辺の学区をもとにした組織・実行委員会をより強固なものにしていくこと、また近隣を含めてより多くの対象となる団体やボランティア組織などとも今後共同事業としてできる土壌は整いつつあるように思われます。4月下旬の日曜日には「百間川ふれあいフェスティバル」が開催されるという認識は定着してきたのではないのでしょうか。

今後、より地域・学区の皆さんがより活用でき、また子供たちが豊かな心を育める環境作りの一環となり、この百間川で楽しんでもらえるよう継続していけるフェスティバルに育て上げ、こんどはここで学んだ子供たちが次世代の実行委員会となればと思いますので、今後とも行政との連携をより一層強固なものにし、ご協力を仰ぎたいと切望しております。

今回は、昨年度の河川氾濫にて使えなかった河川敷が整備され使えるようになり昨年と違ったレイアウトにて開催したので新たな気持ちで取り組み、皆さんにもある意味河川のことを考えてもらえるようになったと思います。

③ 事業における地域性・特色

歴史的経過がある「百間川」をテーマとしています。地域住民との交流、百間川とのふれあい、歴史的役割の認識、地域防災意識の向上、治水・利水・環境等河川管理の重要性等の認識で、地域らしさをアピールするために、このフェスティバルを通じて、百間川の素晴らしさ、役割や重要性がさらに深められ、「百間川」が地域の又、中区の住民の身近な憩いの場・地域連帯の場・行政と民間との協働（パートナーシップ推進事業）の場とすることによって地域性を向上させる事が出来ました。

今回も、スポーツ広場としての百間川を知って楽しんでもらうために野球場、ソフトボール場、テニスコートを開放し利用してもらいました

④ 企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

- (1) 中学生ボランティア(主に操山中の生徒)も参加が定着しているので、今後はこのボランティアの輪を広げるために、もっと近隣の学生にも声掛けし、子供たちの参加を促すことにより、今後の運営アイデアなども含めた内容作りにもより良い意見を求め、実行できる子供たちの現場フィールド作りを念頭におき積極的に参加してもらう場を作っていけたと思う。
- (2) 水辺教室などを開催して子供たちに環境問題の大切さなどを身近にあるもので考えるような場を提供した。
- (3) 百間川の歴史的な役割の認識、地域防災意識の向上を今一度PR強化していき、また治水・利水・環境等河川管理の重要性等、百間川がその役割を担って行く現状等を正しく認識していただけるようさらに努力した。
- (4) 予算を抑え、なおかつデザイン的にアイデアを絞って、みんなの眼に付き、かつ見に来てくれるようなチラシを考えた。
- (5) 出店者からは出店料をグランドゴルフ大会やポートボール大会参加者からは参加費を徴収し、その他、協賛金・寄付金を多く集めるよう、実行委員会として全力で取り組んだ。
- (6) 実行委員会としては、物販・飲食の店を出さないの、出店業者への案内を送るときにパンフレット・チラシなどで企画内容等の周知を徹底した。
- (7) 今後時流にあったまた予算のかからない新しい企画を考えて、また収入の上がりにくい時節あまり皆に負担のかからないような運営体制を構築し、かつマンネリ化しないように今後の組織も含めて運営していきたい。

今回よりホームページ開設し、ホームページからもメールによる問合せ、出店申込ができるようにした。結果として問合せ、申し込みがあったのでそちらの方も充実させていきたい。ライオンズクラブをはじめとするフェイスブックの活用や、ライオンズクラブメンバーのフェイスブックにも「いいね」をしてもらいながら仲間への告知を促進できた。(ITの活用)

⑤ 事業の公共・公益性

これまで「百間川の歴史を学ぼう・自然を知ろう、守ろう、役割を知ろう」をテーマとしてきたが、これからの地方分権社会実現の流れの中で、我々市民と行政が、対等の立場で如何に「協働」(パートナーシップ)を発揮して円滑な事業を推進するかが重要な課題であるので、それらを意識し市民一人ひとりの意識改革にも貢献したいと思っている。

今後の協働のあり方として、地域防災意識の向上と防災活動、治水・利水環境等河川管理については、行政・市民とが協力して、アダプト事業の本格的な実施をおこなうなど、「住民自治」の充実を図っていくことが、円滑な事業実施に結びつくものである。地方分権社会の実現は、市民との「協働」が重要であるが、限定した事業のみでは、真の「地方分権社会の構築」は不可能と思っている。協働できると判断されるあらゆる施策を対象とすべきである。したがって、本事業は、地域の特性や市民の行政に対する関心度を高めるだけでなく、「住民自治」の成熟化を図る上で有効であると同時に、このフェスティバルを通じて、環境問題・危機管理・健康福祉並びに青少年の健全な育成など他の事業に波及し、岡山市の発展に貢献しなければならないと思っている。

⑥事業の情報公開

事業の情報公開については、あらゆる手段を講じて広くPRしました。今後も、関係する町内会のみならず連合町内会などの活用を図りながら、より効果を上げていこうと思っています。7連合町内会所属の139町内へ町内回覧版、町内掲示板等を利用、又7小学校へも絵画の案内とともにパンフレットを有効利用してもらった。またホームページも開設し、ホームページからもメールによる問合せ、出店申込ができるようにした。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

① チラシを作成配布、② HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、④ TV、ラジオで公開、
V その他() ラジオ番組にてPR

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善等

合い見積もりを取るなどして経費削減に努めた。

自主財源の確保は、広告掲載者の増加に努めた。

⑧今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

財政関係については、依存の体質から脱却できず最大の課題となっているが、全力で収入を増加させること、また経費の削減などで、依存体質から脱却するように努力したい。出店者には応分の出店料等を徴収して実行委員会の運営資金に充当するなど工夫をこらしている。その他、協賛金・寄付金を多く集めるよう、実行委員会として全力で取り組んでいる。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

審査会意見はフェスティバル開催後に出されたものであり、審査会の意見を聞きそれを検討しその意見を反映させるのは物理的に無理です。そのため前年度の意見を参考にし改善していつてるのが現状です。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

前年度の審査会意見の内容に置き換えます。

テーマ・地域住民、団体の参加・出展料の調整はおおむねできた。

右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

レンタル用品費用の削減

(理由:)

今回は洪水後の開催のため会場が使用可能かどうか流動的であったため(平成31年3月末に会場使用のめどが立った)レイアウトの検討の時間がなかった。

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- ② おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- ④ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
平成30年12月5日	準備実行委員会にて31年4月21日に開催することを決定する
31年1月16日	第1回企画会議を始める
	これ以降必要に応じて随時開催をする
1月18日	第1回準備会議を始める
	これ以降は企画会議と準備会議は必要に応じて随時開催をする
3月13日	全体合同委員会 当日の全体スケジュール、イベント内容、注意事項の確認
4月19～20日	前々日前日の準備作業
4月21日	第20回百間川ふれあいフェスティバルを開催
4月21日	撤収作業終了後、全員で会場内を清掃する
令和1年5月8日	反省会の開催
7月24日	絵画展の準備作業
7月24日～26日	岡山市中区役所2階ロビーにて児童絵画展の表彰式を開催、
	その後1階ロビーにて展示
7月26日	絵画展の撤収作業
8月30日	ファジアーノサッカースクールの打合せ
8月31日	ファジアーノサッカースクールの開催

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
宇野学区連合町内会	16
旭竜学区連合町内会	3
高島学区連合町内会	3
播多学区連合町内会	5
財田学区連合町内会	3
竜之口学区連合町内会	2
三敷学区連合町内会	2
岡山市消防団宇野分団	16
宇野学区体育協会	18
宇野学区婦人会	1
宇野学区交通安全対策協議会	1
宇野学区子ども会育成連絡協議会	16
宇野学区交通安全母の会	1
宇野地区愛育委員会	2
宇野学区老人クラブ連合会	1
宇野学区社会福祉協議会	3
岡山せとうちライオンズクラブ	21
計	18団体 114人

⑫事業実施メンバー

	申込団体での 役職	氏 名	住 所	年 齢	備 考
1	大会会長				宇野学区連合町内会会長
2	副会長				旭竜学区連合町内会会長
3	〃				高島学区連合町内会会長
4	〃				幡多学区連合町内会会長
5	〃				財田学区連合町内会会長
6	〃				竜之口学区連合町内会会長
7	〃				三敷学区連合町内会長
8	〃				宇野学区コミュニティー協議会会長
9	〃				岡山市消防団宇野分団分団長
10	〃				宇野学区交通安全対策協議会会長
11	〃				宇野学区体育協会会長
12	〃				宇野学区婦人会会長
13	〃				宇野学区体育協会会長
14	〃				宇野学区交通安全母の会会長
15	〃				宇野学区子ども会育成連絡協議会会長
16	〃				宇野地区愛育委員会会長
17	〃				宇野学区老人クラブ連合会会長
18	〃				宇野小学校 PTA 会長
19	〃				岡山せとうちライオンズクラブ
20	実行委員長				宇野学区
21	副実行委員長				宇野学区交通安全対策協議会会長
22	総務部会				岡山せとうちライオンズクラブ
23	〃				宇野学区
24	〃				幡多学区
25	企画部会				宇野学区
26	〃				高島学区
27	〃				幡多学区
28	〃				三敷学区
29	〃				宇野学区
30	〃				幡多学区
31	〃				三敷学区
32	会場・出店部会				幡多学区
33	〃				三敷学区
34	〃				幡多学区
35	〃				宇野学区
36	〃				旭竜学区
37	〃				幡多学区
38	〃				高島学区

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	800,000円	800,000円	
協賛金	650,000円	747,259円	パンフレット掲載料等
負担金	350,000円	274,450円	店舗出店料 福祉施設等は無料
広告料			
寄付、他収入	円	円	
計	1,800,000円	1,821,709円	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
①消耗品費	150,000円	192,037円	用紙、文具、賞状代等
②食糧費	160,000円	187,054円	事業当日の昼食飲料代
③印刷製本費	140,000円	277,480円	パンフ印刷代、コピー代等
④燃料費		円	
⑤光熱水費		円	
⑥通信運搬費	160,000円	141,174円	切手、送料、電話代等
⑦広告料	30,000円	26,136円	広告代等
⑧手数料	55,000円	40,000円	ホームページ更新等
⑨使用料	600,000円	731,398円	テント、設備、球場等使用料
⑩原材料費	16,000円	円	展示パネル代等
⑪委託料	340,000円	129,400円	会場交通整理等警備委託
⑫工事請負費	50,000円		会場設営、現状復帰費
⑬報償費	60,000円	60,000円	出演料等
⑭保険料	39,000円	37,030円	イベント障害保険
計	1,800,000	1,821,709	

岡山市区づくり推進事業報告書

(広域交流部門)

令和元年 8 月 / 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ たかしまおんがくさいじつこういんかい
団体名 高島音楽祭実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ スズキ
代表者役職・氏名 会長 鈴木

以下の通り報告します。また、報告書の内容について、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	「たかしま音楽祭2019」
事業実施区域(小学校区)	高島学区・旭竜学区
①事業実施内容	

○開催日時: 令和元年5月25日(土曜日)11時10分 ~15時30分

○開催場所: 百間川せせらぎ広場(岡山市中区今在家地先)

○事業実施内容

(演奏・演舞)

- (1) ワイラ・ジャパンによる演奏(南米音楽)
- (2) ウクレレ弾き語り
- (3) うらじゃ演舞(俄嘉屋)
- (4) 和太鼓演奏(和太鼓 笑くにこ)
- (5) オカリナ演奏(高島公民館オカリナクラブ)
- (6) KDF 香月ダンスファミリーによるダンス
- (7) 岡山市消防音楽隊による演奏
- (8) 高島中学校吹奏楽部による演奏
- (9) 就実高校中学校吹奏楽部による演奏

運営スタッフ人数	35 人	来場者数	約 1,200 人
出演者人数	253 人	天候	晴れ

② (目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか)

(1) 旭竜学区の町内会、各種団体が実行委員会に加わることにより、両学区の親睦・交流を図ることができた。

(2) 地域住民手作りの文化事業として定着してきた。

(3) 地域の音楽愛好家、中学生、高校生に、日ごろの練習の成果を発表できる場を提供することができた。

(4) 地域活性化の一助となった。

③ 地域性・特色

(1) 百間川の歴史と豊かな自然と音楽という文化の融合を図ることができた。

(2) 百間川は、これまで豊かな自然とスポーツ面で地域貢献しているが、文化面での地域貢献をアピールできた。

④ 企画・運営の工夫 (前年度からの改善点等)

(1) 国土交通省岡山河川事務所百間川出張所の協力により、百間川河川敷を整地してもらい、駐車場が確保できた。そのため、車での来場者に余裕をもって対応できた。

(2) 国土交通省岡山河川事務所の協力により、百間川のパネルを展示し、百間川のPRができた。

(3) 専門学校の学生2名にボランティアとして、参加してもらい、来場者を誘導してもらった。

⑤ 事業の公共・公益性

(1) 地域の活性化を図ることができた。

(2) 高島学区、旭竜学区の両学区民の地域コミュニティの増進を図ることができた。

(3) 地域文化を高めることの一助となった。

⑥事業の情報公開

(1) 高島学区・旭竜学区の全戸にチラシを配布	8,000 枚
(2) 保育園、幼稚園、小学校、中学校、事業所へチラシを配布	7,000 枚
(3) 町内会、事業所へのポスター掲示	400 枚
(4) 会場付近へのノボリの掲示(前日から)	30 本
(5) 高島公民館だよりへの掲載	令和元年 5 月号
(6) 市政だよりへの掲載	令和元年 5 月号
(7) 山陽新聞への記事掲載	令和元年 5 月 23 日、5 月 27 日
(8) オニビジョンでの放送	令和元年 5 月 27 日

該当する全てのものに○を付けて下さい。
① チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、④ TV、ラジオで公開、
⑤ その他(山陽新聞に掲載)

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善等

(1) できるだけ、これまでに作製・購入したものを利用するようにした。

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

(1) 野外での演奏であるので、風が強いと砂ぼこりで楽器が痛む恐れがある。今後ステージの3方をシートで囲む等の、砂ぼこり対策が必要である。散水も必要である。
(2) 観客席についても、来場者に落ち着いて音楽を聴いてもらうため、ステージに近い側にブルーシートを敷き、その後ろはテントを張って、200席ぐらいのパイプイスを用意する必要がある。 このことにより、今後経費が大幅に増大する可能性がある。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

(1) 今回で4回目となり、地域行事として定着してきた、と思う。

<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。</p> <p>(理由:)</p>	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた</p> <p>Ⅱ おおむねできた</p> <p>Ⅲ 一部できなかった</p> <p>Ⅳ まったくできなかった</p> <p>ⓧⅤ 改善意見がなかった</p>
--	--

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
平成30年10月18日	実行委員会開催・・・新役員の選任、平成31年度の計画の協議
平成31年 1月 9日	実行委員会開催・・・平成31年度「区づくり推進事業助成申込書」の協議
平成31年 4月 10日	実行委員会開催・・・事業の経過報告、最終プログラム・音楽祭当日の作業分担の協議
令和元年 5月 2日	実行委員会・作業部会開催・・・事業の経過報告、プログラム・作業分担の確認
令和元年 5月 25日	音楽祭開催
令和元年 5月 25日	音楽祭開催当日の夜、打ち上げ会を兼ねて反省会を開催
令和元年 6月 26日	実行委員会・作業部会開催・・・事業報告、反省点の協議、来年度の計画について協議
令和元年 7月 22日	執行部役員で、実績報告書について協議

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数(人)
国府市場東町町内会	3
祇園上町内会	2
祇園下町内会	8
中の里町内会	1
段原町内	5
山浦町内会	1
中井町内会	1
祇園山手町内会	1
今在家町内会	5
藤の里町内会	1
国府市場町内会	2
国府市場出村町内会	3
高島学区民生委員・児童委員協議会	3
祇園下子ども会	5
高島学区体育協会	2
高島公民館	1
中島町内会	10
八幡町内会	7
高島一丁目町内会	1
高島二丁目西町内会	1
高島二丁目東町内会	1
八幡東町町内会	1
高島公務員住宅自治会	1
旭竜小学校 PTA	1
旭竜学区子ども育成会連絡協議会	1
旭竜学区民生委員・児童委員協議会	1
旭竜地区社会福祉協議会	1
旭竜学区婦人会	1
旭竜学区体育協会	1
旭竜学区環境衛生協議会	1
旭竜学区老人クラブ連合会	1
岡山市消防団宇野分団	1
旭竜学区おやこクラブ・どんぐり会	1
高島中学校・吹奏楽部	60
就実高等学校・中学校吹奏楽部	95
高島公民館オカリナクラブ	12
ウクレレ弾き語り	1
うらじゃ踊り連・俄嘉屋	20
岡山市消防音楽隊	15
社会福祉法人 昭友会	10
社会福祉法人 金曜会(わくわく祇園'S)	3
香月ダンスチーム	40
和太鼓笑(にこ)チーム	10

計	43団体	342人
---	------	------

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	会長				祇園上町内会
2	副会長				段原町内会
3	〃				八幡町内会
4	会計				祇園下町内会
5	実行委員				国府市場東町内会
6	〃				今在家町内会
7	〃				藤の里町内会
8	〃				市場出村町内会
9	〃				祇園山手町内会
10	〃				山浦町内会
11	〃				高島学区民生委員
12	〃				祇園下町内会
13	〃				〃
14	〃				国府市場町内会
15	〃				国府市場東町内会
16	〃				〃
17	〃				国府市場町内会
18	〃				祇園下町内会
19	〃				〃
20	〃				〃
21	〃				高島新屋敷
22	〃				段原町内会
23	〃				岡山市消防団宇野分団
24	〃				中島町内会
25	〃				八幡町内会
26	〃				中島町内会

27	〃				(社福)昭友会
28	協力団体				祇園下子ども会
29	〃				〃
30	〃				〃
31	〃				(社福)金曜会

⑬ 収支決算書

◆ 収 入

単位：円

項 目	予算額	決算額	備 考
岡山市補助金	346,000	346,000	
協賛金	180,000	180,000	連合町内会・単位町内会
負担金	0	0	
広告料	160,000	175,000	企業・団体 (5,000円×35社)
寄付、その他収入	6,000	4,376	個人
計	692,000	705,736	

◆ 支 出

単位：円

項 目	予算額	決算額	内 容(必ず記載して下さい)
消耗品費	30,000	27,525	インク代 (2,721円)、ラベルシート等文具代 (11,002円)、収納ボックス (3,606円)、角材・結束バンド他 (10,196円)
食糧費	10,000	3,020	熱中症対策用ポカリスエット (20本：3,020円)
印刷製本費	65,000	36,290	ポスター 400枚・チラシ 15,000枚(28,360円)・コピー代など (7,930円)
通信運搬費	190,000	153,459	切手代 (22,679円) 楽器音響装置輸送トラック (3台：76,780円) 部員輸送バス (1台：54,000円)
使用料	248,000	262,760	ステージ用大型テント2張り・通常テント2張り (137,592円) ホワイトボード (1台：3,456円) 仮設トイレ (3基：57,240円) 発電機 (4台：34,472円) 音響設備 (1式：30,000円)
原材料費	10,000	0	
委託料	45,000	30,240	警備員 (2名：30,240円)
報償費	80,000	179,082	出演者謝礼 (4組：80,000円) 撮影費等 (60,480円)、高島中学校・就実中高等学校謝礼 (38,602円)
保険料	9,000	5,900	保険料 (5,900円)
手数料	5,000	7,460	振込手数料 (7,460円)
計	692,000	705,736	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 2 年 1 月 18 日

岡山市長 大森雅夫 様



フリガナ 団体名 そうめいがつくまねなみまじつこうしんかい 操明学区桜並木実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 じょうぎんかいちょう 実行委員長 池田 裕

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称 操明学区「桜祭り」

事業実施区域(小学校区) 操明小学校区

① 事業実施内容

○開催日時: 平成31年 4月 7日(日曜日) 10時 00分 ~ 15時 30分

○開催場所: 岡山ふれあいセンター(岡山市桑野) 芝生広場及び軽スポーツ広場

○事業実施内容

- ① 桜並木及び桜祭りの写真展(1か月ほど前よりふれあいセンター内のプロムナードで実施)
- ② 「桜の樹にみんなで花を咲かせましょう」コーナー
(大きな桜の樹にメッセージを書いた花びらをみんなに書いて貼り付けてもらいます。)
- ③ 小学生によるポスターコーナー(様々な桜の絵が楽しめます。)
- ④ レクリエーション(ゲーム・昔遊び・グラウンドゴルフ・ふわふわハウス・竹とんぼ作成)コーナー
- ⑤ ステージ(吹奏楽・コーラス・大正琴・太鼓・大型紙芝居・ジャズ等)
- ⑥ 飲食及び展示テント(各種団体・JA・学区内協力企業・岡山県ポード連盟・消防等行政機関)
- ⑦ スタンプラリー(会場内、桜並木の見学場所等をクイズを解きながら訪れてもらいます。)

会場・ステージ・ゲームコーナー・スポーツコーナーの各々が連結し、ふれあいセンター内や桜並木見学場所も含め、スタンプラリー等で全てのエリアの踏破を楽しく目指してもらいたいと思っています。

運営スタッフ人数	267人	来場者数	6,500人
出演者人数	171人	天候	晴れ

② 事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

「桜祭り」を続けることで、学区内外に百間川の桜並木の存在をアピールできていると実感している。操明小学校の児童にお願いしている「桜祭り」のポスター作製も、年々増加し250名近い児童から応募があり定着しつつある。近年は、小・中学生や学区民の活動発表の場としても認知され、ステージの参加団体の申し込みが時間を超過するのではと心配するほどである。また、飲食テントも学区内の飲食店からの参加希望が増え、周知が浸透していることがうかがえる。

学区全体が参加できる行事が秋の体育祭しかなかったが、「桜祭り」を実施するようになってから、学校・PTA・各種団体・学区民の交流が活発になる効果は表れている。グリーン作戦・自主防災活動等の活動とお互いに刺激を与えつつ、相乗効果が出ているものと思われる。

③ 事業における地域性・特色

百間川西岸土手に植樹している桜並木の保存・整備の啓蒙を一つの目的としている。この学区内に完成した社会資本を広く学区民及び岡山市民に知ってもらい、大切に育てることを訴えるとともに、自然環境の美化への意識を高めたいと思っている。美しい自然環境の中では、荒廃した人間性や隔絶した人間関係は発現しないという信念のもと取り組んでいる。

拡大し続ける学区の特性を鑑み、住民の連携・一体感の醸成が不可欠な情勢である。そのために、連合町内会・各種団体・幼小PTA・親父の会・スポーツ少年団・かがやきクラブ（老人会）まで、学区内のほとんど全ての団体に参加・協力をいただき、学区が一体となって運営していることが特色である。

「安心・安全の街づくり」を積極的に推進している当学区の活動の紹介も行った。また、学区内の全戸に案内・チラシを配布し、小さな子供たちからお年寄りまで楽しめる企画としている。

④ 企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

出店等が集中する中心エリアに「桜の花を咲かせよう」コーナーを設け、ステージ・ゲーム・レクリエーションと、誰でもどこかに楽しめるエリアがあるという設定にした。

スタンプラリーの広報が浸透してきた結果、用意した景品が午後の早い段階で無くなってしまうので景品の数を増やして対応した。会場内の4つのエリアや桜並木の見学場所等にスタンプ場所を設置し、多くのエリアを廻って祭りを楽しんでもらえるように工夫しました。

祭り実施10日前ほどから、ふれあいセンター内のプロムナードでパネル展示（昨年度の桜祭り）を実施し、今年の桜祭りのチラシも置いて宣伝を行った。

⑤ 事業の公共・公益性

江戸時代に造られた干拓地であるので、歴史的な建造物や文化遺産はない地域である。しかし、戦前には百間川の土手に黒松並木があり、美しい景観だったという地域の人々の声を受けて、地域内の議論の末、公共の社会資本として桜並木を植樹した。

この桜並木を地域・岡山市民が集える場として整備・普及を図りたいと思っている。また、当桜祭りをその発信源として活用して、これを続けることで桜並木の周知・啓蒙を図っていきたい。

⑥事業の情報公開

- 全戸配布の広報誌 ○ 「桜祭り」の全戸配布チラシ
 ○ ポスター(小学生の手作り) ○ 岡山市全域への民間広報誌

上記広報物を通じて、学区内及び岡山市全域に広報・情報公開を行っている。

また、12月・1月・3月の実行委員会や各種団体長会議において、連合町内会・各種団体に対して、事業内容(申請書・企画書・予算書・決算書)の公開をしている。

詳細な決算書に関しては、連合町内会と実行委員会が保管・管理し要請があればいつでも開示できる体制をとっている。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- ① チラシを作成配布、② HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、④ TV、ラジオで公開、
 ⑤ その他()

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

出店団体の会計は分離し、本部会計には組み込まず独立採算性を確保し、本部運営予算の縮小を図っている。逆に出店団体からはテントスペース料を徴収し、将来の自主予算での実施に向けての方向性を維持しつつ祭りの盛り上がり(参加者の増加等)を模索している。

ふわふわランドを業者から譲り受け、自主運営できるようになった。これにより、ふわふわランドの収入は、概ね実行委員会の収入とすることができた。

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

現在、学区の人口も増え、連合町内会や各種団体も世代交代の時期を迎えている。新たな飛躍や拡大が可能な状況にある反面、一体感を維持していくことに困難や今まで以上の労力が必要となってきているのも現状である。

地域での周知が広まり、ステージ・テント出店等の希望者が増えている流れを大切にしながら、今まで同様、学区を挙げて取り組む行事であるというスタンスを維持し、世代交代した各種団体を有機的に取り込んでいけるかどうか、この祭りの今後を左右するという認識のもと精力的に取り組んでいきたい。

また、岡山市の補助事業ではなく、学区の独自事業への変換も視野に入れつつ事業の運営を考える時期に来ていると思われまます。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

食糧費の金額(比率)が高いとの指摘があったが、運営スタッフに対しては一人当たり300円の食券しか支給していない。その他は小学生がポスターを描いたり、吹奏楽や太鼓の出演者に対する謝礼的要素が高いので、今回から報償費として決算報告している。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- ・液状化被害についての啓発や軽便鉄道の歴史の周知など、改善努力の様子がうかがえます。
 - ・桜並木の状態や保存についての苦勞などを知りたいと思いました。
 - ・食事券について、食糧費と報償費の分かりやすい工夫を願います。
- 右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- ② おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
30年11月6日	企画会議(企画案検討・作成)
30年11月24日	連合町内会理事会(企画案提示・参加要請・参加内容の報告依頼)
30年12月8日	準備会議(コミュニティー協議会内の役割分担協議)
31年1月8日	準備会議(ポスター依頼・ボランティア依頼等の協議)
31年1月20日	準備会議(ステージ出演団体の確認)
31年1月29日	各種団体長会議(各種団体の役割分担確認・依頼)
31年1月30日	準備会議(出展団体等への諸注意事項伝達・ネットワーク&全戸配布チラシの内容確認)
31年2月5日	準備(ポスター提出児童への食事券作成)
31年2月12日	準備(ポスター提出児童への食事券作成)
31年2月20日	準備会議(ポスターのラミネーター処理・パンチ穴開け・紐通し)
31年3月5日	準備(桜の木の絵の作成)
31年3月10日	準備(桜の木の絵の作成)
31年3月20日	準備会議(参加役員等への食事券作成)
31年3月24日	準備会議(参加役員等への食事券作成)
31年3月30日	準備会議(コミュニティー協議会内の役割分担確認)
31年4月5日	準備(当日備品等の最終確認)
31年4月7日	当日
31年5月7日	反省会
R2年1月17日	監査

①事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
連合町内会	15
交通防犯協議会	35
交通安全母の会	20
体育協会	40
社会福祉協議会	8
環境衛生協議会	8
愛育委員会	16
親父の会	14
操明小学校PTA	10
操明幼稚園PTA	5
操南中学校PTA	15
操明学区コミュニティー協議会(当日司会含む)	12
電子町内会	7
連合自主防災会	7
かがやきクラブ	10
かがやきクラブ江並上	12
かがやきクラブ二番用水	5
かがやきクラブ藤崎下	13
三幡消防団	7
JA三幡婦人部	8
大型紙芝居ぶんちやっちや	11
大正琴同好会	9
操南中学校吹奏楽部	46
岡山市レクリエーション協会	6
操明グランドゴルフ同好会	10
コーラス	15
太鼓同好会	70
岡山県ボート連盟	5
計	28団体 439人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	連合町内会会長				統括・単位町内会代表
2	連合町内会副会長				藤崎下担当・環衛協副会長
3	〃				江並下担当・自主防災会会長
4	〃				藤崎上担当・青少年育成代表
5	〃				桑野上担当・コミュニティー会長
6	〃				桑野下担当・健康21
7	〃				江並中担当・地域活性化
8	〃				江並上担当・地域活性化
9	総務				庶務・地域活性化支援
10	会計				財務管理
11	連合町内会理事長				地区活性化支援
12	環境衛生協議会会長				実行委員会(整備・美化)委員長
13	体育協会会長				連合町内会理事・生涯スポーツ支援
14	愛育委員会会長				連合町内会理事
15	社会福祉協議会会長				連合町内会理事
16	交通防犯協議会会長				連合町内会理事
17	交通安全母の会会長				連合町内会理事
18	操明小学校校長				操明小学校 校長
19	操明幼稚園園長				操明幼稚園 園長
20	操明小学校PTA会長				小学校対応
21	操明幼稚園PTA会長				幼稚園対応
22	操南中学校PTA副会長				中学校対応
23	親父の会				総務
24	学校施設開放運営委員長				連合町内会理事
25	連合町内会理事				編集委員会委員長
26	〃				民児協会長
27	〃				総務・栄養改善協議会会長
28	〃				福祉・コミュニティ活動支援

29	〃				電子町内会推進委員
30	〃				財務管理支援
31	かがやきクラブ会長				総務
32	〃				総務
33	〃				総務
34	三幡漁協				総務
35	JA三幡婦人部				総務
36	コミュニティ協議会 副会長				総務・自主防災会担当
37	〃				実行委員会(広報・植樹)委員長
38	コミュニティ協議会				総務・環境衛生協議会担当
39	〃				総務・電子町内会担当
40	〃				総務
41	〃				総務
42	〃				総務

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	236,500	219,500	
協賛金	203,500	181,666	学区補助金
負担金	18,000	21,000	テントスペース料
広告料			
寄付、他収入	15,000	17,000	ゲーム券売上等
計	473,000	439,166	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
① 消耗品費	55,000	50,361	事務文具代
② 食糧費	215,000	106,335	事前会議・当日役員用食券 (267人×300円)
③ 印刷製本費	15,000	0	
④ 燃料費			
⑤ 光熱水費			
⑥ 通信運搬費	5,000	256	郵送代
⑦ 広告料	55,000	54,000	広告掲載料
⑧ 手数料	1,000	108	両替手数料
⑨ 使用料	1,000	0	
⑩ 原材料費	1,000		
⑪ 委託料	45,000	35,000	レクリエーション協会等
⑫ 工事請負費			
⑬ 報償費	70,000	183,950	出演団体謝礼及びポスター 作製等の食券
⑭ 保険料	10,000	9,156	イベント保険料
計	473,000	439,166	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 2 年 / 月 14日

岡山市長 大森 雅夫 様



フリガナ 団体名 **三 勲 会**

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 **フリガナ 会長 なり た まさ し 成 田 昌 士**

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	三勲学区ふれあい事業(春・夏・冬の四世代ふれあいフェスティバル)		
事業実施区域(小学校区)	岡山市立三勲小学校区域		
①事業実施内容	<p>○春の四世代ふれあいフェスティバル</p> <p>1.開催日 2019年5月19日(日) 天候 曇り</p> <p>2.時間 午前8時30分～午後2時00分まで</p> <p>3.場所 岡山市三勲小学校(体育館及び校庭)</p> <p>4.イベント内容 ①ふれあいゲーム(ピンゴ・リースロー・ホールインワン) ②フワフワドーム ③婦人会による野点 ④うどんのサービス ⑤災害時対策(炊き出し) ⑥幼児によるダンス(幼稚園教員の指導による) ⑦シャボン玉遊び ⑧中学生企画(宝さがし) ⑨体力測定(スポーツ推進とのコラボ企画) ⑩操山中吹奏楽演奏</p> <p>5.来場者数 800名</p> <p>○夏の四世代納涼フェスティバル</p> <p>1.開催日 2019年8月18日(土) 天候 晴れ</p> <p>2.時間 午後4時～午後9時まで</p> <p>3.場所 岡山市三勲小学校(校庭)</p> <p>4.内容 ①中学生企画(宝さがし) ②なんでもステージ ③チャレンジゲーム ④岡山東商業の書道パフォーマンス ⑤トライアプ ⑥岡山のフリスコ体験</p> <p>5.来場者数 1,000名</p> <p>○冬の四世代事業</p> <p>1.開催日 2019年12月1日(日) 天候 晴れ</p> <p>2.時間 午前9時～12時まで</p> <p>3.場所 東山公園コミュニティー集会所前付近</p> <p>4.イベント内容 ①ふれあい餅つき大会</p> <p>5.来場者数 460名</p>		
運営スタッフ人数	405名	来場者数	2,260 -2,000名
出演者人数	100名	天候	

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

年3回のイベント開催により、地域の活性化が図れ、住んでみたい三黽学区、住んでよかった三黽学区の理念が築けていると思われまます。地域住民の協力体制も整い、防犯活動にも役立っています。小学校も地域外よりの通学者も年々増加しています。地域内には岡大附属小学校もあり、子ども同士の交流にもつながっています。これらのイベントを核とし、地域の各種団体が主催する行事もあり、三黽会を中心に日程調整、協力体制の確立も出来ており、継続活動により、躍動的な魅力ある三黽学区を目指します。

③事業における地域性・特色

三黽学区の四世代ふれあい事業は地域活性化のため、連合町内会・社会福祉協議会・体育協会他、地域の各種団体の協力により毎年開催されています。各種団体の協力体制、行事調整等のため、各種団体長が出席する三黽会を2ヶ月に1回開催しています。

春の四世代ふれあい事業は、新入学・転勤者などの多い春に、地元の小学校で1日みんなで遊びながら学区民のふれあい、地域活性化による非行防止呼びかけを目的に開催しています。非常用炊き出し・消化訓練などの災害時対策コーナーではまさかに備えて体験し、800名の参加があり、学区の春のイベントとして定着しています。中学生も企画段階から実行委員会に参加し、昨年に続き岡山市スポーツ推進委員とのコラボによる体力測定も行ないました。

夏の四世代納涼事業は、夏休みの間の交流イベントとして各種団体の日頃の鍛錬の発表の場とし、10年以上も続いた事業として夏のイベントとして定着しています。今年は1,000名の参加があり、岡山東商業の書道パフォーマンスは圧巻でした。トライアップ岡山とのコラボ企画も始め、操山公民館とのコラボ企画等により、よりパワーアップした夏のイベントを目指します。

冬の四世代ふれあい事業は年末の風物詩でもある餅つきをベースに、餅が出来るまでの流れを体験してもらい、小学校・幼稚園の先生の協力もあり、世代を越えたふれあいを目的に開催しています。

どの企画も地域全体で盛り上げている企画であり、これらをベースに各種スポーツ大会・各種セミナー等を各種団体が主催し、四季を通じての学区イベントが開催されています。

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

毎年の行事实施にあたり、各種団体への協力体制の確立・事業計画の立案のため最低2回は企画会議を開催し、学区民に対するイベントの説明会実施・ポスター・チラシなどによる学区内外への浸透を図っています。各行事開催時の安全管理には細心の注意を払い、幼児から年配者まで安全に楽しく過ごしていただく環境作りに配慮しています。終了後には反省会を実施し、幅広い意見収集を行い次年度計画に役立っています。

また、学区内の各種団体の活動アピールの場でもあり、民生児童委員協議会・交通安全母の会・防犯協議会・交通安全対策協議会・体育協会・子ども会などがイベント開催時に活動をアピールしています。

毎年少しずつイベント内容にも工夫を凝らし、中学生の企画段階からの参画、岡山市スポーツ推進とのコラボ企画、地域の学校・公民館とのコラボ企画等により、参加者にイベントへの参加呼びかけを行っています。

⑤事業の公共・公益性

学区住民だけでなく、近隣の学区からもイベントに参加しており、地域活性化が図れていると思われます。費用もほとんどが無料となっており、利益主義となっていません。親睦を第一に考え、地域交流の場としても定着しています。

⑥事業の情報公開

各事業の企画には、事業実施メンバーが事前に最低でも2回以上の会議を開き、予算の検討及び四世代のふれあい交流にふさわしいプログラム内容を検討し、開催1ヶ月前には、地域に対しイベント内容説明会を実施、ポスターの掲示・チラシ配布の協力を得ています。行事終了後は収支決算を実施し、実施報告ならびに次年度開催へ向けた協議会を開催しています。

また、参加者の募集に関しては、小学校・幼稚園の協力も得ており、学校からの募集ルート・町内からの募集ルート・ポスターなどによる幅広い告知を行っています。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- Ⅰ チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
Ⅴ その他()

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

連合町内会、社会福祉協議会等よりの助成金をベースに、地域住民によるボランティアスタッフの手による手作りのイベントを開催している。ステージ・機器等以外は各自持ち寄り費用削減に協力していただいている。スタッフ昼食も最低限の費用となる様、努力している。

⑧今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

春のイベントは防災を核として、夏のイベントは学区民の発表の場を核とし、毎年の内容を昨年までの結果を踏まえ、マンネリ化を防止する必要があります。スタッフの高齢化問題もあり、企画段階での協力が弱くなっています。中学生スタッフとの企画会議の定着化を図り、他地区・地域の学校とのコラボ企画も考慮し、進めていきます。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

岡山市のホームページへの掲載による周知徹底を行い、他地区に対しての情報発信をしたい。学区民を中心としたイベントではあるが、近隣の小学校区からも参加があり、中区の三軒を中心としたイベントとしても推進したいと考えている。

学区内の各種団体が協力して各事業を実施しているため、学区内の連携強化などが図られ、防犯への協力をはじめ、地域活動の協力体制が出来、活性化が図られています。

中学生のボランティア参画もあり、幼児から年配の方まで年々参加者意識が増加しています。

特に中学生のボランティアは、春・夏のイベント時に企画段階からの継続参画を図ります。

また、地区内のみこだわらず、他地区・団体とのコラボ企画についても検討を重ねていきます。

高齢者の増加がありますが、自宅から屋外へ出てもらい、元気な高齢者が増加する様にイベント内容についても工夫していきます。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容
内容を創造しようという思いは感じられましたが、イベント内容自体のマンネリ化は否めないと感じます。

右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)
イベント内容自体のマンネリ化については、基本コンセプトは変えずに、実施内容を工夫して目先の変わった事、興味を引く企画を取り入れ実施しています。今年度は、春の企画では体力測定を継続し、夏の企画では、岡山東商業の書道パフォーマンス、トライフープ岡山とのコラボ企画、操山公民館とのコラボ企画と工夫をしています。参加者の反応も良く、継続して進めていきます。

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
2019年 1月 9日	・三黜会での年間行事計画会議(日程・概要等の検討)実行委員会
2019年 2月 14日	・実行委員会による年間行事計画会議
2019年 3月 13日	・三黜会にて各種団体との日程調整及び協力要請
2019年 4月 6日	・実行委員会による春のイベント、夏のイベントの概要確定
2019年 4月 16日	・春の四世代ふれあいフェスティバルの詳細内容調整会議
2019年 4月 25日	・春の四世代ふれあいフェスティバルの各町内会等への説明会開催
2019年 5月 7日	・岡山市スポーツ推進委員役員会で内容調整
2019年 5月 8日	・三黜会にて各種団体との最終調整実施
2019年 5月 11日	・中学生実行委員との企画会議
2019年 5月 16日	・実行委員による春のイベント最終会議、夏のイベントオフア-調整
2019年 5月 18日	・春の四世代ふれあいフェスティバルの前日準備
2019年 5月 19日	・春の四世代ふれあいフェスティバルの開催及び当日の反省会
2019年 5月 26日	・連合町内会総会にて春の振返り夏の概要説明と行事協力依頼
2019年 6月 8日	・地区社会福祉協議会総会にて春の振返り、夏行事イベント協力依頼
2019年 6月 13日	・実行委員会での振返り、次年度に向けての会議、夏企画会議
2019年 6月 15日	・中学生実行委員会との夏イベント内容検討会議
2019年 6月 17日	・換山公民館との夏イベント打合わせ(出演依頼交渉)
2019年 6月 20日	・換山中学校との夏イベント打合わせ(ボランティア募集増員)
2019年 7月 3日	・岡山東商業、トライブ-岡山とのイベント打合わせ
2019年 7月 6日	・中学生実行委員会との夏イベント会議
2019年 7月 10日	・三黜会にて春の四世代ふれあいフェスティバルの各種団体との反省会
2019年 7月 17日	・実行委員会による夏のイベント検討会議
2019年 7月 20日	・中学生実行委員会との夏イベント会議・
2019年 7月 26日	・岡山市スポーツ推進委員役員会での内容振返りと次年度計画
2019年 8月 7日	・実行委員会会議
2019年 8月 10日	・中学生実行委員による準備、リハ-サル
2019年 8月 17日	・夏の四世代ふれあいフェスティバルの開催
2019年 8月 18日	・夏の四世代ふれあいフェスティバル片付けと振返り会
2019年 9月 11日	・三黜会にて振返りと次年度に向けての検討 ・三黜会にて冬のイベント概要検討
2019年 11月 3日	・冬のイベントの準備
2019年 11月 16日	・冬のイベント用具確認、準備(買い物)
2019年 11月 19日	・冬のイベントの詳細内容検討及び各種団体との調整会議
2019年 11月 16日	・冬のイベントの準備(買い物)
2019年 11月 18日	・冬のイベントの準備(買い物)
2019年 11月 19日	・冬のイベントの準備及び打ち合せ
2019年 11月 25日	・冬のイベントの準備及び打ち合わせ
2019年 11月 30日	・冬のイベントの前日準備
2019年 12月 1日	・冬のイベントの実施
2019年 12月 2日	・冬のイベントの片付け
2019年 12月 3日	・冬のイベントの反省会・次年度に向けての検討①
2019年 12月 4日	・冬のイベントの反省会・次年度に向けての検討②
2020年 1月 8日	・三黜会にて2019年度の四世代イベントの反省と次年度に向けての検討

①事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
春の四世代ふれあいイベント	190人
三敷学区体育協会	30人
三敷学区社会福祉協議会	5人
交通安全母の会	10人
婦人会	25人
防犯協議会・交通安全対策協議会	20人
民生児童委員会	15人
操山中学校・三敷小学校・三敷幼稚園	25人
岡山市スポーツ推進委員	50人
子ども会	10人
夏の四世代納涼ふれあいイベント	135人
三敷学区体育協会	30人
三敷学区社会福祉協議会	5人
交通安全母の会	5人
婦人会	10人
防犯協議会・交通安全対策協議会	20人
民生児童委員会	10人
操山中学校・三敷小学校・三敷幼稚園	30人
消防団三敷分団	5人
子ども会	20人
冬の四世代ふれあいイベント	80人
三敷学区社会福祉協議会	3人
民生児童委員会	27人
三敷学区体育協会	3人
防犯協議会・交通安全対策協議会	7人
婦人会・愛育委員会	15人
三敷小学校・幼稚園	15人
連合町内会・地区議員	10人
計	405人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	会長				連合町内会会長
2	理事事務局				体育協会会長
3	理事				社会福祉協議会会長
4	理事				婦人会会長
5	理事				防犯協会会長
6	理事				民児協会会長
7	理事				老人クラブ会長
8	理事				子ども会会長
9	理事				三敷消防分団長
10	理事				うさぎの家代表
11	理事				教育振興会会長
12	理事				子ども会アドバイザー
13	理事				岡山市議会委員
14	理事				三敷小PTA会長
15	理事				交通安全母会会長
16	理事				栄養改善協議会
17	会計				愛育委員会会長
18	会計監査				社協事務局長
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入 総 括

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	298,000	298,000	
協賛金	0		
負担金	0		
広告料	0		
寄付、他収入	298,000	331,313	
計	596,000	629,313	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
①消耗品費	85,000	98,673	皿、はし等
②食糧費	67,000	44,309	会議お茶
③印刷製本費	107,000	128,800	チラシ、ポスター
④燃料費	8,000	9,615	ガスボンベ
⑤光熱水費	0		
⑥通信運搬費	16,000	17,750	案内ハガキ、切手
⑦広告料	0		
⑧手数料	0		
⑨使用料	195,000	198,512	ステージ他
⑩原材料費	60,000	53,294	もち米、小豆等
⑪委託料	43,000	64,800	警備、運搬、ゴミ処理
⑫工事請負費	0		
⑬報償費	0		
⑭保険料	15,000	13,560	傷害保険
計	596,000	629,313	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入 春のイベント

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	94,000	97,250	
協賛金			
負担金	94,000	125,843	
広告料			
寄付、他収入			
計	188,000	223,093	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
①消耗品費	45,000	35,656	事務用品、ピンゴカード等
②食糧費	40,000	36,222	役員昼食、会議飲物
③印刷製本費	40,000	54,000	ポスター、チラシ
④燃料費	4,000	6,735	プロパンガス
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	6,000	7,200	案内用切手、ハガキ
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	35,000	34,320	ふわふわドーム、紅白幕等
⑩原材料費	10,000	9,400	炊き出し用米
⑪委託料	3,000	34,560	運搬委託、ゴミ処理代
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	5,000	5,000	傷害保険
計	188,000	223,093	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

⑬ 収支決算書

◆収入 夏のイベント

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	165,500	162,250	
協賛金			
負担金			
広告料			
寄付、他収入	165,500	162,325	
計	331,000	324,575	

◆支出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	20,000	38,706	事務用品等
②食糧費	25,000	8,087	役員昼食等
③印刷製本費	65,000	64,800	チラシ、ポスター等
④燃料費	3,000	0	ガスボンベ・・・領収書なし
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	10,000	10,550	切手、ハガキ等
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	160,000	164,192	ステージ、発電機等リス
⑩原材料費			
⑪委託料	40,000	30,240	ガードマン2名、ゴミ処理代
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	8,000	8,000	傷害保険
計	331,000	324,575	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入 冬のイベント

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	38,500	38,500	
協賛金			
負担金			
広告料			
寄付、他収入	38,500	43,145	
計	77,000	81,645	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	20,000	24,311	皿、はし等
②食糧費	2,000	0	会議お茶
③印刷製本費	2,000	10,000	チラシ、ポスター
④燃料費	1,000	2,880	ガセットボンベ、まき
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料			
⑩原材料費	50,000	43,894	もち米、小豆等
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	2,000	560	傷害保険
計	77,000	81,645	

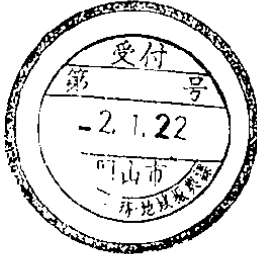
※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の□でダブルクリックして、ワークシートを表示してから入力してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和2年1月22日

岡山市長 大森 雅夫 様



フリガナ 団体名 サマーフェスタ旭操実行委員会

所在地 [Redacted]

連絡先 [Redacted]

フリガナ 代表者役職・氏名 実行委員長 内藤 淳美

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第34回サマーフェスタ旭操“2019”		
事業実施区域(小学校区)	旭操小学校区		
①事業実施内容			
○開催日時:	令和元年 7月27日(土曜日)	17時00分	～21時30分
○開催場所:	岡山市立旭操小学校		
○事業実施内容	沖新田開発により生まれた地域の歴史と文化を次世代に伝え、田園風景が残る学区の新旧住民、世代間の融和・交流を図り、地域の活性化を図ることを目的とし実施した。		
①パネル展示	学区内各所の写真展示(名所、用水路、大木、公園、学校、家並み、浸水等の過去の災害時などの写真の展示) 旭操学区の歴史年表(江戸時代からの歴史を年表として掲示)		
②舞台演技	白菊保育園(鼓笛隊)、旭操幼稚園(うらじゃ)、旭操小学校(ダンス) 操南中学校(南中ソーラン)、興陽高校和太鼓部(和太鼓)、うらじゃ演舞 婦人会・老人会(盆踊り) など		
③子どもコーナー	ピッチングゲーム、ダーツ、子ども売店など		
④ミニ新幹線	みんなで乗車(子どもに大人気)		
⑤高齢者相談コーナー	ニチイケアセンターによる		
⑥模擬店	食事、おやつ、飲み物など		
運営スタッフ人数	873人	来場者数	4620人
出演者人数	300人	天候	くもり

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

この事業は子どもから高齢者まで、町内会・各種団体まで学区一体で企画から実施まで総力を挙げて取り組んでおり、特に小学生(高学年)から中学生ボランティアがスタッフの中心となり、できる範囲で事業に携わることにより次世代の人材育成となった。

このことは、学区民から小・中学生の挨拶・交通ルールが良くなったと好評を得ている。

昨年の体験から、各々の自発的行動と学区民との協力態勢から信頼関係が生まれたことを実感した。学区の防火活動をはじめとする様々な共助・協力を必要とするなかで、自ら進んで協力していく態勢づくりの土壌が育まれた。

③事業における地域性・特色

当地域は、近年宅地化が進み、若い世代を中心とした入居者が増加して、「昔ながらの地域」「新興住宅地」が混在している地域である。本事業を、旭操学区の一大イベントと位置づけ、地域内の保育園、幼稚園、小学校、中学校から町内会、各種団体、子どもから高齢者まで学区民が総ぐるみで企画立案、準備、運営進行、出演、片付けを行っている。学区の新旧住民・近隣学区及び世代間の交流が促進され、地域の一体感が高まっている。

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

①連合町内会を中心に各種団体がそれぞれの立場から「より住みよい地域にする」ことを念頭に、毎年プログラムの検討を行い、そこでアイデアを出し合っている。特に子どもから高齢者まで楽しめ、かつ参加できる内容を考え、有意義なサマーフェスタになるように努めている。

②各種団体を中心に、一致協力してサマーフェスタを開催することで、それぞれが顔見知りとなり、防犯・防災などの非常時を含め一体感を持ち、あらゆることに地域住民が力を合わせ協力することができるように努めている。

③学区内の各所の写真展示(名所・用水路・大木・公園・学校・家並み・浸水等の過去の災害などの写真の展示)や旭操学区の歴史年表(江戸時代からの歴史を年表として展示)を大々的に展示することで、地域住民の地域への愛着を高めるようにしている。

④サマーフェスタの準備・本番・片付けにおいて、中学生がボランティア活動に参加している。模擬店での接客やサマーフェスタの運営に参加することで、学区民としての意識向上、「奉仕の心」について学ぶ場となっている。

⑤ゴミの分別ボックスを設けて環境美化に努めている。年々、ゴミの散乱が減ってきており、マナーが向上している。

⑥高齢者が増加する中で、自分が参加できない高齢者を招待し、ひととき会場で過ごすことで大変喜んでいただいている。

⑤事業の公共・公益性

- ・連合町内会を中心とした各種団体が協力して実施できている。
- ・新旧住民、乳幼児から高齢者まで、地域に住む誰もが参加でき、楽しむことができるイベントになっている。

⑥事業の情報公開

旭操学区連合町内会のHPに掲載したり、チラシを作成し、各種団体に配布したり、各町内会の掲示板にチラシを張り出したりしている。また、時期が近くなったら、近隣に「サマーフェスタ旭操」の幟を掲げるなど、地域への周知を図った。

実行委員会での協議内容(事業内容・企画・予算、決算等)を各種団体に広く共有している。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

① チラシを作成配布、 ② HPに掲載、 ③ 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、

⑤ その他(広報車)

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

なるべく無駄な経費を節減していくように努めているが、熱中症の対策もあり、リース品の経費が増加しているのが実情である。

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

学区の高齢化が著しい中で、高齢者の1人暮らし・2人暮らし世帯が多くなっている。この事業が中心となり、「近所の輪」が広がるように学区として取り組み、防災活動をはじめとする地域で一致協力していかなければならないに対し、地域住民自ら積極的に参加・行動できるように、さらに地域の輪を広げていく必要がある。

また、元気な高齢者も積極的に参加していただき、共通の価値観をもって学区を超えた友好を図っていく必要も感じていた。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

〈感想・PR〉

- ・学区内各所の写真展示及び旭操学区の歴史年表は新たな出来事や行事を随時追加し、見やすいように配置を工夫し、自分たちの暮らす地域の歴史、文化、現況の風景などを見ることで地域への愛着を高めている。
- ・「昔ながらの地域」「新興住宅地」が混在している地域で、地域内の学校園をはじめ各種団体が協力していて、幼児から高齢者まで地域を挙げて取り組むことで地域のまとまりが強まっている。
- ・ボランティア活動(模擬店での接客やイベントの運営に参加)を行うことで、中学生が「奉仕の心」を高めるとともに、普段あまりつながりのない大人と交流することで社会性を身に付けることができる。
- ・ゴミの分別が年々良くなり、環境美化意識が向上している。
- ・普段あまり顔を合わさない住民同士が、会場で飲食を共にしながら交流を深めることで、ふれあいのある住みよい地域となることが期待できる。
- ・真夏のイベントであり、熱中症対策を実施している。

〈事業実施上の改善点〉

- ・学区内の写真展示、歴史年表については、今後も新たな出来事や行事を随時更新できるようにしていく。
- ・今後も各種団体や各参加者が協力して、地域の誰もが参加でき、多くの方に参加してもらえようようなイベントにしていきたい。また、一体感のある住みやすい地域を目指して少しずつでも前進していけるように努めていく。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年	月	日	内 容	参加人数
2019	5	12	第1回実行委員会(実施要項・予算・協賛金等)	60名
	6	16	第2回実行委員会(会場設定・役割分担・ボランティア)	74名
	7	1~18	各担当打ち合わせ実施	380名
	7	14	第3回実行委員会(プログラム等最終打ち合わせ)	102名
	7	5	操南中ボランティア説明会	136名
	7	14	旭操小学校ボランティア説明会	3名
	7	26	会場準備(17:00~19:00)	213名
	7	27	会場準備(9:00~13:00)	562名
			サマーフェスタ旭操“2019”	1,116名
	7	28	会場片付け	316名
	8	31	監査	5名
9	1	第4回実行委員会(実施報告・監査報告・反省改善事項)	68名	

⑪事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等	事業運営のスタッフ人数
旭操学区連合町内会	82
旭操学区コミュニティ協議会	6
旭操学区コミュニティ同好会	5
旭操学区社会福祉協議会	35
旭操学区防犯協議会	30
旭操学区交通安全対策協議会	30
旭操学区体育協会	45
旭操学区婦人会	82
旭操学区愛育委員会	50
旭操学区民生児童委員協議会	12
旭操学区老人クラブ連合会	11
旭操学区交通安全母の会	30
旭操学区子ども育成会	57
あけぼのクラブ保護者会	60
白菊保育園保護者会	10
旭操幼稚園PTA	26
旭操小学校PTA	15
操南中学校PTA	48
旭操スポーツ少年団	25
旭操スポーツ少年団後援会	61
旭操セーフティーズ	4
消防操場分団	5
操南中学校ボランティア	135
旭操小学校ボランティア	8
計	24 団体
	873人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	実行委員長				連合町内会
2	子供販売担当				コミュニティ協議会
3	高齢者担当				社会福祉協議会
4	場内警備担当				防犯協議会
5	会場整理担当				交対協
6	子供売店担当				体育協会
7	仕入担当				環境衛生協議会
8	売店担当				婦人会
9	売店担当				愛奇委員会
10	場内警備担当				民生児童委員協議会
11	商品担当				老人クラブ連合会
12	会場整理担当				交通安全母の会
13	売店担当				子供育成会
14	売店担当				おやこクラブ
15	売店担当				あけぼのクラブ
16	売店担当				中学校 PTA
17	売店担当				小学校 PTA
18	売店担当				幼稚園 PTA
19	売店担当				スポーツ少年団
20	売店担当				スポーツ少年団後援会
21	場内警備担当				セーフティーズ
22	場内警備担当				操陽消防分団

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	400,000	400,000	
協賛金	800,000	450,000	
負担金	0		
広告料	0		
寄付、他収入	50,000	31,926	
計	1,250,000	881,926	

◆ 支 出

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
①消耗品費	60,000	9,218	コピー用紙他
②食糧費	150,000	115,070	会議等飲料水他
③印刷製本費	55,000	51,840	抽選券印刷代
④燃料費	10,000	2,000	広報車ガソリン代
⑤光熱水費	0		
⑥通信運搬費	60,000	66,950	案内ハガキ、切手、資材運搬代
⑦広告料	0		
⑧手数料	30,000	21,654	クリーニング代、振込手数料
⑨使用料	520,000	299,456	照明、テント、ゲーム機他
⑩原材料費	60,000	23,778	調理食材代
⑪委託料	80,000	80,000	ミニ新幹線
⑫工事請負費	150,000	150,000	電機工事
⑬報償費	50,000	60,000	出演者謝礼
⑭保険料	25,000	1,960	傷害保険
計	1,250,000	881,926	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和元年10月23日

岡山市長 大森 雅夫 様

団体名 フノグナ サンセダイコウワフ レア イフェスタウノジヨウインカイ
三世代交流ふれ合いフェスタウの実行委員会

所在地

連絡先

代表者氏名 ニリガキ 実行委員長 ワケノ 渡邊 タケシ 唯志

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

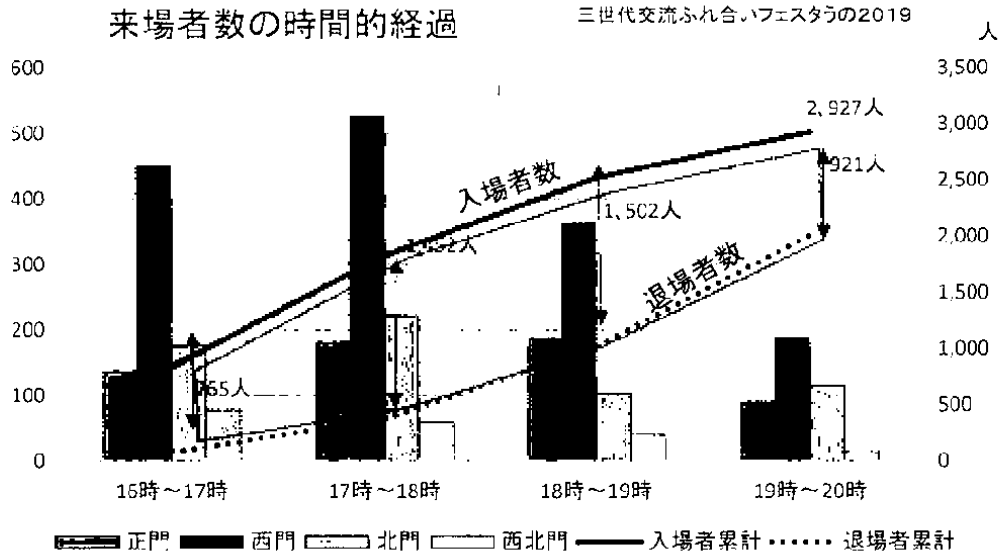
事業名称	三世代交流ふれ合いフェスタウの2019																								
事業実施区域(小学校区)	宇野小学校区																								
① 事業実施内容	<p>○開催日時: 令和元年 7月27日(土曜日) 17時00分 ~ 20時30分</p> <p>○開催場所: 岡山市立宇野小学校グラウンド</p> <p>○事業実施内容</p> <p>(1) 三世代・障害者交流 17:00~20:30</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr><td>1. 開会</td><td style="text-align: right;">17:00</td></tr> <tr><td>2. 宇野小学校吹奏学部 演奏</td><td style="text-align: right;">17:00~</td></tr> <tr><td>3. 宇野幼稚園・宇野保育園・浜保育園 歌・踊り</td><td style="text-align: right;">17:20~</td></tr> <tr><td>4. 岡山県立岡山盲学校 バンド演奏</td><td style="text-align: right;">17:35~</td></tr> <tr><td>5. 西山諒一郎とマウナハワイアンズ (追加: 夫婦演歌)</td><td style="text-align: right;">17:55~</td></tr> <tr><td>6. 鳥城穰鼓遊会 太鼓演奏</td><td style="text-align: right;">18:40~</td></tr> <tr><td>7. ご挨拶 (追加: 兄弟漫才)</td><td style="text-align: right;">19:05~</td></tr> <tr><td>8. 岡山中央警察署 寸劇</td><td style="text-align: right;">19:15~</td></tr> <tr><td>9. お楽しみゲーム</td><td style="text-align: right;">19:35~</td></tr> <tr><td>10. 夏総踊り(穰鼓遊会 太鼓演奏)</td><td style="text-align: right;">20:00~</td></tr> <tr><td>11. 閉会</td><td style="text-align: right;">20:30</td></tr> </table> <p>障害者交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者 1団体 ・障害者運営夜店 3店舗 (夜店全体 16店舗) ・高齢者・障害者優先席設置 30席 <p>環境美化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員1名、中学生ボランティアを配置して、「ペットボトル」・「空き缶」・「燃えるゴミ」を分別を徹底した。結果は、ゴミの全量は変わらないが、ボランティア袋の大幅な減量ができた。 ・夜店では、ビン類販売禁止(埋め立てゴミの発生防止) <p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月7日西日本豪雨での、宇野学区状況写真60枚を掲示する。 ・実行委員2名を専属で配置した。真夜中での出来事であり、多くの人々が興味深く見られた。 			1. 開会	17:00	2. 宇野小学校吹奏学部 演奏	17:00~	3. 宇野幼稚園・宇野保育園・浜保育園 歌・踊り	17:20~	4. 岡山県立岡山盲学校 バンド演奏	17:35~	5. 西山諒一郎とマウナハワイアンズ (追加: 夫婦演歌)	17:55~	6. 鳥城穰鼓遊会 太鼓演奏	18:40~	7. ご挨拶 (追加: 兄弟漫才)	19:05~	8. 岡山中央警察署 寸劇	19:15~	9. お楽しみゲーム	19:35~	10. 夏総踊り(穰鼓遊会 太鼓演奏)	20:00~	11. 閉会	20:30
1. 開会	17:00																								
2. 宇野小学校吹奏学部 演奏	17:00~																								
3. 宇野幼稚園・宇野保育園・浜保育園 歌・踊り	17:20~																								
4. 岡山県立岡山盲学校 バンド演奏	17:35~																								
5. 西山諒一郎とマウナハワイアンズ (追加: 夫婦演歌)	17:55~																								
6. 鳥城穰鼓遊会 太鼓演奏	18:40~																								
7. ご挨拶 (追加: 兄弟漫才)	19:05~																								
8. 岡山中央警察署 寸劇	19:15~																								
9. お楽しみゲーム	19:35~																								
10. 夏総踊り(穰鼓遊会 太鼓演奏)	20:00~																								
11. 閉会	20:30																								
運営スタッフ人数	38人(別途ボランティア 60名)	来場者数	2,927人(16~20時実測)																						
出演者人数	138人	天候	晴れ																						

②事業の成果(目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果をあたえたか)

- ・昨年台風による体育館への移動の経験を活かし、ステージ・夜店の配置を見直し、大幅に変更した結果、全体のバランスが良くなった。
- ・企画・開催を通して、各種団体・ボランティアとの絆の強さを感じた。
- ・夜店に、知的障害者通所授産施設「あおば」・就労継続支援A型事業所「ひとひら」支援を必要とする親と子の会「たんぼぼの会」が参加してくれ、又、岡山県立岡山盲学校が出演者として参加があり、障害者とのふれ合いの場となった。
- ・入場者数のカウントに追加して、退場者数のカウントをすることにより、滞留者数を把握できた。
- ・参加人数は、16時から20時までの計測で、2,927人となり、昨年より169人増え、若者が多く、フェスタ開催の期待が大きい。
- ・16時以前から準備をしているスタッフ・夜店担当者・小学校吹奏楽部等を含むと、3,315人と思われる。
- ・より多くの参加者があり、地域の連帯感を醸成することについては、成果があったと思われる。
- ・イベントの始めに、小学校吹奏学部演奏・幼稚園歌踊りを配置したので、保護者や祖父母が早くから大勢(16時～17時までに841人、昨年より245名増)来場され、三世代交流に寄与した。
- ・中学生ボランティアによりゴミ分別指導に努め、環境美化活動に繋がった。
- ・片付けは、来場者も大勢手伝ってくれ、協力して会場を清掃したことは、地域の連帯感醸成に繋がった。
- ・全体的には、ふれ合いのある住みよい明るい地域社会を築くことに大いに貢献できた。

来場者数の時間的経過

三世代交流ふれ合いフェスタの2019



	正門	西門	北門	西北門	入場者累計	退場者累計	滞留者数
16時～17時	137	450	176	78	841	76	765
17時～18時	181	526	222	59	1,829	377	1,452
18時～19時	186	363	103	40	2,521	1,019	1,502
19時～20時	90	188	115	13	2,927	2,006	921
合計	594	1,527	616	190	2,927		

③事業における地域性・特色

- ・コミュニケーションの場を多くの人に提供するため、従来より16回続いていたうの盆踊り大会を、「三世代交流ふれ合いフェスタうの」と名称・内容を変え、28年度は小学校耐震工事と重なりやむなく中止したが、今年、4回目となる。
- ・近郊農業地域から市街化地域と発展し、高齢者と新世代の世帯が増加して、コミュニケーションの場が必要であり、より多くの人が集まり楽しめるよう、学区全体の組織が協働して実施している。
- ・保育園から大学まである文教地区の特色を活かし、出演者・ボランティアで参加して貰っている。
- ・プログラム最初に、宇野小学校吹奏楽演奏・宇野幼稚園(今年から、宇野保育園・浜保育園が協同参加)歌・踊りを配置し、保護者・祖父母が、開会前から大勢来られ三世代交流となった。
- ・昨年の西日本豪雨写真(A3版カラー宇野学区状況写真60枚)を掲示し、旭川・百間川に囲まれた宇野学区内水問題の防災意識向上に努めた。
- ・県立岡山操山中学校・市立操山中学校のボランティアが大いに活躍してくれた。
- ・障害者(岡山県立岡山盲学校の参加あり)を含め三世代がふれ合える場を提供でき、ふれ合いのある住みよい明るい地域社会を築くための一助になった。

④企画・運営の工夫(前年度からの改善点等)

- (1) 夜店・ステージ位置変更
 - ・昨年の台風12号接近による(ステージは体育館2階へ、夜店は体育館下ピロティへ)場所変更の経験を活かし、夜店9店舗を体育館下ピロティへ配置し、7店舗をグラウンドに配置した。狭いグラウンドが広く使え、机20台・椅子50脚増やし、纏まりのあるフェスタができた。
- (2) 学区内最良のふれ合いの場となるよう努力した。
 - ・小さな子どもから高齢者の方までが楽しめるプログラムとした。
 - ・高齢者・障害者席の位置を変更し、ステージ進行がスムーズにできた。
 - ・夜店には、知的障害者通所授産施設「あおば」・就労継続支援A型事業所「ひとひら」・支援を必要とする親子の会「たんぽぽの会」に参加をお願いし、加えて、学区内にある岡山県立岡山盲学校が出演してくれ、障害者の方々とのふれ合いの場となった。
 - ・幼稚園(保育園を含む)・小学校のステージ出演は、地域交流に大いに貢献した。
 - ・学区内にある岡山中央警察署からは、生活安全課・交通課に参加を依頼し、子どもの安全・交通について、寸劇他をしていただいた。
 - ・防災意識を高めるため、昨年7月7日西日本豪雨の写真を掲示した。
- (2) 連合町内会を始め各種団体の協働を図ることができた。特に、出演者の掘り起こしや協賛金集めでは、ノウハウを持った実行委員が活躍した。
- (3) 中学生ボランティアには放送係・来場者退場者数カウント・チラシ配り・ゴミ分別指導を頼み、裏方として大いに活躍してくれた。
- (4) 環境美化では、大型の段ボール箱から、大型プラ缶に変え、来年以降も使えるようにした。
- (5) 電源を発電機に変え、経費節減を図った。
- (6) 出入口・駐輪場に実行委員の誘導員を交替で配置し、交通安全・駐輪場整理に努め、特に終了時、来場者が出口に殺到するため、実行委員全員を出口へ配置し交通誘導に努めた。
- (7) 効果検証をするため、各入口で、カウンターにより来場者・退場者数を把握した。
- (8) 実行委員だけでなく、ボランティア用ベストを購入し、ボランティアが分かりやすくした。

⑤事業の公共・公益性

「三世代交流ふれ合いフェスタうの」は、宇野学区各種団体(43団体)が協働して、全てが手作りで行っている。ふれ合いのある住みよい明るい地域社会を作ることを目的として、幼児から高齢者までが楽しめる企画を心がけており、岡山市が進める「協働のまちづくり」に大いに貢献している。

⑥事業の情報公開

- (1)チラシ(A4カラー)回覧用配布 6月21日
- | | | |
|------------|------|-------|
| ・各町内会 | 20町内 | 600枚 |
| ・各種団体 | | 100枚 |
| ・小・幼・保育園 | | 1200枚 |
| ・コミュニティハウス | | 100枚 |
- (2)ポスター(A3カラーラミネート加工)配布 7月9日
- | | | |
|--------------------------------|-------|------|
| ・各町内会 | 20町内会 | 100枚 |
| ・コミュニティハウス・郵便局・銀行・商店・スーパー・事業所等 | | 100枚 |
- (3)実行委員会開催(5/30、6/27、7/25) 反省会開催(8/29)
- (4)出店者打合せ(6/14、7/19)

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- ① チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報誌に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
⑤ その他(A3掲示物は、各町内会へ必要部数をラミネート加工し配布した。)

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

(1)経費の削減

- ・電源を発電機に変更する。
 - ・テントの借用・運搬・設営については、地域各種団体で行っている。(今回借用は、1町内会のみ)
 - ・資材・機材についても地域団体から借用を心がけている。
 - ・各種配布物は、連合町内会・コミュニティ協議会等の会議開催時に合わせるよう努力している。
- (2)自主財源の確保
- ①各町内会からの助成金、②企業からの協賛金・協賛品

⑧今後の課題(次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

(1)改善点

- ・夜店は、小学校グラウンドから、9店舗体育館下ピロティへ移し、町内会借用テント数も激減し組立解体数も大幅に減少できた。今後も同様にしていきたい。
 - ・電源を発電機に変更し、経費節減できた。
 - ・小・幼・保の演舞・演奏は、非常に多くの保護者・祖父母の参加があるが、終了すると大幅に減少する。
 - ・本部席大型の放送設備を連合町内会が所有しているが、スピーカーの音が聞こえない所があることが分かった。放送手段の検討が必要である。
 - ・夜店位置変更に伴い、ステージを南へ移動させたのはバランスが良かった。
 - ・来場者数・退場者数をカウンターを使い数えた。滞留者数は、1500人程おり、対応として机20台椅子50脚をリースして増やしたことは良かったが、経費が増えた。
- (2)実行委員の高齢化対策
- ・中学校生ボランティアが大勢来てくれた。将来大人になり、実行委員になってくれれば良い。
- (3)将来像
- ・来場者数に実行委員・夜店担当者・出演者を加えると、約3300人越えになった。片付は当日終了後に行ったが、来場者も手伝ってくれた。来場者と一体となったフェスタにしたい。

④感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

(1) 感想、自己評価、PR

- ・昨年台風12号対策で、グラウンドから体育館へ場所変更した経験を活かし、テント数を9張り減らすことができた。
- ・電源を発電機に変え、経費節減を図った。
- ・「ふれ合いのある住みよい明るい地域社会づくり」を目的に、その一つ的手段として「三世代交流ふれ合いフェスタうの」を実施しているので、プログラム進行の多少のミスがあっても、来場者の笑顔を見ると、成功裏に終わったと思う。

(2) 審査会の助言及び意見を踏まえた改善点

- ・ボランティア専用のベストを購入し、ボランティアが参加者に分かりやすくした。
- ・来場者の評価指標として、3年連続来場者数・退場者数をカウンターで実測した。継続して行う予定。
(16時～20時実績 2,927人 昨年 2,758人 169人増)
- ・高齢者障害者優先席の配置換えをし、ステージが見やすく、進行がスムーズに行えた。
- ・夜店に障害者施設3団体が出店してくれている。
- ・岡山県立岡山盲学校バンドクラブが初出演してくれた。
- ・文教地区として、学生ボランティアを募集し、今回は操山中学の放送部にもアナウンスをお願いし、好評であった。その他、入場者・来場者のカウント、チラシ配り、ゴミ分別をした賞った。
- ・行政の中心地区として、中央警察署にはステージ出演をして戴いた。中消防署には、火気使用の指導をお願いしていたが、急速火災発生で不参加となったが、来年も同様なお願いをしたい。
- ・防災については、昨年7月7日西日本豪雨の写真60枚を掲示し、啓蒙を図った。
- ・通信運搬費は、連合町内会・コミュニティ協議会で配布することを心がけ、自転車等で、分担して配り、ゼロを続けている。
- ・アンケートについては、パワー不足でできていない。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- ・参加者への配慮ができていて素晴らしい。
- ・ピロティを使用しての開催やボランティア用ベストなど工夫がみられより交流が深まると思われます。
- ・来場者数の統計をとっていることは評価できます。来年度以降にいかしてほしいと思います。
- ・障がい者交流の場を設けている点に創造性、地域性があり、理想的な事業であると感じます。
- ・自転車利用で通信運搬費をゼロにしているのは評価できます。

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- II おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

右記の I から V の該当部分○を付けて下さい。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。

(理由:)

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
平成31年5月1日(水)	ふれ合いフェスタの2018開催案内配布
平成31年5月14日(火)	5月度連合町内会役員会 12名参加
平成31年5月30日(木)	第1回実行委員会開催 27名参加
平成31年6月6日(木)	出店者に予定表配布
平成31年6月14日(金)	第1回出店者会議開催 25名参加
平成31年6月22日(土)	配布物仕分け・回覧板用パンフレットラミネート加工配布 6名参加
平成31年6月27日(木)	第2回実行委員会開催 25人参加
平成31年7月4日(木)	県立操山中学校ボランティア打合せ 19名参加
平成31年7月8日(月)	中央警察署・中消防署打合せ
平成31年7月12日(金)	市立操山中学校ボランティア打合せ 10名参加
平成31年7月18日(木)	宇野小吹奏楽部・宇野幼稚園・宇野保育園・浜保育園打合せ
平成31年7月19日(金)	第2回出店者打合せ 24名参加
平成31年7月25日(木)	最終打合せ 28名参加
平成31年7月26日(金)	事前準備 駐輪・駐車ライン引き、机・椅子運搬 10名参加
平成31年7月27日(土)	三世代ふれ合いフェスタの2019準備・実施・終了時片付実施。
平成31年7月28日(日)	机・椅子片付・返納 50名参加
平成31年7月29日(月)	ゴミ収集・処分
平成31年8月13日(火)	8月度連合町内会役員会 5名参加参加
平成31年8月29日(木)	会計監査・反省会 30名参加

⑩事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
宇野学区連合町内会(各町内会含む)	52
宇野学区コミュニティ協議会	10
宇野地区社会福祉協議会	10
宇野学区交通安全対策協議会	1
宇野学区防犯安全パトロール隊	5
宇野学区婦人会	5
宇野学区交通安全母の会	15
宇野学区愛育委員会	12
宇野学区環境衛生協議会	1
宇野地区民生委員児童委員協議会	20
宇野学区子ども会育成連絡協議会	15
宇野学区体育協会	5
岡山市消防団宇野分団	6
宇野学区老人クラブ連合会	5
宇野小学校PTA	15
岡山市立宇野小学校	11
岡山市立宇野幼稚園	5
岡山市立宇野保育園	5
岡山市立浜保育園	5
岡山県立岡山操山中学校	4
岡山市立操山中学校	10
宇野体協婦人バレー	2
うのっこ食堂	5
宇野ファイターズ	4
宇野FC	8
西竹田町内会	10
知的障害者通所授産施設みどりワークセンター(あおば)	6
学童保育うのクラブ保護者会	38
たんぽぽの会	4
就労継続支援A型事業所ひとひら	5
学童保育うのクラブ	9
宇野軟式野球	15
岡山県立岡山操山中学校ボランティア	19
岡山市立操山中学校ボランティア	5
計	34 団体 332

⑫事業実施メンバー

NO	役職名	町内会及び各種団体	代表者(会長)名	年齢 (歳代)	住所
1	監査	1浜元町 町内会			
2	実行委員長	2浜本町 町内会			
3	会計	3浜二丁目 町内会			
4	実行委員	4浜操山町 町内会			
5	実行委員	5浜みどり町 町内会			
6	会長	6原尾島原 町内会			
7	実行委員	7原尾島尾島 町内会			
8	実行委員	8原尾島倉瀬 町内会			
9	事務局	9原尾島操山 町内会			
10	実行委員	10御園町 町内会			
11	実行委員	11緋東町 町内会			
12	実行委員	12西川原本町 町内会			
13	実行委員	13西川原西町 町内会			
14	事務局	14西川原仲町 町内会			
15	監査	15東川原 町内会			
16	実行副委員長	16竹田 町内会			
17	実行委員	17西竹田 町内会			
18	実行委員	18竹田新町 町内会			
19	実行委員	19竹田上 町内会			
20	実行委員	20グラン・コート楡 町内会			
21	(実行委員長)	21宇野学区連合町内会			
22	(会長)	22宇野学区コミュニティ協議会			
23	(実行副委員長)	23宇野地区社会福祉協議会			
24	(監査)	24宇野学区交通安全対策協議会			
25	実行委員	25宇野学区防犯安全パトロール隊			
26	実行委員	26宇野学区婦人会			
27	実行委員	27宇野学区交通安全母の会			
28	実行委員	28宇野学区愛育委員会			
29	実行委員	29宇野学区環境衛生協議会			
30	(実行副委員長)	30宇野地区民生委員児童委員協議会			
31	実行委員	31宇野学区子ども会育成連絡協議会			
32	実行副委員長	32宇野学区体育協会			
33	実行委員	33岡山市消防団宇野分団			
34	実行委員	34宇野学区老人クラブ連合会			
35	実行副委員長	35岡山市立宇野小学校PTA			
36	顧問	36岡山市立宇野小学校			
37	実行委員	37受付管理者(うのクラブ)			
38	顧問	38宇野学区コミュニティ協議会			
39	顧問	39岡山市立操山中学校			
40	顧問	40岡山市立宇野幼稚園			
41	顧問	41岡山市宇野保育園			
42	顧問	42岡山市浜保育園			
43	顧問	43岡山県立操山中学校			
44	実行委員	44岡山市立操山公民館			

⑬ 収支報告書

◆ 収入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	400,000	400,000	区づくり推進事業補助金
協賛金	350,000	352,000	企業協賛金
負担金	11,000	11,000	夜店 11@1,000円
広告料	0	0	
寄付、他収入	257,730	278,735	町内会協賛金 160,000円 コミュニティ協議会 118,735円
貯金利息	0	0	
計	1,018,730	1,041,735	

◆ 支出

単位:円

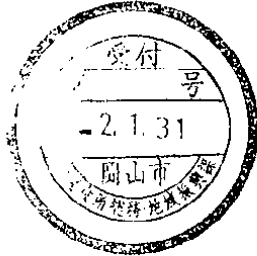
項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載して下さい)
消耗品費	100,000	130,293	ラインパウダー、養生シート、ガス代、スイカ 代他、ボランティアベスト 20着
食糧費	35,000	46,384	当日飲料代、 おにぎり代
印刷製本費	55,000	52,318	カラーチラシ代 カラー掲示板用、会議資料印刷代
通信運搬費	0	0	
手数料	2,000	1,080	振り込み手数料
使用料	195,000	244,288	照明機器・音響機器 コミュニティハウス使用料等
原材料費	0	0	
委託料	305,000	338,904	ステージ設置、ゴミ収集・運搬・処理費
工事請負費	200,000	132,408	夜間照明等電気工事
報償費	70,000	61,060	出演者謝礼等
燃料費	11,000	0	軽自動車燃料代
保険料	45,730	35,000	傷害保険費用
計	1,018,730	1,041,735	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和2年 1月 28日

岡山市長 大森 雅夫 様



フリガナ 団体名 フリガナ ナツ タツノクチジッコウイインカイ ふれあい夏まつり in 竜之口実行委員会

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 フリガナ ジッコウイインチョウ モリタニ トシアキ 実行委員長 守谷 俊昭

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	ふれあい夏まつり in 竜之口		
事業実施区域(小学校区)	竜之口学区		
① 業実施内容	<p>○開催日時: 令和元年 8 月 17 日(土曜日) 16 時 30 分 ~ 21 時 00 分</p> <p>○開催場所: 竜之口小学校運動場</p> <p>○事業実施内容 各種団体による出店 28 店(竜之口グルメの食べ歩き、楽しいゲーム) 当日のプログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岡山県立東岡山工業高等学校 吹奏楽部による夏バージョンの夕べのひと時 2. 岡山学芸館高等学校 和太鼓部による競演 3. 開会式 4. 竜之口クラブ児童による大合唱 5. 高島第一保育園によるマリンバ演奏 6. 地域女性音楽集団「すまいる」による演奏と歌 7. 総踊り 8. 大抽選会 9. 閉会式及び片付け <p>当日の準備(テントの設営・やぐら・ステージの飾りつけ及び提灯の取付け敷線等)又、プログラムも計画通り進み大変多くのお客様でにぎわい、事故もなく無事終わり、この事業も岡山市・協賛各社・実行委員会・学区諸団体ボランティア・お客様の理解と協力のお陰と感謝しています。</p> <p>小学校清掃 令和元年 8 月 18 日(日) 7 時 30~10 時 00 分 学区民 250 名以上参加</p>		
運営スタッフ人数	290 人	来場者数	約 3,000 人以上
出演者人数	230 人	天候	晴

② 事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

第10回の区切りの開催でした、記念となる企画などを若い委員の意見を集約し、ステージの飾り、新たな出演者、抽選会は防災グッズ等で夏まつりは会場は大勢の参加者が集まり大成功したと思います。
会場の設営は各町内会・各種団体の関係者が早朝からヤグラの飾りつけ、提灯の取り付け、テントの設置等を学区民が一体となって取り組み事故もなく計画通り準備が進みました。
開会は東岡山工業高校吹奏楽部による夏バージョンの夕べのひと時、学芸館高校和太鼓部による若さ溢れる太鼓のリズムでお客様と一体となり会場は老若男女多数の人々の歓喜と笑顔、竜之ログルメを提供す各種団体 28 店の夜店、調理する人、売り子のボランティア、スタッフとお客様とが一体となり祭りを楽しみ絆を深めることができました、事故もなく無事終わりました。
翌日は小学校の清掃作業です、早朝より参加者 280 名を超える地域の人達が小学校子どもたちのために「安全・安心・きれい」を旨に体育館の清掃・校庭の草取り作業に取り組み大変きれいになり、2学期を爽やかに迎えることができました。
学区の会議などで先輩から「継続は力なり」をよく聞きました。まつりを通して、「人と人、人と地域、地域と地域」の絆が更に深まる事を信じまつりを継続します。

③ 事業における地域性・特色

田舎の自然と歴史が残る「急速に発展した地域」と「昔ながらの地区」が混在し、近郊には支援学校、総合福祉施設、工業高等学校が在り、学区との交流が盛んに行われている。多くの人たちが「夏まつり」開催の会場は社交場となり、日頃は交流を図りづらい人びとが、「夏まつり」という同じ空間を楽しんでいます。地域にはぶどう畑がありピオーネ、雄町米を素材に使った「酒まんじゅう」を製造販売、まつりは地域住民や事業者をはじめとする多くの団体からの協賛金と積極的な出店者の理解と来場者皆様で運営されています。

④ 企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

- 1.10周年を記念として竜之内幼稚園の参加を呼びかけたところ、たつのくちっこキャラクター「たつにい・つーすけ・のんちゃん・くにちゃん・ちーぼー」の5つの絵を拡大し幼稚園児が着色、PTAが切り抜きしたものをステージへ飾り、まつりの演出に力を頂きました。
- 2.近隣の高島第一保育園のマリンバ演奏は、10周年記念にふさわしい曲で会場を盛り上げ、すばらしい演奏でした。
- 3.スタッフの夜食は例年手作りおにぎりでしたが保健所から食中道の危険が有る旨の指導があり、コンビニのおにぎりに変更、経費が高くつくことから、今後様々な方面の協力を得たい。
- 4.事前に照明用ケーブルを制作、まつり当日に各テントに敷設できる様に準備を行いました。経験が無い設営担当で敷設、発電機の接続に一部誤接続が有りましたが短時間での作業で終わりました。

⑤ 事業の公共・公益性

- 1.近郊の障害者施設で制作した製品の販売を行う。お客様にポスター、チラシ等でPRし理解を頂今後も支援活動を推進していきます。
- 2.災害地の特産品の販売と募金活動を行いました。
- 3.各町内会、学区諸団体、小学校 PTA、児童クラブ、郵便局、障害者施設等が出店の参加が有ります。
- 4.夜店は低価格で販売。
- 5.夏まつりの翌日に小学校清掃活動を行いました。

⑥ 事業の情報公開

1. 事業内容は電子町内会ホームページで活動状況等を公開しています。
2. ポスターを作成し各町内会の主要な場所、区役所、公民館、郵便局等の公共施設、スーパー、商店へ掲示を依頼しました。
3. 夜店の品目、会場の見取り図の“チラシ”を作成し学区全戸へ配布しました。
4. 地域の公園、小学校、幹線道路周辺へ“竜之口オリジナルのぼり”を設置しました。
5. 8月発行の新聞“たつのくち”は夏まつり一色、事業内容及び各出店者のPR等を掲載し学区全戸へ配布しました。
6. 竜之口電子町内 1,000 名余りへ“夏まつり開催”の一斉メール発信を行いました。
7. 事業の進捗状況は実行委員会を通して各町内会へ情報を伝達しました。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- ① チラシを作成配布、 ② HPに掲載、 Ⅲ 市の広報紙に掲載、 Ⅳ TV、ラジオで公開、
⑤ その他(ポスターを製作し公共施設、スーパー等へ掲示をお願いした。)

⑦ 経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

1. 会議用の資料は高島公民館で印刷を行った。
2. テント・机・椅子等は各町内会、コミュニティハウスを使用している。
3. 焼き物、かき氷等の調理用具は旭川荘や近郊の子供会等、様々な所から借りている。
4. 提灯の敷設、電気配線については町内会有志、中学校ボランティア等が設置しました。
5. 環境衛生協議会が出店者と参加者へゴミの分別を徹底、昨年度より大幅に改善しました。
6. 運営費は協賛事業者に広くお願いをしました。
7. 手作りうちわの購入先を変更、約 30,000 円の減額
8. 請負費のステージ費を交渉、約 50,000 円の減額
9. ポスター、チラシの印刷先を変更約 20,000 円減額

⑧ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

目標にしていた区切りの 10 回の開催は大成功に終わりました、11 回の開催は初心に帰り『目的』を重視、新たな事業実施メンバー全員へ取り組みを徹底します。毎年参加者が増え課題の夜店のお客様対応の販売数量を解決するため更に新規の出店者の参加を呼びかけを行います。竜之口学区の将来像「安心安全でより住みやすいまちづくり」を学区連合町内会が頭に各種団体がそれぞれが連携、協働することにより相乗効果のあるまちづくりを行います。また、自主的な活動を展開することにより、生きがいの創出や地域への愛着や誇りが深まり、住んでよかった、これからも住みつづけたいと思える活力あふれる地域の創造につなげたいと思います。

「ふれあい夏まつり in 竜之口」を『地域力』で開催するに当たり、若いスタッフと新たな人材を抽出し、失敗を恐れず新企画等に挑戦します。夏まつりを通して地域の抱える諸課題解決と更に住みよい竜之口学区の実現に向けて取り組みます。

第 10 回の開催は新たな幼稚園、保育園の参加がありました、今後も様々な方面へ参加を呼びかけを行い地域の風物詩にしたいと思います。

⑨ 感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

1. 第10回の区切りの開催でした、記念になる企画を若い委員の意見を集約し、夏まつりは大勢の参加で大成功したと思います。まだまだ反省する件は有ります、若い委員の様々な意見を取り入れる等、初心に帰り新たな夏まつりの開催をと意気込んでいます。
2. 10周年を記念として竜之内幼稚園へ参加を呼びかけしたところ、たつのくちっこキャラクター「たつにい・つーすけ・のんちゃん・くにちゃん・ちーぼー」の5つの絵を拡大し幼稚園児が着色、PTAが切り抜きしたものをステージへ飾り、まつりの演出に力を頂きました。
3. 近隣の高島第一保育園のマリンバ演奏は、10周年記念にふさわしい曲で会場を盛り上げ、すばらしい演奏でした。
4. 毎年竜操中学校ボランティアが多数の応募があります、設営、夜店の販売、スタンプラリー係り等で大変暑い中の活躍大変感謝しています、学区外の中学生在半分を占め、祭りの目的を通して自主的に活動され地域の皆様と笑顔で接し交流も図られ絆が強く感じられたと思っています。
5. 1年前に予約していた姫りんごが長野県の水害で入手に不安が有りましたが、果樹園のご好意により無事に入荷し、りんご飴は早々に完売、人と人の繋がりに感銘を受けています。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

1. 周辺施設の参画や学校関係者、中学生ボランティアなどの意見の取り入れや、食文化の創造(酒まんじゅう)など先駆的です。
2. 酒まんじゅう、りんご飴などのグルメと四御神音頭が祭りの目玉として定着し、地域のきずなが深まることを期待します。
3. 地域の個性や魅力を土地だけでなく食の面からも発信されていてよいと思います。
4. 長野の果樹園の話は感動的で、販売時にアピールすると心に響くすてきなりんご飴になると思います。
5. 盆踊りに時間を割いていることはよいことで、順調に発展していると思います。ぜひ続けていただきたいです。
6. 10周年の企画(保育園参加など)に期待します。

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- ⑩ おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

右記の I ～ V の該当部分○を付けて下さい。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

⑩ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

月 日	項 目	詳 細
5月11日	第1回実行委員会	<p>コミュニティハウス 実行委員会委員 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度岡山市区づくり推進事業助成申込み及び事業決定について 令和元年度区づくり推進事業申請審査結果報告 2. 令和元年度ふれあい夏まつり in 竜之口開催に向けて <ol style="list-style-type: none"> 1) ふれあい夏まつり in 竜之口開催に向けて概要説明 2) 夏まつり開催日 8月17日(土) 16時30分 小学校清掃日 8月18日(日) 7時30分 3) 事業運営への参加団体及び事業実施メンバー構成 4) 実行委員の役職(役割分担)の確認 5) 実行委員会スケジュール 6) 予算書 7) 保険加入について 8) 第2回実行委員会開催議事について
5月13日	出店者募集	<p>出店者へ募集の案内及び資料送付 担当者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ふれあい夏まつり in 竜之口開催について 2. ふれあい夏まつり in 竜之口に出店者募集要領 3. 出店に伴う注意事項 4. 出店計画書 5. 出店の概要 6. 従事者名簿 7. スケジュール表
5月18日	企画会議	<p>コミュニティハウス 実行委員会担当者 第9回開催の反省点検討、プログラム(案)について</p>
6月1日	出店者募集締め切り	出店計画書受領 担当
6月5日	出店者審査会	<p>コミュニティハウス 実行委員会担当者 各出店者の出店計画書の確認</p>
6月8日	第2回実行委員会	<p>コミュニティハウス 実行委員会委員 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年度区づくり推進事業報告書審査後の事業評価報告 2. 企画会議の報告 3. 会場設営及び出店者関係(案) <ol style="list-style-type: none"> 1) 出店者一覧表 2) 出店場所配置図(案) 4. 小学校清掃関係 <ol style="list-style-type: none"> 1) 小学校清掃活動の案内(案) 2) 小学校清掃の参加団体(案)

⑩ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

月 日	項 目	詳 細
6月11日	ポスター募集 手作りうちわ製作	小学校 PTA,・中学校 PTA 担当者 ポスター作成について依頼書による 担当者 手作りうちわ製作について依頼書による
6月13日	寄付金集め	担当者 協賛事業者へお願い
6月14日	竜操中学校ボランティア募集	中学校 PTA 担当者
6月15日	出店者説明会	コミュニティハウス 出店者代表・担当者 議題 1. 令和元年度岡山市区づくり推進事業助成申込みについて 2. 令和元年度に実施した岡山市区づくり推進事業の事業評価報告 3. 令和元年度ふれあい夏まつり in 竜之口開催に向けて説明 4. 出店者関係 1) 出店者一覧表 2) 出店者の注意事項 5. スタンプラリーの説明 6. 雨天時開催の場合の説明 7. 保険関係
6月28日	ポスター受け取り	小学校 PTA,担当者 中学校 PTA 担当者
6月29日	第3回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議題 1. 第10回ふれあい夏まつり in 竜之口プログラム関係修正(案) 2. 小学校・竜操中学校のポスター原稿状況について 3. 小学校へ“手作りうちわ”の製作について 4. チラシ制作について 5. 各町内会へ会場設営応援要請 6. 小学校清掃案内書 7. 出店者販売一覧表 8. ふれあい夏まつり in 竜之口実施要領 細目(注意事項、その他) 8. 雨天時の夜店配置について
7月12日	ポスター完成	ポスター受取り 担当者 各町内会へ配布 公共施設・スーパー等へ配布、掲示を依頼する

⑩ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

月 日	項 目	詳 細
7月13日	第2回出店者会議	コミュニティハウス 出店者代表・担当者 1.岡山市消防局より(催物(花火大会・祭り等)における屋台等出店時の注意事項について 2.各町内会のテント設営配置図 3.注意事項 4.竜操中学校生徒(32名)が応募したボランティア活動の内訳 5.ボランティア活動の予定 6.出店者人数・販売数量確認・販売金額確認
7月22日	小学校周辺へのぼり設置	竜之口小学校 竜操中学校 PTA 担当者 竜操中学校ボランティア8名が小学校周辺へのぼり25本を設置
7月23日	企画会議	コミュニティハウス 担当者 スタンプラリー・大抽選会の内容検討
7月26日	連合町内会月例幹事会	コミュニティハウス 各町内会長 各町内会へチラシ、“たつのくち新聞”を配布
7月30日	竜操中学校ボランティア説明会	コミュニティハウス 竜操中学校 PTA 担当者 1.活動内容の説明 2.ふれあい夏まつり in 竜之口当日の注意事項 3.夜店配置の割付け
8月3日	第4回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議題 1.連合町内会7月定例会議報告事項 (1)竜操中学校ボランティア参加者について 夜店関係ボランティア配置表 (2)小学校運動場使用について 2.設営及び準備予定について 3.小学校清掃について 4.緊急時対応の携帯電話登録について
8月10日	第3回出店者会議	コミュニティハウス 出店者代表・担当者 夏まつり当日の時系列を説明 1.やぐらへ提灯の取り付け・本部テント設営 2.各町内会のテント設営 3.テント設営後全体の設営 4.出店準備 5.夜食 6.開店準備 7.開店 8.閉店 9.片付け

⑩ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

月 日	項 目	詳 細
8月15日	やぐら・ステージ位置を設定 ステージ用看板飾り	竜之口小学校運動場 担当者 月本建設 コミュニティハウス 担当者・竜操中学校 PTA
8月16日	前日準備	竜之口小学校運動場 サッカー部役員・担当者 1.各テント位置の区割り 2.月本建設 やぐら・ステージ・ポスター展示版の設営
8月17日	祭り当日	竜之口小学校運動場 各町内会役員・実行委員・学区民 竜操中学校ボランティア他 1.会場設営(準備) 1)コミュニティハウス・小学校体育館・倉庫から機材運搬 2)やぐらへ提灯の取り付け・本部テント設営 3)各テントの設営、提灯の敷設 4)各テントへ机・椅子を配布 5)放送設備の確認 6)ステージの飾り・ポスター掲示 2.開場(祭り開催) 1)出店準備 2)スタッフへ夜食 3)開店準備 竜操中学校ボランティア夜店配置 4)夜店の開店 5)夜店の閉店 6)片付け プログラムのタイムスケジュールで進行,多数の来賓者、参加者約3,000人が祭りを楽しみ無事終了しました
8月18日	小学校清掃	竜之口小学校運動場・校舎・体育館他 小学校先生 学区民他 1.環境衛生協議会は7時からゴミ拾い他 2.7時30分から学区民総勢250名以上参加し無事終了しました
8月31日	反省会	コミュニティハウス 実行委員会委員 出店者代表他 反省点、改善点の意見があった 1.100円売りの夜店が多くつり銭に100円玉を増やしてほしい、50円玉の不要の夜店がある、但し150円売りは準備する。 2.本部の荷物置き場がない。 3.ボランティアの引き継ぎがスムーズに出来る様に。 4.食べる場所、席が少ない。 本部後方へ席を設けていたが周知徹底出来ていなかった。

⑩ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

月 日	項 目	詳 細
8月31日	反省会	5. 自転車置き場が混雑している。 6. 7.
12月14日	総会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議事 1. 令和元年度事業報告 2. 令和元年度決算報告・監査報告 3. 令和2年度事業計画案 4. 令和2年度予算案 5. 令和2年度岡山市区づくり推進事業助成申込書 6. 質疑応答 7. その他

今後の予定

1. 令和元年度岡山市区づくり推進事業報告書提出
2. 令和2年度岡山市区づくり推進事業助成申込書提出
3. 令和2年度岡山市区づくり推進事業審査会ヒアリング 2月末

⑪ 事業への参加状況(1/2)

事業運営への参加団体等	参加人数
1. 竜之口学区連合町内会（会長）	12
2. 竜之口学区コミュニティ協議会（本部・写真班）	3
3. 竜之口地区社会福祉協議会（会計・本部・踊り指導）	3
4. 竜之口学区防犯防火防災協議会（各町内会）	12
5. 竜之口学区交通安全母の会（各町内会）	12
6. 竜之口学区交通安全対策協議会（各町内会）	12
7. 竜之口学区環境衛生協議会（各町内会）	12
8. 竜之口学区老人クラブ連合会（総務）	3
9. 竜之口学区愛育委員会（各町内会）	12
10. 竜之口学区婦人会（夜食の配食係・酒まんじゅう販売）	25
11. 竜之口学区体育協会（設営・ホルモン焼き・かき氷）	15
12. 竜之口学区民生委員児童委員協議会（本部・地域福祉の店）	12
13. 四御神郵便局（本部・輪投げ）	6
14. 竜操中学校PTA（企画・中学校ボランティア担当・設営）	6
15. 竜之口小学校PTA（企画・スタンプラリー・設営・小学校清掃）	30
16. 竜之口幼稚園（企画・設営）	3
17. 竜之口小学校（小学校清掃）	35
18. 岡山県立東岡山工業高等学校（吹奏楽演奏）出演	30
19. 竜之口クラブ（大合唱）出演	125
20. 岡山市消防財田分団	6
21. 竜操地域学校応援団	2
22. 竜之口学区栄養改善委員協議会（酒まんじゅう・串焼き）	16
23. たまごクラブ（企画）	2
24. 土田町内会（設営・やきとり・フランクフルト）	22
25. 前土田町内会（設営・焼きそば）及び出演	24
26. 東四御神町内会（設営・黒豆おこわ・赤飯）	14
27. 四御神町内会（設営・たこ焼き）	12
28. 東ヶ丘第一町内会（設営）	6
計	472人
	団体

① 事業への参加状況(2/2)

事業運営への参加団体等	参加人数
29. 竜操中学校ボランティア	32
30. 西四御神町内会(設営・金魚すくい)	16
31. 中四御神町内会(設営・おもちゃ)	25
32. 東ヶ丘第三町内会(総務)	1
33. 南四御神町内会(設営・お好み焼き・綿菓子・ポップコーン・りんご飴)	36
34. 芙蓉町内会(設営・ヨーヨー祭り)	10
35. 横縄手町内会(設営・ヨーヨー祭り)	18
36. 東雄町町内会(設営・ヨーヨー祭り)	22
37. 岡山市社会福祉協議会(福祉コーナー)	2
38. 幡多障害者支援センター(ふくじゅ)	6
39. 旭川荘(手作りの手芸品)	6
40. 岡山学芸館高等学校(和太鼓の競演)出演	40
41. 地域女性音楽集団「すまいる」	5
42. 高島第一保育園	30
43. 小学校清掃(各町内会・各種団体)	280
44.	
45.	
46.	
47.	
48.	
49.	
50.	
51.	
52.	
53.	
54.	
55.	
56.	
計	43団体 1001人

⑫ 事業実施メンバー (1/3)

	申込団体での役職、役割分担	氏名	住所	年齢	申込団体での役職
1	顧問 本部				学区コミュニティ協議会 顧問 学区老人クラブ連合会 会長
2	会長 本部・総務全般、広報 接客				竜之口学区連合町内会 会長 竜之口学区電子町内会 会長 東四御神町内会 会長
3	副会長 夜店責任者、接客				竜之口学区連合町内会 副会長 四御神町内会 会長
4	副会長 本部				竜之口学区連合町内会 副会長 西四御神町内会 会長
5	本部・総務				竜之口学区連合町内会 会計 東ヶ丘第三町内会 会長
6	事務局				竜之口学区連合町内会 事務局長 前土田町内会 会長
7	実行委員長 テント設営・電気設備 やぐら、ステージ担当 案内状の送付 来賓者関係 出店関係・出演依頼 小学校清掃委員長 その他の飾り付け全般				竜之口防犯防火防災協議会 会長 南四御神町内会 会長
8	本部・総務全般				上田町内会 会長
9	委員 近郊対策・出演者担当				竜之口学区体育協会 副会長 中四御神町内会 会長
10	委員 環境衛生全般 ごみの分別、処理				竜之口学区環境衛生協議会 会長 東雄町町内会 会長
11	委員 交通関係全般 ガードマン手配				学区交通安全対策協議会 会長 横縄手町内会 会長
12	委員 監事 防災コーナー担当				芙蓉町内会 会長
13	委員 会計監査				東ヶ丘第一町内会 会長
14	副実行委員長 本部・実行委員会会計				竜之口地区社会福祉協議会 会長
15	委員 本部 広報・接客				竜之口保育園 園長 地区民生委員児童委員協議会 会長 竜之口児童クラブ 代表

⑫ 事業実施メンバー (2/3)

	申込団体での役職	氏名	住所	年齢	申込団体での役職
16	委員 編集				竜之口学区電子町内会 委員
17	委員 踊り担当				竜之口学区愛育委員会 会長
18	委員 本部・接客 踊り担当				竜之口学区婦人会 会長
19	委員 衛生管理				学区栄養改善委員協議会 会長
20	委員 交通全般				竜之口学区交通安全母の会 会長
21	委員 小学校施設全般				竜之口小学校 校長
22	委員 小学校施設全般				竜之口小学校 教頭
23	委員 幼稚園施設全般				竜之口幼稚園 園長
24	委員 ポスター掲示 中学校ボランティア				竜操中学校PTA 竜之口地区 代表
25	委員 企画				竜之口小学校PTA 会長
26	委員 企画				竜之口小学校PTA 副会長
27	委員 企画				竜之口小学校PTA 副会長
28	委員 企画				竜之口小学校PTA 副会長
29	委員 企画				竜之口幼稚園PTA 会長
30	委員 木部・つり銭係				四御神郵便局 局長
31	委員 企画				竜之口クラブ夏まつり代表
32	委員 本部・総務				東四御神町内会 副会長
33	委員 本部・救護				土田町内会(ボランティア)
34	委員 会場設営				竜之口学区体育協会 事務局
35	委員 会場設営				竜之口学区体育協会 事務局
36	委員 本部・踊り担当				竜之口地区社会福祉協議会 副会長 横縄手町内会

⑫ 事業実施メンバー (3/3)

	申込団体での役職	氏名	住所	年齢	申込団体での役職
37	委員 本部				地区社会福祉協議会 老人会
38	委員 本部				地区民生委員児童委員協議会 副会長
39	委員 設営・審気担当				前土田腸内会 ボランティア
40	委員 設営・放送関係				南四御神町内会 ボランティア
41	委員 アナウンサー				南四御神町内会 ボランティア
42	委員 企画				たまごクラブ運営委員
43	委員 企画				土田腸内会 ボランティア
44					
45					

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	400,000	400,000	岡山市補助金
協賛金	295,000	300,000	業者協賛金
負担金	187,000	139,803	連合町内会負担金
広告料	120,000	120,000	各町内会負担金
寄付、他収入	35,000	30,000	当日寄付金
計	1,037,000	989,803	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	200,000	175,862	うちわ・コピー用紙・インク
②食糧費	150,000	178,329	会議お茶・スタッフ食事
③印刷製本費	220,000	194,273	新聞・ポスター・会議資料
④燃料費	7,000	6,797	ガソリン
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	10,000	10,480	はがき・切手
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	0	
⑨使用料	20,000	13,176	リース代・借用お礼
⑩原材料費	10,000	0	
⑪委託料	70,000	71,496	ガードマン・ゴミ処理
⑫工事請負費	300,000	300,000	仮設舞台・ヤグラ制作費
⑬報償費	35,000	25,000	出演謝礼
⑭保険料	15,000	14,390	傷害保険
計	1,037,000	989,803	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 元年 12 月 4 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ ヒライマツリシンゴウイシンカイ
団体名 平井まつり実行委員会

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 委員長 花岡 栄太郎

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	平井まつり“2019”		
事業実施区域(小学校区)	平井小学校区		
① 事業実施内容	○開催日時: 令和元年 10月 26日(土曜日) 9時40分～14時00分 ○開催場所: 岡山市立平井小学校 ○事業実施内容 校舎内 ・ 親子で楽しむ木工教室、平井小PTAの制服リサイクルバザー ・ 東山中学校ボランティア部生徒によるバナーアートの実演と配布 運動場 ・ 開会行事及び平井小学校スマイルバンド・東山中学校ブラスバンド演奏 平井幼稚園・平井保育園園児の演技、山陽学園学生によるうらじゃ踊り 起震車による地震体験・消防車両展示で防災、防火の啓発 警察車両展示・試乗と交通安全クイズで交通安全の啓発、 各種団体模擬店学区内企業模擬店、国土交通省啓発活動		
運営スタッフ人数	210 人	来場者数	約 3,000 人
出演者人数	170 人	天候	曇りのち晴れ

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

- *学区行事の一つとして定着し、子供から高齢者まで参加し世代交流の場となっている。
- *学区内の、生徒・児童・園児の演奏や演技を、多くの学区民に披露する場となっている。
- *学区内の学校園・各種団体と警察署・消防署・岡山河川事務所等の行政機関の参加をして頂き、行政との協働と地域の絆で安全・安心に対する関心が出てきている。
- *

② 事業における地域性・特色

今年度は、約 3,000 人以上の参加者があり、学区全体の行事として定着している。
また、この行事を通じて学区民のふれあいの場と防災・防犯・交通安全の情報を提供することにより、地域の活性化が、促進されると考えておりますとともに、各種団体の連携の強化と行政機関の参加より防犯、防災への関心や、各種行事に対する協働体制が図られると考えています。

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

- *新規の出店者の参加もあり、出店場所も見直し会場の雰囲気少し変わった。
- *山陽大学学生のうらじゃの最後には、たの出演者や参加者にも参加してもらい踊ってもらった。
- *進行係に、プロのMCと東山中学校の生徒会生徒で行い、行事進行の方法を生徒に指導してもらった。

⑤事業の公共・公益性

- *出店団体・出店企業は利益を目的にせず、他の出店者や来場者とのふれあいを通して、絆をふかめ、顔見知りになり、安全・安心して暮らせる地域となる行事として開催している。

⑥事業の情報公開

チラシA4 サイズ	学区内に回覧	450 枚
	小学校、幼稚園、保育園(園児・児童呼びかけ用)	1200 枚
ポスターA3 サイズ	町内会掲示板、郵便局、銀行、商店、スーパー、事業所等	100 枚
ホームページ	平井学区電子町内会(学区内外への情報発信)	

該当する全てのものに○を付けて下さい。
Ⅰ チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
Ⅴ その他()

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

・学区で定着した事業(行事)となっているので、連合町内会の予算を増額し、事業に必要な物品は、各種団体や学区内事業者から借用し経費の節減を行った。

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

・この事業により学区内団体や事業所との繋がりが進んで、多くの方の来場者がいるので、地域の絆づくりになっているので、継続事業としていく。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

・今回は参加の地域学校園の保護者には実行委員会にオブザーバーとし参加してもらい、事業に対しご意見を頂き参考にして開催して、次回からは実行委員を依頼しました。

・岡山河川事務所に、学区の地形の歴史からパネル展示等により防災対策の啓発をしました。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- ・実施メンバーの高齢化が気になります。
- ・地域性や歴史・文化を掘り起こし、啓発するような企画があると
もっと良いと思います

右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

Ⅰ できた

Ⅱ おおむねできた

Ⅲ 一部できなかった

Ⅳ まったくできなかった

Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年	月	日	内 容
令和	1.	5. 24	実行委員会
令和	1.	6. 21	実行委員会
令和	1.	7. 26	実行委員会
令和	1.	8. 23	実行委員会
令和	1.	9. 20	実行委員会
令和	1.	10. 18	実行委員会
令和	1.	10. 25	前日準備
令和	1.	10. 26	開催
令和	1.	10. 27	会場清掃
令和	1.	10. 24	反省会
令和	1.	11. 29	監査
令和	1.	12. 2	監査報告会

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
平井学区連合町内会	10
平井学区教育振興会	5
平井地区社会福祉協議会	4
平井消防分団	15
交通安全協会平井支部	10
平井学区シルバークラブ連合会	4
平井学区体育協会	11
平井学区コミュニティ協議会	5
平井学区安全・安心ネットワーク	13
平井学区交通安全母の会	3
平井小学校学校支援ボランティア	6
平井地区民生委員・児童委員会	17
平井地区愛育委員会	15
平井小学校	7
平井小学校 PTA	27
平井幼稚園 PTA	16
平井保育園保護者会	13
山陽短期大学附属幼稚園PTA	11
東山中学校ボランティア委員会	15
平井土手町内会	9
平井地区少年警察協働員会	2
平井地区保護司会	3
弘徳学園	8
計	229 人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	顧問				連合町内会会長
2	委員長				安全・安心ネットワーク会長
3	副委員長				教育振興会長
4	副委員長				連合町内会副会長
5	委員				湊町内会長
6	委員				コミュニティ協議会長
7	委員				シルバークラブ会長
8	委員				交通安全協会支部長
9	委員				西消防団副団長
10	委員				東山中PTA会長
11	委員				連合町内会副会長
12	委員				平井小学校教頭
13	委員				平井地区社協会長
14	事務局・会計				地区民児協会長
15	幹事				元、民児協会長
16	幹事				栄養改善委員会会長
17	幹事				平井幼稚園長
18	幹事				交通安全母の会長
19	幹事				元コミュニティ協議会長
20	監事				防犯協議会長
21	監事				平井小学校長
22					
23					
24					

⑬ 収支決算書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	220,000	153,200	
協賛金	180,000	142,294	
負担金	40,000	11,000	
広告料			
寄付、他収入			
計	440,000	306,494	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
①消耗品費	80,000	8,574	PPロープ等
②食糧費	60,000	43,776	当日弁当、会議お茶代
③印刷製本費	50,000	49,700	ポスターチラシ、会議資料
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	6,000	5,514	切手、はがき代等
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	150,000	55,000	テント、机リース代
⑩原材料費		25,000	バルーン代
⑪委託料	15,000	13,200	警備委託
⑫工事請負費			
⑬報償費	30,000	46,000	出演謝礼
⑭保険料	49,000	59,730	傷害保険、賠償責任保険
計	440,000	306,494	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成 31年 12月12日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ トミヤマツカ シゴウイシカイ
 団体名 富山文化祭り実行委員会

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 フリガナ コミン
 委員長 小西 満香

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第17回 富山文化祭り		
事業実施区域(小学校区)	富山		
①事業実施内容	<p>○開催日時: 令和1年10月26日(土曜日) 10時00分～16時00分 令和1年10月27日(日曜日) 10時00分～15時00分</p> <p>○開催場所: 岡山市立富山公民館 及び 岡山市立富山小学校 体育館 校庭</p> <p>○事業実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作品部 富山学区民 富山中学校・小学校・幼稚園・子供園の作品展示 内容(絵画、習字、折り紙、工作、糊紙、絵手紙等) ● 舞台部 26日(土) おもに大人中心の演技 演奏 27日(日) 午前中子供中心に10ライヴ 午後には音楽会(フラメンコ) ● 体験部 大正琴 おもちつき カレーライス作り ティーハウス等 ● 模擬部 お寿し 焼鳥 カレーライス うどん パン お菓子 コーヒー おにぎり等の店を開く ● 広報部 ポスター作成 文化祭りニュース発行 プログラム作成 DVD作成 QIコード ● 電子町内会 文化祭りの様子のビデオ取り 写真も取る 		
運営スタッフ人数	30名	来場者数	約 2000名
出演者人数	470名	天候	晴

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

1. OG技研の若手社員が手伝ってくれた。
 2. 今年はおやじの会のお文さん達が手伝って下れた。
 3. 若松園の子供達が先生と一緒に出演と出店に協力して下れた。
 4. 今年は高校生のボランティアが数名参加して下れた。
- 上記の事で会場が活気にあふれた。

③事業における地域性・特色

1. 各種団体が互いに助け合い活動に活気がある。
2. 学区民の文化度は高くいろんな方面で特技を持つ方が多い。
3. 住民の地域愛が高い。
4. 有名な曹源寺がある。
5. 農業・商業 会社 が混然としている。

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

1. 高校生 ボランティアを募集した。
2. ニュース1号、2号にQIコードをのせた。
3. おやじの会の協力を得て親子で遊ぶコートを設置した。
4. 体の不自由な方、老人の方参加できない方にも川柳、作品等出品競争に参加してもらった。

⑤事業の公共・公益性

全学区民（大人～子供）まで参加できる大きなイベントである。富山文化祭り成功に向けて学区民（会社・学校・各種団体出品者・出演者・実行委員）が和を持って協力、協働し合う事で「ゴミゼロゾーン生まれ 住みやすい 活気ある 地域」になり事になると思う。

⑥事業の情報公開

7月と10月にチラシを富士学区全戸に配布した。文化まつりより3週間前に公民館のロビーにてフレイズ(昨年の文化まつりの様子の写真、川柳等)展示した。会場周辺にのぼり40本とたて歩道橋に横断幕をかけた。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

① チラシを作成配布、② HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、Ⅴ その他(ポスター、電子町内会、町内回覧、のぼり、横断幕、公民館たより、QIコード)

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

毎年頭を使うのは機材の運搬ですが今年もOG技研の若者8名を協力して下取り販売として会場片付けに利用して今年「おまじの会」中学校PTAの方々が手伝ってくれた。それにより運搬費を最小限におさえられた。模擬店の販売も実行委員のかんはりで行った。

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

若い実行委員を増やして行かなければならない。
OG技研、たけこという大会社だけではなく、あと各所面に文化まつりの意義を理解してもらい協力を要請する。
仕事を持っている方にも協力してもらえようば計画を立てたい

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

富士学区民はイベントに対する協力意識が高い
文化の向とという事に対しても理解度が高い
指摘されていた交通安全から配られた所にガードマンを配置した

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

Ⅰ できた
② おおむねできた
Ⅲ 一部できなかった
Ⅳ まったくできなかった
Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
31年 4月 14日 第1回実行委員会 令和1年6月4日	第17回の富山文化まつりと実施担当実行委員 の顔見せと今年1年間のまつりまでの行程の確認
役員会 7月1日 8月24日	第2回実行委員会に向けての打ち合わせ ニユフ-1号発行
第2回実行委員会 9月8日	作品出品 舞台出演 申し込み状況の把握 それぞれの役割分担 について話し合い { PM 1:30 ~ 2:00 全員へあいさつ PM 2:00 ~ 3:00 (作品部 舞台部 広報部 体験部 摸擬部に分かれてまつりの説明)
第1回参加者合同会議 役員会 10月1日	PM 3:00 ~ 5:00 (合同説明会の把握と各部の進行 ニユフ-2号発行
10月1日	PM 13:30 ~ 15:30 会場設営とリハーサルを取り巻く それぞれの役割がきちんと進行しているか否か
第3回実行委員会 10月24日	各部同志の連絡かどうしているか、いろいろ注意点を以て 文化まつりに使用する白布等 備品の仕分け
10月25日	備品借用 会場設営 準備 リハーサル
10月26日 10月27日	富山文化まつり当日 備品返却
11月30日 参加者合同反省会	13:30 ~ 14:00 全体の反省 14:00 ~ 15:00 各部の反省 各部の反省
第4回実行委員会 反省会	16:00 ~ 参加者合同反省会を用いた後 実行委員としてのまつりへの反省会とする

①事業への参加状況

事業運営への参加団体等		参加人数
1	富山学区連合町内会	21所内
2	富山文化まつり実行委員会	30名
3	富山こども達	40名
4	富山幼稚園	120名
5	富山小学校	35名
6	富山中学校	100名
7	富山中学校 PTA	10名
8	富山学区民 (作品展示・舞台発表)	470名
9	富山電子町内会	10名
10	富山スポーツ少年団後援会	16名
11	交通安全母の会	8名
12	富山学区ミニテニスコミテ	5名
13	富山ハートフルバンド	40名
14	晴吹 フラズバンド	45名
15	若松園	40名
16	後育委員会	10名
17	元気のいる会	10名
18	OG技研	8名
19	福寿町内会	10名
20	町おこしクラブ	10名
21	富山学区婦人会	8名
22	栄養改善協議会	8名
23	富山荘	20名
24	恵風荘	30名
計		1083人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	小橋 一郎				連合町内会長
2	委員 長				サロンド・シエラ <small>シエラ</small>
3	副委員 長 部 長				
4	副委員 長 部 長				婦人会 会長
5	副委員 長				
6	副委員 長				
7	作品部 会長				
8	舞台部 会長				どうさんクラブ
9	広報部 会長				
10	体験部 会長				
11	書記				
12	会計				
13	作品部				連合町内会 統籌
14	作品部				
15	舞台部				
16	広報部				
17	舞台部				
18	広報部				
19	音響				老人クラブ <small>カハク</small> 会
20	作品部				
21	舞台部				
22	広報部				電子町内会
23	模擬部				
24	模擬部				
25	広報部				愛育委員 長
26	広報部				
27	模擬部				
28	おやじの会				PTA 富山小 学校 会長
29	中学校				富山 中 学 校 教 頭
30	小学校				富山 小 学 校 教 頭

収 支 決 算 書

◆ 収入

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	273,000	273,000	岡山市補助金
協賛金	140,000	138,700	作品出店、出演料等
助成金	50,000	50,000	自治振興会より
寄付、他収入	83,000	114,536	模擬店出店料等
利息	0	1	
計	546,000	576,237	

◆ 支出

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
消耗品費	170,000	157,371	封筒、文具、用紙、賞状等
食糧費	65,000	69,125	事業当日の昼食、飲料代等
印刷製本費	100,000	96,976	印刷、コピー、ポスター代等
通信運搬費	52,000	44,491	切手、封筒代、運搬費等
手数料	12,000	17,691	クリーニング代、振込手数料等
使用料	25,000	17,600	餅つき機、綿菓子機等のレンタル代
原材料費	24,000	53,883	もち米代等
委託料	5,000	27,500	警備、交通整理等
報償費	60,000	58,000	出演料・音響運営等
保険料	33,000	33,600	保険代
計	546,000	576,237	

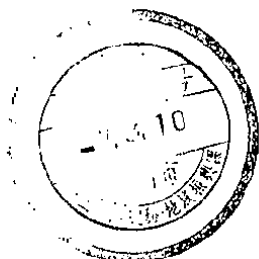
以上のとおり、収支決算の内容を報告します。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 2 年 3 月 17 日

岡山市長 大森 雅夫 様



フリガナ
団体名 操南学区活性化実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名 会長 山崎 和輝

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第20回翔け操南ふれあい祭り		
事業実施区域(小学校区)	操南小学校区		
① 事業実施内容	○開催日時: 令和元年11月17日(日曜日) 9時 分 ~ 14時 30分 ○開催場所: 桑野スポーツ広場 ○事業実施内容 (詳細 別紙) ①ステージの部 幼児・学童の演技、吹奏楽演奏、カラオケ、ゴングゲーム、餅投げ、福引お宝表彰 ②出店の部 野菜、食品・飲料販売 ポテトパイ、肉まん、コーヒー、焼きそば、おにぎり、とん汁、ぜんざい、チョコバナナ、綿菓子、うどん、フランクフルト、カレーライス、花木 等 ③ 展示の部 操南小・中活動紹介、地域写真、パンフ・カタログ配布、福祉用具展示、消防車、パトカー、防災関連品(防災グッズ、保存食)展示 等 ④ ふれあいコーナー ふわふわランド、じゃんけん、グラウンドゴルフ、スーパーボールすくい、おもちゃくじ、木工作体験、けん玉、お手玉、竹とんぼ製作、児童館あそび、ボート練習機器体験、煙道体験 ⑤ その他 献血、空き缶回収、健康チェック、歯科健康チェック、健康・介護相談		
運営スタッフ人数	405	来場者数	3,000
出演者人数	191	天候	晴

② 事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

実行委員、ステージ出演者、テント出店者の協力により事故もなく、参加者の交流促進を図ることができた。

今回で2回目の連合自主防災会の防災コーナーへ約500名の来店者があり、防災意識の高揚を図ることができた。

③ 事業における地域性・特色

学区内の全組織により本事業を実施

お宝人間表彰

敬老者、スポーツ・職能等の優秀者を対象とする

一般受付、交通警備については、操南学区の各町内会長が担当している

空缶回収事業の継続

④ 企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

防災意識の高揚を目標とし、連合自主防災会による防災コーナーの継続、充実を図る。

ふれあい祭り実施後の反省会の意見を参考として内容等の改善を図る

幼児、学童向けの内容の充実

協賛掲示により、協賛者と学区民の交流促進

⑤ 事業の公共・公益性

防災関係内容の充実、強化

操南学区の全世帯へチラシを配布し事業への参加を促進

献血コーナーでは、毎回50名前後の協力者があり、継続事業とする

今回の実績 受付 53名 献血 42名

⑥事業の情報公開

全世帯へチラシ(概要)を配布
反省会で収支を含む事業全般を報告

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- I チラシを作成配布、II HPに掲載、III 市の広報紙に掲載、IV TV、ラジオで公開、
V その他()

⑥ 経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

チラシ等で作成可能な物は、今後も公民館印刷機を利用し費用を節減する。

⑦ 今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

舞台関連費用等の削減
企画実行メンバーの若手起用

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

実行委員、出演者・出店者等の協力により、スムーズな運営ができた。
防災コーナーは今回2回目であるが、来場者の関心が高く、継続・充実を図る

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

舞台関連費用の削減

右記のI～Vの該当部分○を付けて下さい。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
II おおむねできた
III 一部できなかった
IV まったくできなかった
V 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
令和元年 2月12日	桑野スポーツ広場使用許可申請
令和元年 3月 4日	中核実行委員会 (本部、実行委員長、班長、副班長) 反省会意見検討、経費節減検討
令和元年 8月 3日	第20回翔け操南ふれあい祭り 第1回実行委員会 開催内容、実行委員会の再編・役割、町内会長への依頼事項 準備作業概要、今後の予定等について
令和元年 9月 1日	出演者、出店者、ボランティア依頼 開始
令和元年10月20日	第20回翔け操南ふれあい祭り 出店者会議 会場設営、出店留意事項等
令和元年11月 2日	第20回翔け操南ふれあい祭り 第2回実行委員会 実施要領、会場設営等作業スケジュール
令和元年11月15日	駐車場整備、会場設営準備
令和元年11月16日	テント、机等搬入、設営
令和元年11月17日	第20回翔け操南ふれあい祭り 開催、終了後片付け
令和元年11月18日	会場片付け
令和元年12月22日	第20回翔け操南ふれあい祭り 反省会 予算執行状況、意見交換

①事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等		事業運営のスタッフ人数
操南中学校吹奏楽部		42
操南保育園（幼児）		34
操南幼稚園（幼児）		31
ゆりかごこども園（幼児）		29
ジュニア・キッズ3B 体操（幼児、子供）		47
操南社協・公民館カラオケクラブ		8
操南学区体育協会	じゃんけん、グラウンドゴルフ	22
操南小学校 PTA	スーパーボールすくい、おもちゃくじ	20
練白井組シライホーム	木工工作体験	10
操南保育園	ゲーム	16
操南幼稚園	けん玉・竹とんぼ製作、けん玉・お手玉遊び	5
佐信系店	衣類、雑貨 在庫処分	2
岡山ふれあいセンター	児童館あそび、催し物広報	4
元気の出る会、社・民協、公民館	福祉機器・写真展示等	19
出場南院藤崎苑	スイーツポテトパイ	8
操さくら祭典	肉まん、ホットコーヒー	3
岡山県ボート協会	ボート練習機器体験	10
操南小オヤジの会	焼きそば	10
クレープらすかふえ	クレープ	3
岡山博愛会	おにぎり、どんか、ぜんざい、フランクフルト等	10
JA 岡山女性部（番支部）	大学芋、コーヒー	17
いきいきサロンひまわり会	野菜、果物、パン	8
環境美化班	綿菓子、空き缶回収	7
岡山中央警察署	パトカー、白バイ展示	2
中消防署旭東出張所	消防車展示、煙道体験	4
三幡分団	消防車展示、団員募集案内、フライドポテト	12
沖田分団	消防車展示、団員募集案内	8
計	団体	人

⑪事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等		事業運営のスタッフ人数
操南学区連合自主防災会	防災グッズ・保存食展示	8
日赤、操南学区愛育委員会	献血（実施45名）	12
操南学区愛育委員会	救護、バザー	10
操南学区女性クラブ	うどん、もち米、コーヒー	14
操南学区交通安全母の会	フランクフルト、おさつスティック	13
操南学区栄養改善協議会	カレーライス、おはぎ、豚汁	14
エヴァホール岡山	そば、飲物	4
こやま薬局	チョコバナナ、タピオカティー	10
岡山東中央病院、	健康・歯科チェック、健康・介護相談	7
医療生協操南支部	体力チェック	10
武田園芸	花、植木、苗木	2
操南中学校 PTA		6
操南中学校生徒ボランティア		45
操南学区連合町内会		50
計	団体	596人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	会長				連合町内会会長
2	副会長				〃 副会長
3	副会長				〃 副会長
4	副会長				〃 副会長
5	顧問				〃 顧問
6	会計部長				〃 会計
7	事務局長				〃 事務局長
8	イベント部長				環境衛生会長
9	監事				連合町内会監事
10	イベント副部長				青パト隊
11	実行委員長				体育協会副会長
12	交通警備班長				青パト隊
13	環境美化班長				中畑西町内会長
14	記録班長				電子町内会責任者
15	救護班長				愛育委員会会長
16	お宝記録班長				社会福祉会長
17	ステージ班長				倉益南町内会
18	出店班長				交対協会会長
19	展示班長				操南公民館館長
20	設営班長				体育協会副会長
21	ゲーム班長				操南小 PTA 会長
22	福引記念班長				愛育委員会副会長
23					
24					
25					

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

岡山市補助金	400,000	400,000	
協賛金	550,000	510,000	企業、個人
負担金	350,990	277,740	連合町内会助成金
広告料	0	0	
寄付、他収入	100,000	107,160	売上、出店協賛金
利息	10	6	
計	1,401,000	1,294,906	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	30,000	28,065	事務用品費
②食糧費	20,000	22,522	会議お茶代
③印刷製本費	160,000	86,460	チラシ、シール、資料印刷
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	15,000	15,685	ハガキ、切手
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	950,000	976,008	舞台、電源、音響、テント、トイレ等
⑩原材料費	20,000	6,886	石灰、クロステープ等
⑪委託料	30,000	66,000	ガードマン 委託
⑫工事請負費	66,000	68,000	掲示板設置、撤去
⑬報償費	80,000	0	ミニSL運行料
⑭保険料	30,000	25,280	会場へ参加者の賠償保険料
計	1,401,000	1,294,906	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和2年 1月 17日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ サリダカキマツリジッコウイインカイ
 団体名 沢田柿まつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ ジッコウイインチョウ ナガシオ コン
 代表者役職・氏名 実行委員長 長汐 良

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第31回 沢田柿まつり		
事業実施区域(小学校区)	幡多小学校区		
①事業実施内容	<p>○開催日時： 令和1年11月17日(日曜日) 10時00分 ~ 15時00分</p> <p>○開催場所： 岡山市中区沢田地先の百間川河川敷(沢田橋東の多目的広場)</p> <p>○事業実施内容</p> <p>ステージイベント 朝日保育園(園児によるダンス)、キッズダンス、極真空手演武、ダンス、富山豊年踊り、幡多クラブ、柿の皮むき競争、民踊、太鼓演奏、竜操中学吹奏楽部演奏、柿の個数あてクイズ 餅つき大会、お菓子プレゼント、柿の無料配布</p> <p>販売コーナー 柿、柿の葉茶、新鮮野菜</p> <p>展示コーナー 交通安全啓発活動： 交通安全母の会・交通安全対策協議会 防犯啓発活動： 岡山中央警察署 百間川遺跡出土品展示： 岡山県古代吉備文化財センター 河川環境美化PR： 国土交通省岡山河川事務所 里山センター活動PR： 操山公園里山センター</p> <p>遊戯コーナー ふわふわドーム、スーパーボールすくい</p> <p>飲食コーナー 餅、ネギ焼き、おでん、チョコバナナ、トン汁、茶、ラムネ、コーヒー、ポップコーン、赤飯 おこわ、テンペコロケ、蒸しパン、パウンドケーキ、マドレーヌ、クッキー、シュークリーム 牡蠣の味噌汁、焼きそば、焼き鳥、たこ焼き、クレープ、ハッシュポテト、ラーメン、おにぎり チャーシュー丼、お好み焼き、フライドポテト、漬物、フランクフルト、唐揚げ</p>		
運営スタッフ人数	66 60 人	来場者数	5,000人
出演者人数	200人	天候	晴れ

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

幅広い年代層の参加により世代間交流が図れた。

地域キャラクター「ハタわん」をお披露目により地域 PR および多くの来場者とふれあい親睦を深めることができた。

地産の沢田富有柿は市価より安く販売提供できた。

③事業における地域性・特色

地域住民の結び付きを深め活気あるまちづくりを目指すため、地域の各団体のメンバーにより一体感のあるまつりとなった。

地元小学生にステージ進行の手伝いをしてもらった。

地元保育園児、小学生、中学生の将来的に地域を担う世代がステージ出演をした。

地域キャラクター「ハタわん」をお披露目により地域 PR および来場者とふれあい親睦を深め少しは認知してもらえた。

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

遺跡展示コーナーでは土器のパズル、里山センターPRコーナーでは来場者に積極的な声かけをおこない足を止めてもらっていた。

地域キャラクター「ハタわん」をお披露目し認知してもらえた。

⑤事業の公共・公益性

地元の保育園・小学校・中学校・交通安全母の会・交通安全対策協議会・体育協会・郵便局・柿出荷組合・学校応援団・婦人会・農協・PTA・里山センター・愛育委員・消防団・自警団・各企業・連合町内会など、また地元県議・市議の支援もあり地域全体でおこなっている。他地区の各団体・企業の参加もあり盛大で活気あるものとなった。

⑥事業の情報公開

年4回の会議で実行委員に企画・準備・決算の資料により内容説明をおこなった。各町内会長により、まつりのプログラム配布とポスター掲示をおこなった。柿出荷組合へのテレビ・新聞などの取材時に、まつり開催の宣伝をおこなった。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- ① チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、④ TV、ラジオで公開、
Ⅴ その他()

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

消耗品については前回の在庫を確認し使用可能なものは使用することで新たな購入費を抑えた。通信運搬については基本郵送だが近隣に対しては持参・手渡しなどで切手購入費を抑えた。主たる財源は地元企業・団体などからの協賛金で、会議において新規協賛先への依頼をお願いした。

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

柿販売のイメージが強い問題については、柿の歴史・栽培方法の掲示など柿出荷組合と検討していく。地域キャラクター「ハタわん」の活用により地域全体のまつりであるイメージに変えていく。経費の節減について検討していく。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

地域キャラクター「ハタわん」のお披露目により参加者へ少しでも認知されたことで地域のまつりらしさがあったと思います。問題点である柿販売が強いイメージなどについては、審査会での助言・意見を参考に実行委員長を筆頭に関係者全体で今後も検討していきます。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- ・柿販売主体から地域交流イベントに移行している印象です。「はたワン」をシンボルにしてこの流れを加速してください。
- ・「はたワン」頼りで、それ以外の取組みが見えにくい印象です。
- ・柿のPRだけにならないよう事業目的の共有を忘れないよう確認することが重要になると思います。
- ・規模の割には予算が多く、委託料が全体の60%を超えていることが気になります。地域交流は準備のときの方が大きいと思います。
- ・災害からの復帰と、事業成功を期待します。

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- Ⅱ おおむねできた
- ③ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
令和1年 8月 23日	事務局会議 (第1回実行委員会会議の事前打ち合わせ会議)
令和1年 9月 6日	第1回実行委員会会議 (開催日時、実行委員選任、出店、協賛金など)
令和1年10月16日	後援団体等挨拶回り (岡山中央警察署、備前県民局、JA岡山、JA全農岡山 岡山市中区役所、百間川交番)
令和1年11月6日	第2回実行委員会会議 (協賛金、プログラム配布、会場構成、当日スケジュール 保健所指導、運営資材手配など)
令和1年11月12日	事務局会議 (進行スケジュールの打ち合わせ会議)
令和1年11月15日	会場設営準備(ライン引き)
令和1年11月16日	前日準備
令和1年11月17日	沢田柿まつり当日
令和1年11月18日	会場清掃
令和1年11月29日	後援団体等挨拶回り (岡山市中区役所、備前県民局、JA全農岡山、JA岡山)
令和2年 1月(予定)	反省会 (収支報告、意見交換、次回開催の提案)

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
別紙1	
計	団体 人

第31回柿まつり 参加人数

コーナー名	(団体)	参加人数
交通安全PR	交通安全対策協議会 交通安全母の会	25
餅つき	幡多学区体育協会	60
ゆうパック受付	岡山長岡郵便局	14
宅急便受付	ヤマト運輸	8
柿販売・柿の葉茶	沢田柿出荷組合 沢田加工部	40
ネ子焼き・おひん・おコウワ・スル・ホ・ホコイ	竜操地域学校応援団	34
防犯PR		
おふくろ茶屋	幡多学区婦人会	30
ヲバコウワ・赤飯・おこわ・菓子・煎じ餅	JA女性部	12
牡蠣の味噌汁	兼基町内会	20
焼きそば	竜操清水町内会	8
焼き鳥	沢田青年団	7
たこ焼き・クレープ・ハンバーグ	竜操清水町内会	10
ラーメン・おにぎり	関北青年会	10
お好み焼き・ワンド・ホト・漬物	藤原町内会	5
新鮮野菜・ドリア・たこ焼き・ワソウホト	JA青壮年部	10
唐揚げ	幡多小イクメン倶楽部	10
百間川遺跡展示	岡山県古代吉備文化財センター	3
河川PR	国土交通省 岡山河川事務所	4
里山センターPR	操山公園里山センター	2
健康テント	幡多学区愛育委員会	10
本 部	幡多学区連合町内会	57
	消防幡多分団	20
	沢田自警団	25
ステージ	イベント	156
		580

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	別紙2				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

沢田柿まつり実行委員会名簿

No.	役職	氏名	郵便番号	住所	備 考
1	実行委員長				連合町内会会長 防犯協議会会長
2	副実行委員長				沢田生産組合
3	副実行委員長				青果物生産組合幡多支部支部長 沢田生産組合副組合長
4	副実行委員長				沢田生産組合組合長
5	副実行委員長				社会福祉協議会会長
6	副実行委員長				婦人会会長 赤田町内会会長 連合町内会副会長
7	副実行委員長				体育協会会長
8	副実行委員長				沢田町内会会長
9	副実行委員長				清水町内会副会長 司会担当
10	実行委員				沢田生産組合
11	実行委員				沢田生産組合
12	実行委員				沢田生産組合
13	実行委員				沢田生産組合
14	実行委員				沢田生産組合
15	実行委員				沢田生産組合
16	実行委員				沢田自警団団長 沢田生産組合
17	実行委員				沢田生産組合
18	実行委員				沢田生産組合
19	実行委員				沢田青年団団長
20	実行委員				本部付
21	実行委員				市議会議員 交対協顧問 竜操地区学校応援団
22	実行委員				愛育委員会会長
23	実行委員				追分町内会会長 連合町内会副会長
24	実行委員				老人クラブ連合会会長
25	実行委員				交通安全母の会会長 交対協副会長
26	実行委員				いきいきサロンもくよう会代表
27	実行委員				藤原町内会会長
28	実行委員				藤原団地町内会会長
29	実行委員				藤原団地北町内会会長

沢田柿まつり実行委員会名簿

No	役職	氏名	郵便番号	住所	備 考
30	実行委員				清水町内会会長 湯野会会長
31	実行委員				清水東町内会会長
32	実行委員				高瀬町内会会長 遠谷町内会副会長
33	実行委員				醍醐町内会会長 蓮谷町内会監事
34	実行委員				東瀬町内会役員 蓮台町内会監事 菊部会副頭 青葉物生産組合轄多支部副支部長
35	実行委員				今谷町内会会長 (極真空手演武)
36	実行委員				榎ヶ二一団地町内会会長
37	実行委員				藤原南町内会会長
38	実行委員				柳栗町内会会長
39	実行委員				醍醐北町内会会長
40	実行委員				醍醐橋町内会会長
41	実行委員				兼基栗町内会会長
42	実行委員				高操/パーク町内会会長
43	実行委員				サーバス藤原西町町内会会長
44	実行委員				ハイタウン百間川町内会会長
45	実行委員				高操清水町内会会長
46	実行委員				ビュー藤原西町町内会会長
47	実行委員				西地区いきいきサロン代表 (楽陸組)
48	実行委員				碑人会
49	実行委員				小学校PTA会長 交対留帯任理事
50	実行委員				岡山市立奥公民館館長
51	実行委員				轄多クラブ
52	実行委員				総代代表
53	実行委員				岡山府消防団轄多分団分団長
54	実行委員				女性部岡山支部副支部長 (民権同好会)
55	実行委員				レタス部会部長 青葉物生産組合轄多支部副支部長
56	実行委員				国土交通省 岡山河川事務所 百間川 出張所所長
57	実行委員				岡山県古代芸術文化財センター
58	実行委員				岡山市公園協会 岡山公園歴史センター ・百間川緑地管理事務所所長

沢田柿まつり実行委員会名簿

No.	役職	氏名	郵便番号	住所	備 考
59	実行委員				原町内会 ぶくじゅう
60	実行委員				北町内会 岡山長岡郵便局
61	実行委員				操清水町内会
62	事務局				農産部園芸課課長
63	事務局				田宮観センターセンター長
64	事務局				田宮観センター
65	事務局				播多支所支所長
66	事務局				播多支所支所次長

※当名簿の利用目的は沢田柿まつり運営上の連絡に限り利用し、利用目的以外に利用いたしません。

⑬ 収支決算書

◆収入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	400,000	400,000	
協賛金	1,060,000	1,225,000	地元企業等協賛金
負担金	460,000	400,000	
広告料			
寄付、他収入	80,000	87,459	
計	2,000,000	2,112,459	

◆支出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	26,000	20,087	封筒・手提げ袋・事務用品
②食糧費	168,000	165,000	会議お茶、当日弁当・お茶
③印刷製本費	280,000	281,600	プログラム・ポスター
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	30,000	28,759	切手
⑦広告料			
⑧手数料	41,000	40,260	振込手数料・ごみ収集運搬
⑨使用料			
⑩原材料費			
⑪委託料	1,269,000	1,366,633	会場設営・遊戯施設 別紙明細あり
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	13,000	12,120	会場・駐車場・食品
	173,000	198,000	会場・駐車場警備
計	2,000,000	2,112,459	

◆支出(①委託料明細)

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
レンタル料(長机・イス)	241,596	186,230	見積書A項目×1.10
レンタル料(テント)	215,093	242,836	見積書B項目×1.10
警備用資材費(フェンス等)	70,070	71,368	見積書C項目×1.10
音響設備費	81,000	82,500	見積書D項目×1.10
ステージ設備費(パネル・テープカット)	190,915	305,404	見積書E項目×1.10
仮設トイレ	113,400	115,500	見積書F項目×1.10
発電設備費	67,446	68,695	見積書G項目×1.10
会場設営資材費(アーチ等)	97,200	99,000	見積書H項目×1.10
会場設営・撤去・配送費	152,280	155,100	見積書I項目×1.10
遊戯施設	40,000	40,000	ふわふわドーム
計	1,269,000	1,366,633	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和 1 年 10 月 18 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ サイデンフレアイナツマツリジツコウイインカイ
団体名 財田ふれあい夏祭り実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ ナカモトアツヒ
代表者役職・氏名 実行委員長 中元篤宏

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	財田ふれあい夏祭り		
事業実施区域(小学校区)	財田小学校区		
① 業実施内容	<p>○開催日時: 令和1年9月7日(土曜日) 17時30分～21時20分</p> <p>○開催場所: 財田小学校 校庭</p> <p>○事業実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> * 竜操中学吹奏楽部によるオープニング演奏(30人) * 西大寺祭り太鼓演奏(8人) * ダンスパフォーマンス(2人) * うらじゃ踊り連(鬼おによろしく魁雅連・18人):うらじゃシール貼り(1,000枚) * 盆踊り: 子供対象・参加者総踊り * 打ち上げ花火(50発) * 出店…飲み物やゲーム等 10店舗 * 社会福祉法人さつき園入所者 12人参加 * 竜操中学校生ボランティア参加(19人) 		
運営スタッフ人数	100人	来場者数	約1,800人
出演者人数	58人	天候	曇り

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

当初開催日の7月20日が天候等の関係で延期となり、9月7日に開催したが、予想を上回る人出となり、当初の目的は達成されたものとする。また、新たな出し物や、出店に金魚すくいを取り入れることで子供たちにも人気があった。親子3代で触れ合える地域での催しとして定着されていくものとする。

③事業における地域性・特色

特色としては、単なる盆踊りや出店という形式的な催しではなく、若者によるダンス、うらじゃ踊り連（財田小学校生もメンバー）、和太鼓や中学生によるバンド演奏と手伝いボランティアなどとあわせて、地域の社会福祉関係者、地域内の在日関係者など幅広い参加を得て行われた事業である。

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

幅広い参加演奏者の募集。出店の工夫。運営は学区連合町内会と各種団体がそれぞれ任務部分担を明確にして各配置についたことで運営が昨年度よりスムーズにできた。

⑤事業の公共・公益性

事業の主体は実行委員会であり、それを補助する地域内外の各種企業による賛助金が主たる事業資金であり、営利を目的としない事業。また、参加者の募集については地域内外の各種関係者や町内会を通じて幅広い呼び掛けを行い、地域を問わず参加できるよう広報面に気を配った。

⑥事業の情報公開

チラシやポスター掲示などにより情報を公開した。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- ① チラシを作成配布、 ② HPに掲載、 Ⅲ 市の広報紙に掲載、 Ⅳ TV、ラジオで公開、
Ⅴ その他()

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

主たる財源は企業等による賛助金。 次回からは支出部分をいかに縮小できるか、全体の企画を含めて検討していく。

⑧今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

⑦と同様の点を全体でよく検討していく。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

今回は初めてのため、次回での取組後に再度改善点を報告する。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
H. 2月6日	財田ふれあい夏祭りの開催日と内容を検討開始
20日	大まかな日程とプログラムの確認
3月6日	幹事会で開催要項を提起
27日	五役で昨年度の実績等を踏まえて企画の検討
4月3日	連合町内会幹事会でまつり企画の具体的立案を提起
R. 元年5月1日	連合町内会幹事会でまつり企画を検討 来賓の祭りへの参加要請・出演者との折衝開始
5月19日	連町定期総会にて祭りの企画を報告。
6月5日	まつりへの賛助金募集と町内会や各企業あての案内を含めてチラシ やポスター配布作業開始を幹事会で確認。また、各種団体などに開 催に関する広報を文書で行う音も確認。
6月20日	祭り出店者会議(レンタル品や出し物確認)
7月3日	幹事会で、レンタル商品やガス使用、電気配線などの最終確認と各 種任務分担を確認。また、賛助金の集約を行う。
10日	事務局で、最終的なレンタル商品、電気配線、催し物出席者確認、 出店の出し物確認、来賓等の出席確認など最終調整を行う。
19日	五役会議にて、天候不順に伴い、安全を配慮して延期を決める。
20日	祭り当日(延期)
30日	五役会議にて、9月7日に再開することを決める。
8月7日	幹事会で9月7日に再開することを決定し、再度の広報を町内会を 挙げて行うことを決める。また各種企業にも、再開を示す文書を配布 し協力を求める。
11日	出店者に再度の周知のための会議を持つ。 この日以降、実行委員会メンバーは、9月7日の再開に向けて関係 各所への働きかけに疾走する。
9月7日	第3回財田ふれあい夏祭りが無事執り行われる。
10月2日	幹事会で、夏祭りの収支決算書が報告され承認される。また、今回 の赤字決算を受け、その反省を含めて、企画の改善についてよく論 議していくことを確認する。

⑪事業運営への参加状況

事業運営への参加予定団体等	事業運営のスタッフ人数
財田学区連合町内会(単位町内会含む)	80
学区コミュニティー協議会	1
財田小学校PTA	5
財田学区交通安全母の会	2
岡山市消防団財田分団	10
財田学区体育協会	10
財田学区愛育委員会	5
財田学区栄養委員会	2
財田地区社会福祉協議会	1
財田地区民生児童委員協議会	3
財田児童クラブ	2
財田学区老人クラブ連合会	1
安全安心ボランティア	1
財田小学校	2
財田幼稚園	2
財田保育園	2
神下保育園	2
乙多見保育園	2
岡山市福祉交流プラザさいでん	2
岡山県立竜操中学校ボランティア	10
社会福祉法人光輝園さつき園	10
計	21 団体 155 人

⑫事業実施メンバー

	申込団体の役職	氏名	住所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	実行委員長				神下町内会会長
2	副実行委員長				神下町内会副会長
3	副実行委員長				下町内会会長
4	事務局長				東乙多見町内会会長
5	会計・兼務				長岡町内会会長
6	監査				学区連合町内会監査
7	監査				学区連合町内会監査
8	企画委員長・兼務				長岡町内会会長
9	実行委員				東神下町内会会長
10	実行委員				東岡山住宅団地町内会会長
11	実行委員				長利町内会会長
12	実行委員・兼務				米田新町町内会会長
13	実行委員・兼務				財田小学校PTA会長
14	実行委員				米田町内会会長
15	実行委員				米田中央町内会会長
16	実行委員				県住第1町内会会長
17	実行委員				県住第2町内会会長代理
18	実行委員				県住第4町内会会長
19	実行委員				県住第5町内会会長
20	実行委員				乙多見町内会会長
21	実行委員				南乙多見町内会会長
22	実行委員				乙多見新町町内会会長
23	実行委員				乙多見宮の里町内会会長
24	実行委員				田草町内会会長
25	実行委員				鉄工団地町内会会長
26	実行委員				学区交通安全母の会会長
27	実行委員				学区コミュニティー協議会会長
28	実行委員				市消防団財田分団副団長

29	実行委員		学区体育協会会長
30	実行委員		学区愛育委員会会長
31	実行委員		学区栄養委員会会長
32	実行委員・兼務		学区社会福祉協議会会長
33	実行委員・兼務		学区民生児童委員協議会会長
34	実行委員		財田児童クラブ副会長
35	実行委員		学区老人クラブ連合会会長
36	実行委員		安心安全ボランティア代表
37	実行委員		福祉交流プラザさいでん館長
38	特別委員		財田小学校校長
39	特別委員		財田幼稚園園長
40	特別委員		財田保育園園長
41	特別委員		神下保育園園長
42	特別委員		乙多見保育園園長

⑬ 収支決算書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	400,000	400,000	区づくり助成金
協賛金	1,000,000	1,077,000	企業等賛助金
負担金	100,000	62,300	出店関係者負担金
広告料	0		
寄付、他収入	200,000	203,717	単位町内会
計	1,700,000	1,743,017	

◆ 支 出

単位:円

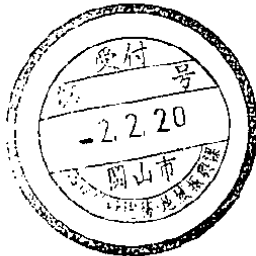
項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
消耗品	50,000	125,271	事務消耗品等
印刷製本費	350,000	321,948	チラシ・ポスター・うちわ・タオル等
機材レンタル費	600,000	655,452	机・いす・出店機材・音響等
電気設備費	250,000	365,000	電気施設一式
講師謝金費	150,000	100,000	うらじゃ・太鼓等
設備費	200,000	150,000	ステージ設備一式
報償費	50,000	20,000	櫓設備等
食糧費	50,000	0	
手数料	0	5,346	クリーニング代 振込手数料
計	1,700,000	1,743,017	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

令和2年2月20日

岡山市長 大森雅夫 様



フリガナ タカシマフレアイトンド マツリジッコウイノンカイ
 団体名 高島ふれあいとんどまつり実行委員会

所在地

連絡先 086-275 0069

フリガナ ニシザキ ヒデアキ
 代表者役職・氏名 委員長 西崎 英雄

印

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	高島ふれあいとんどまつり		
事業実施区域(小学校区)	高島小学校区		
① 事業実施内容	<p>○開催日時: 令和2年1月11日(土曜日) 9時30分 ~ 11時30分</p> <p>○開催場所: 岡山市立高島小学校運動場</p> <p>○事業実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とんど焼きの実施 ・ふれあい餅つきの実施 ・おかざりの歴史についてのパネル、高島のおかざりの展示 ・雄町米の紹介、パネルの展示 ・雄町の冷泉の紹介、源泉から淹れたコーヒーのふるまい ・天然記念物アユモドキの写真パネル、高島小児童の学習内容等の展示 ・ふれあい昔遊びの実施(こままわし、けん玉、お手玉、メンコ、竹馬、竹鉄砲、どんぐりコマ) ・大学生サークルによる防災体験の実施 ・高島の地域資源に関するクイズラリーの実施 ・各種団体によるふるまい模擬店 <ul style="list-style-type: none"> 高島学区婦人会.....豚汁 高島小学校 PTA.....ぜんざい JA 岡山高島支所女性部...焼き芋 ・消防車(ポンプ車)の展示 ・起震車による地震体験と平成30年西日本豪雨災害のパネル展示 		
運営スタッフ人数	101人	来場者数	約1,500人
出演者人数	—	天候	曇り

② 事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

当日は晴天に恵まれ、多くの参加者に来場いただけた。来場者は家で飾ったお飾りや、書き初めを持参し、とんど焼きに参加するとともに、高島学区の文化や歴史に触れ、地域団体によるふるまいを楽しみながら、相互に交流していた。また、幼児・児童はクイズラリーに参加し、各ブースに設置したクイズに挑戦していた。

今年度は小学校グラウンドが広く使えることもあり、新たに雄町の冷泉の紹介と源泉から淹れたコーヒーのふるまい、防災意識の向上を図る目的で起震車による地震体験、学区ハザードマップの周知、西日本豪雨災害に関するパネルを展示するなど、その内容の充実を図った。多くの来場者が各ブースを楽しみ、様々な場面で笑顔と会話が生まれ、地域の新旧住民のふれあい・交流が促進し、地域の活性化に貢献したと考えている。

③ 事業における地域性・特色

高島学区は、土地開発による宅地化が進み、若い世代が増加しており、少子化が進む中で小学校校舎が増築されるという、市内でも珍しい人口動態を見せる地域である。そのため、今後の高島地区の振興・発展のためには、古くから地域の文化や歴史を紡いできた住民と、新たに加わった住民との融合が不可欠である。

そのため、どの世代にも馴染みのある伝統行事「とんど焼き」をふれあいのきっかけの場とし、全国に誇る雄町米や自然環境保護のシンボルでもあるアユモドキ保護の活動、会場である高島小学校児童の地域学習の成果など、地域の文化や歴史を伝えるとともに、昔遊びなどの体験を通し、来場者が交流する場を作り、高島学区への理解と愛情を持ってもらうこととした。

④ 企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

・連合町内会役員及び若い世代である幼稚園・小学校 PTA を中心に組織を構成し、各種団体と協働し、学区をあげて企画運営を行った。

・参加者ファーストの視点に立ち、各ブースにのぼり旗を設けるとともに、場内整理・案内スタッフを配置した。スタッフは統一ビブスを着用し、視覚的にも来場者にわかるようにした。

・雄町米、おかざり、雄町の冷泉の展示ブースには、来場者の理解が進むよう、特設パネルを作成し設置するとともに、おかざりづくりの実演を行い、実際の作成工程を体験してもらった。

・子供世代の参加と地域資源への理解促進を図るため、クイズラリーを実施した。参加者への景品とした缶バッジのデザインも、高島小学校児童から募集し、まつり前からの参画を促進した。

・今年度も高島小児童から企画を募り、提案の多かった写真撮影ポイントの充実策として、顔出しパネルを採用し、設置した。

⑤ 事業の公共・公益性

・高島学区全住民を対象に、交流促進や地域とのつながりづくり、ひいては地域の活性化に寄与しており、公共・公益性は高い。

⑥ 事業の情報公開

・当事業のチラシを作成し、各町内会、幼小中学校へ約2000枚を配布し、各町内掲示板に掲示するなどして周知を図った。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

I チラシを作成配布、 II HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、 V その他()

⑦ 経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

- ・チラシを安価なインターネット印刷業者に発注した。
- ・櫓用の木材を、製材所との交渉によって安価に入手した。
- ・地元企業に働きかけ、協賛金を得た。
- ・案内看板やセイフティコーンなどの備品を、地元住民から借用するなどした。

⑧ 今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

- ・児童の参画を広げ、子供たちが愛する地域行事となるよう、学校と連携して児童からの企画やボランティア参加について、一層広がるよう準備の工夫を行う。
- ・高島学区の特徴である「ホテル」について紹介する展示を新たに検討する。

⑨ 感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

- ・会場レイアウト等を工夫することで、会場内の一体感、来場者の参加意欲は増した。
- ・展示ブースに小学生の参加型コンテンツを設けるなど、さらに工夫を重ねていきたい。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- ・町内会へのまつりの周知、参加の呼びかけを積極的に行い、事業への幅広い参画を実現し、学区全体を盛り上げる行事となること
が好ましいのではないかと思います。

右記の I ~ V の該当部分○を付けて下さい。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- II おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
令和元年8月3日	区づくり推進事業審査会
令和元年8月29日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議① (実施内容、役割分担等の協議、会場レイアウトの検討)
令和元年10月17日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議② (実施内容の詳細協議、会場レイアウトの検討)
令和元年11月19日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議③ (各団体取組進捗状況の確認、PR チラシの決定)
令和元年12月16日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議④ (各団体取組進捗状況の確認、最終打ち合わせ)
令和2年1月4日	事業実施メンバーによるのぼり旗の設置(事前PRのため)
令和2年1月10日	事業実施メンバーによる事前準備(テント設営、用具の確認等)
令和2年1月11日	高島ふれあいとんどまつり開催
令和2年2月13日	会計による監査
令和2年2月13日	事業実施メンバー代表による合同反省会議

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
JA 岡山高島支所(部会含む)	10
高島学区連合町内会	20
高島学区婦人会	10
岡山市消防団高島分団	5
高島学区老人クラブ連合会	10
高島学区民生委員協議会	21
岡山市立高島幼稚園 PTA	5
岡山市立高島小学校 PTA	12
高島学区体育協会	5
高島小学校・高島幼稚園	5
計	11団体 103人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	委員長				高島学区連合町内会会長
2	副委員長				高島学区婦人会
3	副委員長				JA 岡山高島支所
4	副委員長				JA 岡山高島女性部
5	副委員長 (事務局長)				高島小学校PTA会長
6	幹事				高島学区民生委員
7	委員				高島小学校校長
8	委員				高島小学校副校長
9	委員				JA 岡山高島支所長
10	委員				高島学区連合町内会
11	委員				高島学区連合町内会
12	委員				高島学区連合町内会
13	委員				高島学区連合町内会
14	委員				消防団高島分団
15	委員				高島学区老人クラブ
16	委員				高島学区体育協会
17	委員				高島幼稚園園長
18	委員				高島小学校PTA
19	委員				高島小学校PTA
20	委員				高島小学校PTA
21	委員				高島幼稚園 PTA

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	120,000	109,900	
協賛金			
負担金	90,000	79,918	実行員会団体
広告料			
寄付、他収入	30,000	30,000	地域企業
計	240,000	219,818	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	127,000	101,776	檜木、缶バッジ、のぼり等
②食糧費	1,000	1,257	会議お茶
③印刷製本費	8,000	7,293	チラシ作成
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	10,000	9,524	郵便代
⑦広告料			
⑧手数料	5,000	10,000	チラシ、パネルデザイン
⑨使用料			
⑩原材料費	85,000	85,108	もちつき等
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	4,000	4,860	イベント共済
計	240,000	219,818	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 2 年 4 月 3 日

岡山市長 大森 雅夫 様

ヒライガックチイキヅクリカイギ

団体名

平井学区地域づくり会議

所在地

連絡先

助金

代表者役職・氏名 ^{フリガナ}議長 ^{フリガナ}那須 ^{フリガナ}和夫

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input checked="" type="radio"/> イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	地域づくり会議の運営と事業展開
事業実施区域 (小学校区)	平井小学校区
①事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 平井学区地域づくり会議では、高齢者対策として「オレンジカフェひらい」を平成28年10月に立ち上げ、その後今日まで毎月1回のペースで開催を続けています。 また、山陽学園大学・旭東病院と行っている「健康チェック」も、年2回実施しておりその結果は、その都度皆様に報告しております。 地域の子供たちの居場所づくりのため「プレイパーク」を年2回、成徳学校の裏山で実施しました。大自然の中、親子で楽しんでいました。 又、令和元年度は、6月には「キャンドルナイト」2月には「ひらい子どもフェスタ」を新たな子供たちの居場所づくりとして初めて開催しました。 令和元年度には、旭東病院の協力を得て「認知症サポーター養成講座」を年3回開催しました。 環境保全や岡山マラソン等での美化の一環として、旭川クリーン作戦（堤防のり面及び河川敷の空き缶、ゴミ等の清掃）を、平井学区環境衛生協議会と協賛で9月8日実施しました。 平井学区には、現在7台の防犯カメラが設置され稼働していますが、学区民にはあまり知られていません。このカメラの存在を皆さんに知っていただくと共に防犯対策に活用するためにチラシを作成し各町内会等に配布、掲示することになりました。

<p>② 解決を目指した課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対策の検討を最優先と考え、認知症予防の一環として「オレンジカフェひらい」を継続して開催することにしました。 ・地域の方々が、元気に楽しく暮らせるよう、「健康チェック」を継続して実施することにしました。 ・子供たちの居場所づくりの一環として「プレイパーク」を継続して開催しました。 ・認知症の方に優しい地域を目指して、「認知症サポーター養成講座」を継続して開催しました。 ・環境保全や岡山マラソン等での美化の一環として「旭川クリーン作戦」を計画し実施しました。 ・防犯対策として「防犯カメラ作動中」というチラシを作成し、各町内会の掲示板等に掲示しました。
<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>事業の目的</p> <p>地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としました。</p> <p>目標の達成状況</p> <p>認知症予防対策事業として立ち上げた「オレンジカフェひらい」は、平成28年10月に第1回目をオープンし、その後今日まで毎月1回のペースで実施しています。（参加人数 25～30名で固定化しつつあります）</p> <p>山陽学園大学・旭東病院共催で行っている「健康チェック」も年2回開催しています。認知機能・運動機能・骨密度や他ではあまり出来ないようなチェックと健康相談を行っています。</p> <p>子供たちの居場所づくりの一環として開催している「プレイパーク」も年2回成徳学校の巽山で行っています。（参加人数 春24名、秋15名）</p> <p>新たな子供たちの居場所づくりとして「キャンドルナイト」「ひらい子どもフェスタ」を初めて開催しました。</p> <p>（参加人数 キャンドルナイト 約50名、子どもフェスタ 124名）</p> <p>旭東病院の協力を得て、認知症の方に優しい地域を目指して「認知症サポーター養成講座」を年3回開催しました。</p> <p>急な災害時に必要と居られる「緊急用ホイッスル」を、平井専用IDカードと共に製作したものを、一人暮らしのお年寄りや敬老会参加者に配布しました。又、愛育委員・民生委員・地域づくり会議メンバー等にも配布しました。</p> <p>環境保全や地域美化の一環として計画した「旭川クリーン作戦」は、9月8日実施することが出来ました。</p> <p>防犯対策の一環として「防犯カメラ作動中」というチラシを作成し、各町内会等に配布し掲示しました。</p>

④ 企画等の工夫と情報公開

- ・ 連合町内役員のみならず、地域の各種団体から推薦された団体代表によって構成する会議体を組織し、会議運営を行っています。
- ・ 立ち上げ時のメンバーは25名でしたが、その後メンバー等の都合もあり交代および増員(学校区PTA役員等)により、現在31名で運営しています。
- ・ 効率的な会議運営を行うため、専門部会(プロジェクトチーム)を立ち上げ運営しています。
- ・ 学区発行の新聞「平井学区連合町内会だより」や、平井学区ホームページ「平井学区電子町内会」に地域づくり協議会の活動内容を掲載し、学区内外への情報発信とPRを行っています。

⑤ 次年度計画

- ・ 月1回開催している「オレンジカフェひらい」を継続していくと共に、参加された方々が、より楽しい時間を共有できるよう内容を充実していきたいと考えています。
- ・ 年間2回開催の「健康チェック」を地域のもっと大勢の方に受けていただけるよう改善していきたいと考えています。
- ・ 今年2回開催した「プレイパーク」を、同じく年2回開催すると共に、新たな子供たちの居場所づくりとして実施した「キャンドルナイト」「ひらい子供フェスタ」も引き続き開催していきたいと考えています。
- ・ 急な災害時に必要と思われる「緊急用ホイッスル」を平井専用IDカードと共に製作したものを、地域のお年寄りに今後も続けて配布します。
- ・ 環境保全や岡山マラソン等での美化の一環として計画した「旭川クリーン作戦」を続けるよう計画しています。
- ・ 防犯対策の一環として「防犯カメラ作動中」の警告板を、アクリル板等ある程度年月に耐えられるものを製作し、電柱やフェンス等に取り付けるよう計画しています。(警告板のデザイン案添付)

認知症予防事業として始めた「オレンジカフェひらい」もすでに3年半となり参加者の方々も大きな声で歌を歌ったり、軽い体操をしたり、時には落語を聞いて大笑いをしたり楽しい時間が過ごせているように感じます。これからも内容を充実してもっと大勢の方に参加していただけるよう運営していきたいと考えています。

⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

子供たちの居場所づくりの一環として始めた「プレイパーク」も年2回実施しており、成徳学校の裏山の大自然の中で親子共々楽しんでいただきました。新たに開催した「キャンドルナイト」「ひらい子供フェスタ」も、大勢の親子に参加していただき大変好評でしたので今後も続けて開催したいと思いをします。

地域の方々に健康で楽しく暮らせる平井学区を目指して始めた「健康チェック」も年2回開催し、参加していただいた方々から自分の健康についてよくわかってよかったと喜ばれています。

環境保全の一環として9月8日に行った「旭川クリーン作戦」は参加者156名で実施できました。今後も続けていきたいと考えています。

不審者対策として作成した「防犯カメラ作動中」のチラシは一定の効果があったと思われ、来年度は、予算を組んである程度の年月に耐えられるものを製作し、電柱やフェンス等に設置する計画です。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- ・大学、病院、施設等との協働や具体的な地域課題での対応など優れた取り組みであると思います。
- ・認知症予防など、辛抱強い取り組みが必要と思われまますので長く継続してほしいです。
- ・山陽学園大学の授業で取り組みを定めるなど、区民への積極的な参加や協力を得るための活動に励まれている素晴らしい。
- ・サポーター養成講座など、参加者が増えていることや事業継続されていることを評価します。

(理由：)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- II おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
山陽学園大学・山陽学園短期大学	定例会参加・アドバイザー
岡山市中区地域包括支援センター	同上
岡山市社会福祉協議会 中区事務所	同上
岡山市中区保健センター	同上
岡山市ふれあい介護予防センター	同上
岡山市 市民協働局 市民協働企画総務課 地域担当職員	会議開催企画・運営・実行支援
平井学区 安全・安心ネットワーク	定例会および専門部会参加等
平井地区民生委員・児童委員協議会	同上
平井地区社会福祉協議会	同上
平井学区愛育委員会	同上
平井学区防犯協議会	同上
平井学区交通安全対策協議会	同上
交通安全協会平井支部	同上
平井学区交通安全岳の会	同上
平井学区コミュニティ協議会	同上
平井消防分団	同上
平井学区シルバークラブ連合会	同上
平井すずらん交流会	同上
平井学区電子町内会ホームページ委員会	同上 地域づくり協議会の活動取材等

⑧ 事業実施経過

4月13日	「オレンジカフェひらい」開催	
4月21日	「プレイパーク」開催	
5月18日	「オレンジカフェひらい」開催	
6月 4日	第17回定例会開催	
6月15日	「オレンジカフェひらい」開催	
6月20日	旭東病院による「認知症サポーター養成講座」開催	
6月29日	東山公民館共催「キャンドルナイト」開催	
7月13日	「オレンジカフェひらい」開催	
8月17日	「オレンジカフェひらい」開催	
8月29日 30日	山陽学園大学・旭東病院共催 「健康チェック」開催	
9月 3日	第18回定例会開催	
9月 8日	「旭川クリーン作戦」開催	
9月21日	「オレンジカフェひらい」開催	
11月 8日	旭東病院による 「認知症サポーター養成講座」開催	
11月 9日	「オレンジカフェひらい」開催	
11月16日	成徳学校裏山にて 「プレイパーク」開催	
11月10日	「オレンジカフェひらい」開催	
12月 3日	第19回定例会開催	
12月14日	「オレンジカフェひらい」開催	
1月 9日	旭東病院による 「認知症サポーター養成講座」開催	
1月12日	「オレンジカフェひらい」開催	
2月15日	「オレンジカフェひらい」開催	
2月24日	平井コミュニティハウスにて「ひらい子供フェスタ」開催	
3月 3日	第20回定例会開催	
3月16日 17日	「健康チェック」開催予定	新型コロナで 中止
3月21日	「オレンジカフェひらい」開催予定	新型コロナで 中止
3月31日	会計報告・反省会	

⑨事業実施メンバー

	申込み団体 での役職	氏 名	住 所	年代	備考
1	議 長				連合町内会会長
2	副議長				安全・安心ネットワーク会長
3	事務局長				連合町内会副会長 防犯協議会会長
4	会 計				連合町内会副会長 湊町内会会長
5	会計監査				四軒屋町内会会長
6	会計監査				シルバークラブ連合会会長
7	常任委員				連合町内会副会長
8	〃				連合町内会副会長
9	〃				連合町内会副会長
10	〃				川東町内会会長
11	〃				北川町内会会長
12	〃				元北川町内会会長
13	〃				川東町内会長
14	〃				社会福祉協議会会長
15	〃				北川町内会会長
16	〃				愛育委員会 会長
17	〃				交通安全対策協議会会長
18	〃				交通安全協会 平井支部部長
19	〃				交通安全母の会会長
20	〃				すみれ町内会会長 コミュニティ協議会会長
21	〃				山陽学園大学
22	〃				新町町内会会長
23	〃				平井消防分団分団長
24	〃				平井上町町内会会長
25	〃				電子町内会ホームページ 委員会
26	〃				すずらん交流会代表
27	〃				すずらん交流会
28	〃				すずらん交流会

	申込み団体 での役職	氏名	住所	年齢 (年代)	備考(加入団体等)
29	常任委員		平井 5-3-73-3	40	平井小学校 PTA 会長
30	〃		平井 3-927-1	30	平井幼稚園 PTA 会長
31	〃		平井 1117-14	50	平井保育園保護者会会長

⑩ 収支決算書

◆ 収 入

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	225,000	123,200	100 円未満切捨て
負担金	225,000	123,255	
参加費			
寄付、他収入			
計	450,000	246,455	

◆ 支 出

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
① 消耗品費	30,000	91,102	別添添付、収支決算書内 訳書をご参照
② 食糧費	50,000	43,447	同上
③ 印刷製本費	60,000	75,174	同上
④ 燃料費	10,000	0	同上
⑤ 光熱水費	0	0	同上
⑥ 通信運搬費	30,000	12,732	同上
⑦ 広告料	0	0	同上
⑧ 手数料	0	0	同上
⑨ 使用料・賃貸料	40,000	0	同上
⑩ 原材料費	0	0	同上
⑪ 委託料	100,000	0	同上
⑫ 工事請負費	0	0	同上
⑬ 報償費	120,000	20,000	同上
⑭ 保険料	0	4,000	同上
⑮ 旅費	10,000	0	同上
⑯ その他	0	0	同上
計	450,000	246,455	

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和2年3月31日

岡山市長 大森 雅夫 様

ソウメイガクケンボウジシユボウサイカイ
団体名 操明学区連合自主防災会
所在地 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]
代表者役職・氏名 ^{ソウメイ}会長 小田光雄 [REDACTED]

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input checked="" type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他
事業名	操明学区防災フロント（最前線）事業
事業実施区域 (小学校区)	岡山市中区 操明小学校区
① 事業実施内容	<p>1) 学区単位防災会で持続可能な防災・減災の協働組織完成。 2) 単位防災会での要配慮者避難連絡網、見守り体制の完成。 3) 町内会以外の受入体制と非常時連絡網の完成。 4) 企業との提携・連絡網の作成・周知。 5) 単位自主防災会の新役員研修会充実。</p> <p>※事業実績を示す写真（事業内容ごとに2枚程度）、作成した報告書やチラシ等を添付してください。アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p>
② 解決を目指した課題	<p>1) 協働団体＝持続可能な協働連帯組織のマニュアル作成へ。 2) 避難活動要配慮者＝避難を円滑に進めるための研修・訓練。 3) 避難場所＝円滑運営の見直し・町内会以外の受入体制。 4) 企業提携＝提携ルール・連絡網の作成・周知 5) 人材育成＝各班(住事別)防災新役員研修会の為に講師陣の育成。</p>

③目的・目標の達成状況

1) 持続可能な最前線防災組織づくり

27町内会136人避難誘導班長の連絡網の完成。情報班、防火班、救出救護班。

情報班は28機の無線機を通じて非常時マニュアルによる活動の定着。

救出救護班(56名)は学区内要配慮者見守り連絡網の整備確立。

防火班(旧消化班42名)は消防組織と防火、防水、減災の連携強化中。

給水給食班は各単位防災会で町内会長を中心に災害時対策を進める。

2) 要配慮者支援計画

市危機管理室よりの名簿と、学区で承握した人達の避難個別計画表の書換えを

(今年は126名)毎年民児協、福祉協、防災会で情報交換会を開催。

3) 最前線の人材育成

地域マニュアルの完成で統一された仕事別の防災役員研修会(参加83名)、

救出救護訓練(参加42名)、各14単位防災会では独自の企画で開催されて約500名の

参加をみました。

4) 緊急時連絡網の構築

学区内緊急時連絡の連絡網の完成。本年も緊急時5分以内の連絡訓練を行う。

携帯と無線で、約2100世帯(現2800世帯)に伝達が出来たが少し時間がかかりました。

5) 各種団体・企業及び学区外との協働

1) 各協働団体との役割分担が明確化された。

2) 本災害の時の行政等との学区の状況連絡網の完成。

3) 避難協定を締結した、6企業団体と、連絡網で11月3日訓練を行った。

4) 本年初めて中学校区での防災協議会が開催。

情報公開

- 1) 操明ホームページで訓練・研修会等の紹介をしている。
- 2) 操明ネットワーク新聞に掲載、年四回全戸配布している。
- 3) 連合町内会役員総会で年二回報告をしている。
- 4) 紹介に対応して情報公開を行う。
本年は六回にわたり、学区外の地域の皆様と講演、研修、懇談を開催。
- 5) DVD にして訓練模様を全年度残している。

企画等

- 1) 操明地域防災マニュアルにより、新役員研修会から訓練まで連動して行う。
- 2) 単位自主防災会で独自の企画で、運営で防災訓練を行う。
地域最前線の課題を単位防災会で協議、訓練に連動。
例・一人一人違う要配慮者支援のあり方。
- 3) 学校・地域の団体・企業と緊急時連絡網(5分以内)確認訓練。
訓練時提携先企業等の避難所見学。
- 4) 山陽学園短大と、地域マネジメント学部授業の一環として懇談会3回。

④企画等の工夫と情報公開

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。

- 1) 単位防災会長の熱意の温度差で研修会、訓練の課題が残った。
- 2) 市の新しい方針で防災会長が増員され、既成組織との関係で会議、連絡等経費が増大、各防災会長と相談組織のあり方を検討。

<p>⑤ 次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 新役員の方と持続可能な協働組織運営。 2) 要配慮者避難訓練、見守り体制、情報交換会の充実。 3) 非常時連絡網の定着訓練。 4) 企業との提携と持続。 5) 単位自主防災会の新役員研修会開催。 6) 連合防災士の操明防災研修会の講師陣の育成。 <p>1) 課題は出てくると思いますが、ほぼ初期の課題が解決致しました。各単位防災会と協力をして新しい課題は解決していきます。</p>
<p>⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 区づくり事業のおかげで初期計画は、出来上がってきたと思います。 <ul style="list-style-type: none"> ・5年間の締めくくりで総合的に研修会・訓練を実践しました。 ・研修会等の資料代等で経費がかさむようになりました。工夫が必要です。 2) 学区外交流を進めることで、新たな課題も出てきました。 <ul style="list-style-type: none"> ・操山より南部の膨大な人数の、災害別の避難場所、施設への経路、各施設、場所での責任者、連絡網手段、確認等課題が山積です。 ・これらの連絡報告手段の整備を進めて行きます。 3) 無線機の扱いについて <ul style="list-style-type: none"> ・今後も災害時連絡機器として使ってまいります。新しく13機購入して27連合町内会全防災会で情報班組織が活用できるようになりました。 4) 新役員研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・真備町の災害から、研修会開催を7月実施から5月実施に変更。 ・5月に研修、役員交代が少なかったため、人数は少なかったですが講師人の訓練には非常に良かったです。令和2年は多くの役員交代期で充実した内容にしたいです。

<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 《31年度3月審査会コメント》</p> <p>1) 地域の実情に即した実効性のある防災体制への取り組みです。 ・ありがとうございます。</p> <p>2) 昨年の災害により防災に対する関心は一層高まっています。頑張ってください。 ・ありがとうございます。</p> <p>3) 継続して活動することが重要なので、マンネリ化しないようにしてほしいです。 ・ありがとうございます。</p> <p>1) よく頑張っていて活動されていますが、必要に応じて規約の見直しなども行ってください。 ・今回の岡山市防災組織の関係でより実践的に見直しをして参ります。</p> <p>《令和1年5月12日審査会コメント》</p> <p>1) アンケート結果を活用して事業を進めてもらいたいと思います。 ・連合防災会三役9名でアンケートを分析して課題を決め解決に向けて進めています。 又、他団体の協力意見も求め減災推進して参ります。</p> <p>2) 昨年の真備町の水害を踏まえ、情報連絡の訓練、研修会開催日の変更等の対応を行ったことは、実践的であると思います。 ・ありがとうございます。</p> <p>3) 地域外団体との交流が始まったことは、高く評価できます。 ・ありがとうございます。頑張って参ります。</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。</p> <p>(理由:)</p>	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた <input checked="" type="radio"/>Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>
--	---

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
岡山市中消防署旭東出張所	防災訓練講師
操明小学校	防災訓練・アンケート調査
国土交通省百間川出張所	訓練・研修会等パネル展示。百間川水門見学講習会
岡山市危機管理室	防災訓練・パネル展
(株) 林原	防災訓練・緊急時連絡網
ふれあいセンター	防災訓練・緊急時連絡網
山陽病院	防災訓練・緊急時連絡網
三番消防分団	防災訓練
沖元消防分団	防災訓練
操明学区体育協会他各種七団体	ピッカピッカ作戦
山陽短期大学	地域づくり授業
操明学区民生児童委員	防災訓練
操明学区社会福祉協議会	防災訓練
操明学区交通防犯協議会	防災訓練
操明学区環境衛生協議会	防災訓練
操明学区連合町内会	防災訓練・緊急時連絡網
かけはしの会(福祉のまちづくりネットワーク)	救出救護班研修体験訓練
操明学区連合かがやきクラブ	国交省旭川出張所研修見学会
操南学区防災会。旭操学区防災会	中学校区防災交流会

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

月日	活動内容
4月	学区桜祭り。 連合自主防災会31年度役員総会(区づくり事業含む) 毎月第四日曜日、8時～防災倉庫草刈り、三役会。 学区連合町内会役員総会
5月	区づくり事業企画会議。新一年生保護者に防災アンケート調査。 学区連合自主防災会、役員変更及び研修会議。 新役員講習会の講師勉強会2回。新役員研修会。防火委員会。
6月	小学校運動会。操明学区福祉活動計画推進委員会 学区連合自主防災会会議。アンケート分析・研修会反省会
7月	災害対策本部及び避難所開設2回 笑福亭夏祭り。
8月	災害対策本部及び避難所開設 ピッカピカ作戦
9月	防災訓練企画会議。 連合役員19号台風対策会議。情報交換会。 学区体育祭
10月	学区連合自主防災会会議。 学区敬老会。防火委員会。 山陽学園大学交流会
11月	学区防災訓練。防災アンケート調査。反省会。 企画会議。中区防災講演会 操明学区福祉活動計画推進委員会 自主防災組織交流会
12月	学区クリーン作戦。 31年度事業反省会。町内会防災グッズ配布 次年度事業計画案会議 三学区防災交流会。
1月	防災倉庫備品棚卸。 要配慮者名簿の更新及び新規登録者個人避難計画作成。(情報交換会) 連合かがやきクラブ役員会
2月	学区連合自主防災役員会議、次年度事業計画。 連合町内会三役会議、各種行事との打合せ。 防災会総会資料の作成。
3月	操明学区福祉活動計画推進委員会。 ふれあいセンターふれ愛祭り、屋台出店。 操明学区理事会、次年度方針。

⑨事業実施メンバー

	申込み団体 での役職	氏 名	住 所	年代	備 考
1	自主防災会長	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
2	同副会長				
3	推進副委員長				連合会長 連合団体会長
4	同副会長 会計				
5	同副会長				
6	// 副会長				
7	同副会長				
8	防災協助力				
9	実行委員				連合団体長 団体役員
10	防災会 避難誘導員				
11	防災会顧問 監査				
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	198,500	192,300	
負担金	198,500	192,301	
参加費			
寄付、他収入			
計	397,000	384,601	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
① 消耗品費	150,000	127,095	
② 食糧費	30,000	41,481	飲料代
③ 会場費	10,000		会場料
④ 印刷製本費	50,000	32,325	資料コピー代
⑤ 使用料(リース料)	142,000	155,464	トランシーバー維持費 会場賃貸料 森光宅年間使用料
⑥ 通信運搬費	15,000	26,846	電波使用料・切手代
⑦ 燃料費		1,390	発電機用ガソリン
計	397,000	384,601	

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和2年4月 17 日

岡山市長 大森 雅夫 様



フリガナ トミヤマガクレンゴウチョウナイカイ
 団体名 富山学区連合町内会
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 フリガナ コバシイチロウ
 代表者役職・氏名 会長 小橋一郎

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>地域防災力の向上</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>富山小学校区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<p>【成果】</p> <p>(1) 防災アンケートの実施 ・平成31年4月～令和元年6月、学区内の全4003世帯を対象に実施した2255世帯回収、回収率 56.3% 災害への備えは、充分とは言えない 理解は深まっても、実際の備えにつながっているとは言えない</p> <p>(2) 要配慮者の避難支援対策に着手 ・個別支援計画およびヒアリングシートの様式を作成した ・要配慮者の実態調査を実施した 21単位町内会中、13町内会完了 要配慮者のランク別の概数人数を把握することで、単位町内会に対して今後のヒアリング・個別支援計画作成に向けての動機付けを図った</p> <p>(3) 富山学区マイ・タイムライン(基礎資料)の作成 ・豪雨災害での住民の取るべき行動を、細かく洗い出した ・これを基にわかりやすくまとめることで、住民への啓蒙ツールとなる ・住民の行動を促し、声かけ・支援・調整する単位町内会・連合町内会での体制づくりの基礎資料となる</p> <p>(4) 防災担当者向けの啓蒙資料の整備 ・避難についての議論・体制づくりにあたっての留意事項 ・マイ・タイムラインの紹介 ・風水害についての対策集 ・気象情報の活用ガイド</p>

② 解決を目指す課題

災害犠牲者を出さない防災活動の実施

【自助・近助】

自分たちでできることについての啓蒙を愚直に繰り返し、平常時の備え・災害時の適切な行動を促す

【共助】

自助を促すあるいはその調整のために果たすべき役割を明確にし、連合町内会・単位町内会レベルでの体制・仕組みを構築する

【人材】

防災活動を主導するリーダーを養成し、組織化する

③ 目的・目標の達成状況

(1) 豪雨災害への理解を深める【学区民への啓蒙】

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 想定被害、日ごろの備え、災害時に取るべき行動の啓蒙 ・ 2019年6月 公民館での集申講習会 ・ 下半期 単位町内会別講習会（合同開催含む）10回開催
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民に提示できる内容をまとめることが出来ず、未実施 ・ 住民に提示する内容の元資料としてのマイ・タイムラインが出来た

(2) 避難場所の再検討

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学区内の想定被害を再認識し、指定避難所の適合性、企業等との協定、自主避難所、要配慮者に優しい避難場所などの課題検討
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイ・タイムラインづくりに注力したため、未実施

(3) 災害時緊急連絡網の整備

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の適切な行動を促す、一方通行の緊急情報伝達網 連合町内会 ⇒ 単位町内会 ⇒ 学区民 ・ 2019年6月【可能な範囲で】暫定緊急連絡網執行（搬運を盛り上げ） ・ 2020年6月【全世帯まで】緊急連絡網実施
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の適切な行動自体が明らかになっていない段階では、具体的な伝達方法を議論するのが困難なため、マイ・タイムラインづくりにシフト

(4) 要配慮者への理解を深める

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職（医師、介護、福祉）を変えた勉強会、意見交換会 ・ 課題を洗い出し、次年度以降の活動の方向性を探る
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別支援計画およびアラインメントの雛形を作成 ・ 要配慮者のランク別の認知人数を把握（18/21 単位町内会）

③ 目的・目標の達成状況

(5) 学区自主防災組織の立ち上げ

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・実効性ある学区内協働体制作り ・活動を担う防災リーダー認定、委嘱制度作り運用
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業の推進メンバーに、学区内の単位町内会・諸団体からも参画 ・防災活動資金の財源として、単位町内会から30円/世帯の拠出決定 令和2年度より実施、総額15万円 防災資機材の購入、防災士講座受講費用の補助などに充てる ・学区独自の防災リーダー認定制度は、自習でのモチベーション向上の困難さ、運用面での煩雑さから、実施を断念 ・代わりに、個人負担である防災士講座受講費用を学区から補助することで、学区内の防災士は5名（自己負担による受講を含む） ※防災士講座受講費用の補助は、当事業経費の対象外

(6) 防災アンケートの実施

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・自防への取り組みについて定見視測し、防災活動の成果を数値化 ・3月、4月の町内会総会に合わせた実施で、回収率の向上を図る ・アンケートの実施自体が、自防への取り組みについての啓蒙となる
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月～令和元年8月 学区内の全4003世帯対象 2256世帯回収、回収率 56.3% ・災害への備えは、充分とは言えない ・アンケート自体が、備えの重要性の理解に役立っている ・理解は深まったとしても、実際の備えにつながっていないと言えない

④ 企画等の工夫と情報公開

【企画等の工夫】

●マイタイムラインの重視

災害発生が予想される数日前から災害発生までのそれぞれの時点で住民が取るべき標準的な行動をマイタイムラインとしてまとめた。

このマイタイムラインを基に、次年度以降の実効性ある活動が期待できる。

- ① マイタイムラインを住民に周知することで、災害発生が間近に迫った段階での切迫感まった避難ではなく、数日前からの心構え・家屋への被害の抑制・余裕を持った避難の準備を促し、逃げ遅れを減らすことが期待できる。
- ② 災害発生が予想される数日前から災害発生までのそれぞれの時点での住民の行動を支援・調整する単位町内会・連合町内会の役割・行動が明らかになり、形だけの体制づくりにと終わることなく、実効的に機能する支援・調整体制が期待できる。

<p style="writing-mode: vertical-rl;">④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<p>【情報公開】</p> <p>● 富山学区町内会長会議での活動状況紹介 令和元年7月21日、令和元年9月28日</p> <p>● マスコミ取材 平成31年4月18日 愛配産者部会 oniビジョン(ケーブルテレビ)の取材、その後 oniビジョンにて放映 令和元年5月11日 第3回犠牲者ゼロプロジェクト全体会議 山陽新聞の取材、5月22日山陽新聞富山市民版に掲載 令和元年6月23日 第4回犠牲者ゼロプロジェクト全体会議 KSB 瀬戸内海放送の取材、7月4日スーパーJチャンネルにて放映 令和元年10月26日、27日 第17回富山文化まつり 富山学区での防災への取り組み状況をパネル掲示</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">⑤ 次年度計画</p>	<p>(1) 住民に対するマイ・タイムラインの周知(4月～6月) 計4回 令和元年度の本事業の成果としてまとめた、災害時に住民が取るべき行動「マイ・タイムライン」を、単位町内会別の講習会を通じて災害に対する早めの準備、避難の必要性を住民に周知する。</p> <p>(2) 豪雨・台風時の住民に対する適切な情報伝達の実施(7月～9月) 「マイ・タイムライン」で定めた、災害時に住民が取るべき行動を促すための、連合町内会・単位町内会から住民への適切な情報伝達を、実際の豪雨・台風の発生時に実施を重ね、確実に機能するよう改善する。</p> <p>(3) 避難誘導・避難者受入れ体制の構築、個別訓練(10月～3月) 住民が取るべき行動に沿った、単位町内会による避難誘導・連合町内会による避難者受入れ体制を検討し、個別の視上訓練・実地訓練を重ね、実効性を高める。その集大成として、令和3年6月に総合的な避難訓練を実施する。</p> <p>(4) 避難行動要支援者の個別支援計画策定 滞在避難所での避難生活では支障が想定される要支援者について、家族などとの協力を重ね、個々の要支援者に適した避難先、避難行動支援の役割分担を検討し、実効的な個別支援計画を策定する。</p> <p>(5) 実効的な防災活動推進体制の構築(5月) 平成31年4月に新規結成した“富山学区自主防災会”が、実効的な防災活動を推進できるよう、その構成員・役割分担を見直す。</p> <p>(6) 毎年1名以上の防災士育成 防災士講座の受講費用を学区より補助し、毎年1名以上の防災士を育成し、防災活動の推進にリーダーシップを発揮してもらい、補助する受講費用は、単位町内会の防災活動拠出金を原資として、本事業の収支予算の対象外とする。</p>

活動の方向性が一転三転した。

(1) 有志メンバーによる分科会形式での細分化した課題・対策検討

- 要配慮者部会 【要配慮者支援策の検討】
- 施設部会 【避難施設、資機材備蓄の検討】
- 体制部会 【組織・体制のあり方検討】
- 情報部会 【情報収集、伝達の仕組み検討】
- 研修部会 【防災活動の担い手育成の仕組み、研修会の検討】
- 啓蒙部会 【学区民への啓蒙活動の検討】

事業推進メンバーのバクトルを結集できるわかりやすい具体的な目標がなく活動は離散した。

(2) 岡山市危機管理室による自主防災組織の取り組み指針の提示

平成 31 年 4 月岡山市危機管理室より、自主防災組織への助成金の拡充に伴い、自主防災組織の取り組みの指針が以下の通り簡潔に示された。

- 単位町内会 【住民への声かけ・避難誘導】
- 連合町内会 【避難所運営、単位町内会の連絡・調整】

この指針を受けて、単位町内会・学区内諸団体に当事業への参画を求め、事業推進メンバーを大幅に拡充し、指針に沿った体制づくりにシフトした。

しかしながら、“まずは形からの体制づくり”では、活動の実効性“災害被害者を出さない”が期待できないとの懸念から、事業推進メンバーへの啓蒙に注力した。

この過程で作成された以下の資料は、他地区での防災活動の参考になるであろう。

- ・避難についての議論・体制づくりにあたっての留意事項
- ・マイ・タイムラインの紹介
- ・風水害についての対策案
- ・気象情報の活用ガイド

(3) 住民の取るべき標準行動としてのマイ・タイムラインづくり

令和元年 10 月の度重なる災害の教訓として、住民の早めの被災行動・避難行動の重要性を認識し、住民の取るべき標準行動として詳細な“マイ・タイムライン”の基礎となる資料を 8 回のグループワークを経て作成できた。

このマイ・タイムライン基礎資料を起点に、次年度の活動を展開する。

- ① 住民の取るべき標準行動をわかりやすく提示“マイ・タイムライン”
- ② 住民の行動を促し支援する単位町内会の体制づくり
- ③ 単位町内会の活動を支援・調整する連合町内会の体制づくり

経路曲折はあったが、次年度の活動に向けての事業推進メンバーの認識合わせができた」と評価できる。

⑤ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

<p>〇区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先進的な経路により他の地域の参考となって欲しい ・活動実態が見える形にして欲しい <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に〇を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。</p> <p>(理由：)</p>	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> Ⅰ できた ② おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった
--	--

① 事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
富山学区婦人会・富山学区愛育委員会・その他学区内諸団体	避難者受入れ・避難所運営体制づくりへの参画
富山地区民生委員児童委員協議会	要配慮者対策検討への参画
富山学区連合電子町内会	学区内への広報
富山小学校・富山中学校	避難者受入れ・避難所運営体制づくりへの参画
富山公民館	・避難者受入れ・避難所運営体制づくりへの参画 ・公民館発行「とみやまだより」での学区内への広報 ・防災関連の各種事例・参考情報紹介
富山荘・恵風荘・若松園など介護・福祉施設	避難者受入れでの協力・支援
岡山市社会福祉協議会、中区保険センター、中区包括支援センターその公的福祉関連団体の富山学区担当職員	要配慮者対策検討での協力・支援

③事業実施経過

年 月 日	内 容
令和元年5月11日	第3回犠牲者ゼロプロジェクト全体会議 ※山陽新聞の取材 5月22日山陽新聞岡山市民版に掲載
令和元年6月8日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議(兼瀬高町内会役員会)
令和元年6月17日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議
令和元年6月23日	第4回犠牲者ゼロプロジェクト全体会議 ※TBS 瀬戸内海放送の取材 7月4日スーパーJチャンネルにて放送
令和元年7月3日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議
令和元年7月6日	倉安川洪水誘導見学(研修部会主催)
令和元年7月21日	第1回富山学区町内会委員会 ・学区自主防災会拠出金の打診、防災アンケートの報告
令和元年8月4日	第5回犠牲者ゼロプロジェクト全体会議
令和元年9月23日	富山学区連合町内会臨時総会・第2回町内会長会 ・学区自主防災会拠出金の承認(令和3年度より300円/世帯)
令和元年9月28日	第6回犠牲者ゼロプロジェクト全体会議
令和元年10月19日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議
令和元年10月29日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議
令和元年11月3日	第7回犠牲者ゼロプロジェクト全体会議 ・マイ・タイムライン グループワーク 1回目
令和元年11月29日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議
令和元年11月30日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議
令和元年12月7日	第8回犠牲者ゼロプロジェクト全体会議 ・マイ・タイムライン グループワーク 2回目
令和元年12月18日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議
令和元年12月27日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議
令和2年1月23日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議(兼瀬高町内会役員会)
令和2年2月2日	第9回犠牲者ゼロプロジェクト全体会議 ・マイ・タイムライン グループワーク まとめ
令和2年3月2日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議(兼瀬高町内会役員会)
令和2年3月21日	【中止】第10回犠牲者ゼロプロジェクト全体会議 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
令和2年3月21日	犠牲者ゼロプロジェクト運営会議

⑧事業実施経過

部会別活動

部会とその役割	年 月 日	活動の成果
要配慮者部会 【要配慮者支援策の検討】	平成31年4月13日 令和元年5月11日 令和元年5月28日 令和元年6月15日 令和元年7月20日	・個別支援計画およびヒアリングシートの様式作成
施設部会 【遊具施設、資材貯蓄の検討】	平成31年4月18日	・活動の方向性定まらず
体制部会 【組織・体制のあり方検討】	平成31年4月14日 令和元年6月24日	・防災資機材購入案の検討 ・ホームページについての情報収集
情報部会 【情報収集、伝達の仕事の検討】	平成31年4月20日 令和元年5月26日 令和元年7月6日	・活動の方向性定まらず
研修部会 【防災活動の担い手育成の仕事、研修会の検討】	平成31年4月23日 平成31年4月25日 令和元年7月8日	・防災リーダー認定・発掘制度の検討 ・香取川洪水検場島学会の実施
啓蒙部会 【学区民への啓蒙活動の検討】	平成31年4月20日 令和元年5月6日 令和元年5月22日 令和元年6月17日 令和元年7月4日	・防災アンケート実施(4~6月) ・7月21日(日)町内会長会議にて報告

②事業実施メンバー

	申込み団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備 考
1	会長				
2	ブロック副会長				
3	副会長				田山嶽町内会長
4	副会長				
5	総務				
6	会計				
7	ブロック副会長				瀬泊町内会長代行
8	総務・ブロック副 会長				
9	ブロック副会長				海吉出村町内会長
10	ブロック副会長				田山宮内町内会長
11	構成員				田山湊有町内会長
12	総務				光ヶ丘町内会長
13	構成員				海吉本村町内会長
14	構成員				海吉中村町内会長
15	構成員				海吉羅吉町内会長
16	構成員				瀬泊川東町内会長
17	構成員				田山嶽内町内会長
18	構成員				田山中央町内会長
19	構成員				田山団地町内会長
20	構成員				山崎本町町内会長
21	構成員				田山外新田町内会長
22	構成員				田山南町内会長
23	構成員				田山表町内会長

	申込み団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備 考
24	構成員				池の内町内会長
25	構成員				湊薬山町内会長
26	構成員				額傷南山町内会長
27	構成員				操湯ヒルズ町内会長
28					防火防災会
29					福泊ポンプ
30					防火防災会
31					田山ポンプ
32					田山ポンプ
33					海吉本町副会長
34					
35					老人夕遊台会
36					民児協
37					民児協
38					民児協
39					民児協
40					民児協
41					倉賀川排水機
42					防犯協
43					交対協
44					電子町内会
45					電子町内会
46					婦人会

	申込み団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備 考
17					愛育委員会
48					栄義改善
49					消防団
50					交通安全協
51					保護司
52					百箇川右岸
53					コミュニティ協議会
54					コミュニティ協議会
55					コミュニティ協議会
56					文化まつり
57					オレンジカフェ
58					土木水利代表
59					育成協
60					元気の出る会
61					延髄協議会
62					スポーツ少年団
63					富山公民館
64					富山公民館
65					富山中学校
66					富山小学校

⑩ 収支決算書

◆収入

単位:円

項目	予算額	決算額	備考
岡山市補助金	120,000	31,300	(100円未満の端数四捨五)
実施団体負担金	130,000	51,466	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	240,000	102,766	

◆支出

単位:円

費目	予算額	決算額	備考
①消耗品費	32,400	27,900	コピー用紙、インク、文房具
②衣糧費	55,200	18,167	会議用ペットボトル飲料
③印刷製本費	121,400	56,709	会議用資料印刷、コピー
④燃料費			
⑤電気水費			
⑥通信運搬費		840	会議案内送付用切手
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費	30,000	0	防災訓練炊き出し費用
⑪委託料			⇒定款管理室所管の 自主防災組織補助金を 活用したため計上せず
⑫工事請負費			
⑬雑費			
⑭保険料			
⑮旅費			
⑯その他			
計	240,000	102,766	

当年度の収支は、収入が不足となり、赤字となりました。これは、前年度に比べ、収入が減少したためです。また、支出は、前年度に比べ、増加したためです。この結果、本年度は赤字となりました。



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 2年 4月13日

岡山市長 大森 雅夫 様

団体名 ^{フリガナ} とみやま助け合い隊

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 ^{フリガナ} ^{スシヨウ} 理事長 ^{セイ} 小橋 ^{イハラク} 一郎

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="checkbox"/> ア 地域課題解決 <input type="checkbox"/> イ 地域課題掘り起し <input type="checkbox"/> ウ 地域計画づくり <input type="checkbox"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="checkbox"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>とみやま助け合い隊</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>富山小学校区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<p>※実施事業の概要 学区住民が抱える日常生活上の困り事の解決を支援する</p> <p>①困りごと支援依頼者 → コーディネーターにTEL ②コーディネーター → サポーターを斡旋 ③サポーター → 支援を実施 ④依頼者 → サポート料を支払う ⑤サポーター → 支援の終了を報告 (内容・時間・料金等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 特殊な技術を要するもの、危険を伴う作業は対象外 ★ 有料・・・基本料金30分まで300円、以後10分増すごとに100円追加 (一人につき) ★ 屋内作業・・・原則2人体制で行う。 <p>※添付 「とみやま助け合い活動ニュース」第1号を参照願います。</p>
<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>高齢化の進捗にともなって、高齢者のみ世帯や独居高齢者世帯が増えている。一方、若い世代では共働きがあたり前となっている。こうした状況の中、住民は老若を問わず家事や子育て等、日常生活において各種の困りごとを抱えている。</p> <p>「いつまでも住み慣れたこの町で末永く暮らす」ためには、これらの困りごとを手軽に解決するシステムの構築が不可欠ではないか。</p>

地域課題（住民が抱える日常生活での困りごとと解決）の達成状況

③ 目的・目標の達成状況

1. 達成状況（3月末過去1年の実績）

サポートの実績 合計 153件 サポーター登録 46名

★サポートの種類

- ・付添（病院・買い物）55件
- ・庭の手入れ（草取り・剪定）38件
- ・買い物代行 27件
- ・掃除・片付け 10件
- ・ゴミ出し 7件
- ・修理 5件
- ・PC操作 3件
- ・大型ゴミ処分 2件
- ・洋服リフォーム 2件
- ・その他（町内宛配布作業準備他）4件

★リピーター

- ・病院への付添、買い物代行など同一人で20件以上利用したリピーターもいる。

2. 実施による新たな効果（新たなまちづくりに向けての第一歩）

依頼者から「サポーターさんに、とてもよくしていただいた」とか、住民から「このようなシステムを作ってもらって良かった。」などの電話が、事務局に寄せられることもあった。

これらから、「こまりごと解決のシステム」として地域内に受け入れられ・定着しつつあるのではないかと判断している。

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知・広報の取組とその評価

①工夫 最初から、「まちづくり」の柱として構想した。

例えば、システム構築に当たってアンケート（「富山地区包括ケアシステムの構築について」）を実施（平成29年7月）、住民のニーズやサポーターとしての協力見込みを把握した。

また、「富山学区 第1次地域福祉活動計画（2018年度～2020年度）」に織り込んだ。さらに、ケアマネージャー等専門職にも、当隊のPRと利用勧奨を要請した。

②広報 当システムの定着は、広報が肝要と認識し、あらゆる機会を利用した。

例えば、下記については全てチラシを作成、町内会ルートで回覧を実施するとともに、町内会長会議ほか学区内主要団体等の会議で、説明した。

また、「とみやま文化まつり」では、ポスター展示を行った。

- ・アンケート集計結果のフィードバック（30年9月）
- ・システム構築の方針表明（30年9月）
- ・助け合い隊発足、システム概要の開示（平成30年4月）
- ・サポーター募集、説明会開催（平成30年6月、7月）
- ・テストラン開始（平成30年10月）
- ・本格運用開始（平成31年1月）

③令和元年度の広報

- ・マグネットシートの作成、配布（全戸）

気軽に当隊を活用してもらうべく、作成（当隊の電話番号や受付時間を記載）。全戸に配布した。（令和元年8月）

- ・「とみやま助け合い隊活動ニュース」（第1号）発行、全戸配布した。（2月）

- ・サポーター研修会の開催（2回） 令和元年6月27日
6月30日

モラルの向上も兼ねて開催、システム概要や主旨、グッズの使用法、サポートの状況等につき認識を共有した。

④運営 下記会議の出席者には、当隊の現状等につき、各自の関係先にPRしてもらっている。

- ・コーディネーター会議
コーディネーター間で情報の共有化を図り、課題を発掘する。
- ・理事会議開催（隔月・偶数月。小地域ケア会議を兼ねる）
当隊の利用状況や課題について討議した。
- ・支援依頼を全件記録している
不断にシステムの改善を図るには、記録が欠かせない。

④ 企画等の工夫と情報公開

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑤ 次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、次年度計画の概要</p> <p>①サポート件数 200件 ・サポートの種類を広げる。例：サポートメニューを逆提示する。 ・依頼者の発掘。 マネージャー等専門職への利用勧奨を働きかける。 各種団体にも活用を呼び掛ける。</p> <p>②サポーター登録 70名（現在46名）→サポーターの偏在を解消する。 既登録サポーターや各種団体に紹介を依頼する。</p> <p>③活動ニュース 2回発行 地域住民への広報の柱とする。取材励行に努める。</p> <p>④財性基盤の強化 決算の公開 特別会員確保 5名 広台募集（とみやま助け合い隊活動ニュース、2枠×10,000円＝20,000円）</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑥ 事業実施者の評価・感想審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、についての自己評価</p> <p>1. 持続可能な地域づくり、課題解決力 「いつまでも住み慣れたこのまちで末永く暮らす」に向けて、第1歩を踏み出したのではないかと考えている。</p> <p>2. 地域づくりを担う人づくり 人は、本来「やさしさ」「素直さ」を持っている。当隊のサポートは、「やさしさ」の実践であり、感謝は「素直さ」の表現である。いわばこのシステムは、住民に「やさしさ」や「素直さ」の表現機会を提供している。サポーターであろうが、支援依頼者であろうが、当システムに関わる住民たちは、すべて『「やさしさ」や「素直さ」が随所で見られる、そのようなまち』作りの担い手でもある。まちは、そこに住む人たちがつくる。</p> <p>○ 専断決定時での審査会意見とそれに対する対応は、以下のとおり。</p> <p>①課題等の改善に努めてほしい。 サポートの全件を記録、そこから課題を発掘・整理の上、コーディネーター会議（原則、毎月）や理事会（隔月）で対応を協議している。</p> <p>②サポートの内容を具体的に知りたい。 章取りや付添い等。上記「目的・目標の達成状況」欄を参照願います。</p> <p>③サポーターの人選基準があいまい。 サポーターの人選については、特技だけでなく人柄の見極めが欠かせない。 以後、サポーター登録に際しては、既存サポーターあるいは学区諸団体からの紹介を条件としている。</p> <p>④トラブル対応の意識が弱いのでは？ 事故（作業中、車で移動中）による賠償については、当該依頼者より、「保険金（ボランティア活動保険、自動車保険）以上の賠償請求は、しない」との念書を取り付けている。 また、屋内作業については、原則2名体制（万一の場合の証人確保）としている。 その他のトラブル（サポートの出来栄え、人間関係等）も含めて、万一の場合は、事務局が前面に立ち解決に当たることとした。</p> <p>⑤関係法令の確認 労働者派遣法 ・ ・ 当隊とサポーターの間には雇用関係がなく、本法律は適用なし。 道路運送法 ・ ・ 車による移送を伴う場合も「主たる目的が（付添）である限り、本法律は、適用されない」（国交省・岡山事務所を確認済み）</p>

	<p>○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 (右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)</p> <p>・上記助言及び意見は、いずれもごもつともな指摘でありました。ご指摘の各項につき、理事会で議論、上述のとおり、取組を強化いたしました。</p>	<p>助言等の内容について、事業へ反映できましたか。</p> <p>① できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>
--	---	---

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
富山学区連合町内会	運営(理事長) 広報(チラシ, MGシート等の回覧・配布に協力) 町内会長会議での説明機会提供
富山学区社会福祉協議会	運営(理事、事務局) 広報(チラシ作成) 企画(チラシ作成)
富山学区愛育員会	運営(コーディネーター、会計)、 広報(パワーポイント作成) とみやま助け合い隊活動ニュース編集
富山学区婦人会	運営(理事、コーディネーター)、 広報
富山学区老人クラブ連合会	運営(理事)、 広報(チラシ配布、説明機会の提供)
富山学区栄養改善協議会	運営(理事、コーディネーター)、広報、 サポーター紹介
富山地区民生委員児童委員協議会	運営(理事、コーディネーター)、 広報(各担当の高齢者等にチラシ配布)
とみやま文化まつり実行委員会	広報(関係資料・ポスター展示に協力)
特別養護老人ホーム 恵風荘	ケアマネージャーが担当先に支援を勧奨、 案件紹介
オレンジカフェ 青春	広報(定例会で説明機会を提供)
岡山市立富山公民館	運営(サポーター用グッズ預かり)、企画
岡山市社会福祉協議会	企画、広報用チラシ作成
岡山市中区保健センター	企画
岡山市介護予防センター	企画
岡山市包括支援センター	企画、担当先に支援を勧奨

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和元年 4月 4日	理事会開催 30年度決算、令和元年度予算原案審議 4月度 コーディネーター会議開催 会計監査
令和元年 5月 14日	定期総会開催
令和元年 6月 6日	6月度 コーディネーター会議開催 福泊かぼちゃ会に出席、助け合い隊について説明。
21日	臨時コーディネーター会議(サポーター研修会の打ち合わせ)
23日	令和元年度 第1回サポーター会議(研修会)開催
27日	第2回サポーター会議(研修会)開催
30日	理事会開催
令和元年 8月 1日	8月度 コーディネーター会議開催 理事会開催
令和元年 10月 1日	10月度 コーディネーター会議開催 とみやま文化まつり・展示発表(富山小体育館会場)
10月 26日	
～ 27日	{オレンジカフェ青春}定例会に出席、とみやま助け合い隊・説明。
令和元年 11月 2日	中区連合町内会懇談会(於:中区役所)
9日	「とみやま助け合い隊」について発表 理事会開催
令和元年 12月 5日	12月度 コーディネーター会議 とみやま助け合い隊活動ニュース第1号発行(A3、二つ折り、全戸配布)
令和2年 2月 1日	理事会開催
2月 6日	2月度 コーディネーター会議開催 岡山市連合町内会懇談会(於:瀬崎文化ホール)にて、
2月 9日	「とみやま助け合い隊」について発表 第4回 [おかやま協働のまちづくり賞] 表彰式に出席(入賞)
2月 23日	3月度 コーディネーター会議は、中止した。
令和2年 3月	(コロナウイルス対応)

⑨事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	理事長				地域協働協議会会長 地区社協会長 連合町内会会長
2	副理事長				連合町内会副会長、 防災協副会長、 円山嶽町内会長
3	副理事長				連合町内副会長 地区社協副会長
4	理事 事務局長				地区社協副会長
5	理事、会計 コーディネーター				富山学区愛育委員会 会長
6	理事				防災協副会長、 操陽南山町内会長、 地区社協副会長
7	理事				富山地区民生委員児 童委員協議会 会長
8	理事 コーディネーター				富山地区民生委員児 童委員協議会副会長 地域福祉推進委員
9	理事				富山地区民生委員児 童委員協議会地域福 祉推進委員
10	理事 コーディネーター理事				前・富山学区栄養改善 協議会会長
11	理事 コーディネーター				富山学区栄養改善 協議会会長
12	理事				富山学区婦人会 会長
13	理事				福泊川東町内会 副会長
14	理事				身体障害者福祉連合 会 富山地区会長
15	理事				富山学区老人クラブ 連合会会長
16	監事				連合町内会監事
17	監事				連合町内会監事

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	188,800	126,300	157903×80% (100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	7,200	1,483	
参加者負担金	0	0	
協賛金	20,000	0	
寄付、他収入 (広告掲載料、賞金)	10,000	20,000	広告掲載料20,000
事務手数料	10,000	10,120	
計	236,000	157,903	

◆ 支 出 (詳細は、添付明細のとおり)

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	94,000	67,764	住宅地図16,200 MGシート30,300 プリンターインク9,130他
②食糧費	21,000	4,043	サポーター研修会 お茶4,043
③印刷製本費	51,000	21,530	サポーター研修会議資料、マニュアル 等印刷代2,300 助け合い隊活動 ニュース印刷代18,990他
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	46,000	40,016	ハガキ代サポーター会議案内3,150 電話代35,426他
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料	0	3,000	ニュース編集3,000
⑫工事請負費			
⑬報償費	6,000	0	
⑭保険料	18,000	21,550	福祉サービス総合保険5,800 ボランティア活動保険15,750
⑮旅費			
⑯その他			
計	236,000	157,903	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

字持清

令和 2 年 3 月 31 日

岡山市長 大森 雅夫 様

団体名 ^{フリガナ} 竜之口学区防災マップ作成実行委員会
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 代表者役職・氏名 ^{フリガナ} 守谷 ^{フリガナ} 俊昭 ^{フリガナ} [Redacted]

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input checked="" type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他
事業名	竜之口学区防災マップ作成実行委員会
事業実施区域 (小学校区)	竜之口学区
① 事業実施内容	<p>※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 岡山市が新たに発行するハザードマップを活用した防災マップの作成 一昨年の西日本豪雨の冠水場所等を再確認する。 避難経路の確認 各町内会の避難場所の確認及び呼び名の統一 携帯型防災(避難)マップを作成 避難情報を記載 連合町内会を通して学区民へ防災マップの進捗状況を連絡。 学区全戸へ配布、小学生全員にカバンの中に入れ持たせる。 学区コミュニティハウスの活動の中で機会ある事に机上訓練を実施。
② 解決を目指した課題	<p>平成30年度で作成した防災マップの見直し、及び避難経路を明示</p> <ol style="list-style-type: none"> 災害時の対策マニュアルや避難マニュアルがない。 町内会により避難場所、避難経路が徹底されていない。 各町内会の平常時の避難訓練の実施、学区全体の避難訓練の実施が毎年必要。 要支援者の把握が出来ていない、また支援体制も出来ていない。

ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況
 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等
 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等
 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況
 オ その他⇒定めた目標の達成状況
 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。

③ 目的・目標の達成状況

1. 避難経路の明示は各町内会の委員が西日本豪雨の事も有り情報の収集に努めた。夜間に冠水があった場所は関係する住民は全てを把握できていなため、岡山市消防財田分団が巡回した時の状況を習得した。
2. 防災の関心の高まりを改めて確認できた。
各町内会の委員が積極的に危険場所、避難経路の確認し、資料の提出があった。また、実行委員会は6回開催し情報等の落ちが無いよう、見直しに努めた。昨年の防災訓練の参加者以外に新たな参加者があった。
3. だれが見ても避難経路が判るマップができた。
コンパクトのため持ち歩きでき、マップを広げてみやすい、反省会等の意見から総合的に反響がよかった。
4. 防災に関する諸会議を通し学区の課題、問題点等の確認ができた。
各町内会の防災訓練の連絡方法、避難場所、避難経路、役割分担等
5. 普段から防災マップの活用を行い、学区民の防災意識の高揚を図り、いざの時に一人の犠牲者もでない学区として安心・安全な町づくりに取り組みます。
防災訓練に初めて要支援者の避難訓練が初めて行われた、また、小学校へマップ600枚を配り、子どもへ全員配布し、カバンへ収納して、子ども達へ災害時の避難を平常時から活用を呼び掛ける。
6. 岡山市が計画している最新のハザードマップを活用し作成を試みていたが、配付が遅れ活用が出来なかった。
7. 計画案に沿った会議等実施、1月末の完成、2月初め学区民へ配布できた。
学区全戸へ配布、また関係する事業所、公共施設へ配布。
小学生全員へ配布。

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。

1. 持ち歩き可能なマップを作成
2. 防雨対策
3. 小學校生徒へ配布
4. 近隣の企業、公共施設等へ配布
5. 各町内会から実行委員会へ2名以上の参加があり、実行委員会の情報を持ち帰り各町内会の意見、情報を取り入れた。
6. 避難を重点に作成

④ 企画等の工夫と情報公開

※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。

学区の負担が多額なため協議中です。

⑤ 次年度計画

※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。

1. 防災訓練（避難訓練）は防災避難マップを活用し実施、約350名の参加がありました、又、自主的な参加者もあり防災意識が高まったと思います。
2. 学区民から大変判りやすい防災マップが出来たと喜んで頂きました。実行委員の皆さんが真剣に取り組んだ成果と思います。
3. マップを作成中にも新しい道路、開発の場所もあり、反映が大変でした。
4. 反省会の意見、提案等を今後に反映します。

⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

1. 学区各団体、町内会が実行委員として参加しており、とても良いと思います。
 - 学区の各種団体、各町内会へ呼びかけ委員を選出しました。
2. 昨年の豪雨の経験と地区の防災の現状の省察からいち早く体制が整備され、具体的事業に着手されているのは素晴らしいと思います。
 - 西日本豪雨の冠水場所、危険場所等を再確認し、委員全員が再認識した。
3. 携帯型の防災マップが実用的で使いやすいと思います。
 - 持ち歩きができる携帯型、防雨対策を行い雨天時にも活用できる企画へ挑戦。
4. マップは、町内会へ入っていないお宅へも全戸配布して頂きたいと思います。
 - 全戸へ配布、また、小学生全員に持たせた。
5. 申請団体名がマップ作成実行委員会となっているが、活動の目的はマップの作成ではなくて、全住民が安全に逃げられることだと思います。それを念頭において取り組めば、結果としてより良いマップが作成されると思います。
 - 各町内会の避難経路が徹底されてなかったため通学路を主にマップへ明記。
特に高齢者への避難情報のレベル情報を記載した。

右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。

(理由：)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
竜之口学区連合町内会	各町内会へ応援要請
竜之口学区コミュニティ協議会	パソコンによる防災マップ作成支援
地区社会福祉協議会	委員(会計)
岡山市立竜之口小学校	避難所
岡山市立竜之口幼稚園	避難所
前土田町内会	避難場所、危険箇所等の確認
土田町内会	避難場所、危険箇所等の確認
東四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
西四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
中四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
南四御神町内会	避難場所、危険箇所等の確認
芙蓉町内会	避難場所、危険箇所等の確認
横縄手町内会	避難場所、危険箇所等の確認
東雄町町内会	避難場所、危険箇所等の確認
学区婦人会	委員
学区学養改善協議会	委員
学区体育協会	委員
岡山市消防財団分団	西日本豪雨の冠水場所情報収集
四御神郵便局	委員
竜操中学校	委員

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

月 日	項 目	詳 細
7月 26日	学区連合町内会幹事会	コミュニティハウス 各町内会長 議題 1. 竜之口学区防災マップ作成更新について 2. 各町内会選出の防災マップ委員の確認 3. 令和元年度岡山市区づくり推進事業助成申込み内容説明 4. 竜之口学区防災マップ更新についての主な作業を説明 5. 日程説明
9月 21日	第1回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議題 1. 竜之口学区防災マップ作成更新について 2. 各町内会選出の防災マップ委員の確認 3. 令和元年度岡山市区づくり推進事業助成申込み及び事業決定について 4. 竜之口学区防災マップ更新についての主な作業（案） 5. 日程について
10月 14日	第2回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議題 1. 各町内会の危険個所・施設等の調査内容を報告 2. 更新する避難マップの内容検討 3. 防災マニュアル（案）
11月 9日	第3回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会担当者 議題 1.各町内会の危険個所・施設等の調査内容を報告 2.更新する避難マップの内容検討 1)各町内会の主避難経路の確認 2)各町内会の危険場所等の確認 3)昨年の西日本豪雨時の冠水等の確認 4)凡例の見直し
11月 30日	第4回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会担当者 議題 1.各町内会の危険個所・施設等の調査内容最終確認 2.更新する避難マップの内容検討 1)各町内会の主避難経路の確認 2)各町内会の危険場所等の確認 3)昨年の西日本豪雨時の冠水等の確認 4)凡例の確認 5)表紙の見直し 6)北、南の表紙を統一

⑧事業実施経過

月 日	項 目	詳 細
12月21日	第5回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会担当者 議題 防災（避難）マップの内容確認 1)各町内会の主避難経路の確認 2)各町内会の危険場所等の確認 3)昨年の西日本豪雨時の冠水等の確認 4)凡例の確認 5)表紙の一部見直し 6)北、南の表紙を統一
1月14日	第6回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議題 1.防災（避難）マップの校正の確認 1)各町内会の主避難経路の確認 2)各町内会の危険場所等の確認 3)昨年の西日本豪雨時の冠水等の確認 4)凡例の確認 5)表紙の一部見直し 6)北、南の表紙を統一
2月1日	委員会	コミュニティハウス 実行委員会担当者 各町内会へマップを配布
3月8日	反省会	コミュニティハウス 実行委員会委員 防災訓練を実施 避難訓練へ活用

事業実施メンバー (1/2)

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年令	備考 (加入団体等)
1	区づくり 審査員 会長				竜之口学区連合町内会 会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 会長 東四御神町内会 会長
2	副会長				竜之口学区連合町内会 副会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 副会長 四御神町内会 会長
3	副会長				竜之口学区連合町内会 副会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 副会長 西四御神町内会 会長
4	事務局長				竜之口学区連合町内会 事務局長 竜之口学区安全安心ネットワーク事務局長 西四御神町内会 会長
5	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 東ヶ丘第三町内会 会長
6	実行委員長				竜之口学区防犯防火防災協議会会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 南四御神町内会 会長
7	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 土田町内会 会長
8	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 中四御神町内会 会長
9	委員				竜之口学区環境衛生協議会 会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 東雄町町内会 会長
10	委員				学区交通安全対策協議会 会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 横縄手町内会 会長
11	委員 監事				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 芙蓉町内会 会長
12	委員 監事				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 東ヶ丘第一町内会 会長
13	会計				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口地区社会福祉協議会 会長
14	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口学区コミュニティ協議会 会長 地区民生委員児童委員協議会 会長
15	委員				竜之口学区体育協会 会長
16	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口小学校 校長
17	委員				竜之口小学校 教頭
18	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口幼稚園 園長
19	委員				四御神町内会
20	委員				四御神町内会

事業実施メンバー (2/2)

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年令	備考 (加入団体等)
21	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜操中学校PTA 竜之口地区 代表
22	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口小学校PTA 会長
23	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口幼稚園PTA 会長
24	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口学区交通安全母の会 会長
25	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 四御神郵便局 局長
26	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 岡山市消防団財田分団
27	委員				東ヶ丘第三町内会
28	委員				土田町内会
29	委員				南四御神町内会
30	委員				南四御神町内会
31	区づくり 審査員委員				南四御神町内会
32	委員				南四御神町内会
33	委員				南四御神町内会
34	委員				東雄町町内会
35	委員				横縄手町内会
36	委員				芙蓉町内会
37	委員				土田町内会
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	112,000	112,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	112,000	113,500	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	224,000	225,500	

◆ 支 出

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	10,000	0	
②食糧費	8,000	0	
③印刷製本費	206,000	225,500	印刷代181,500、会議用コピー44,000
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
⑯その他			
計	224,000	225,500	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。